取扱説明書の見かた

本書の構成は次のとおりです。

安全に正しくご使用いただくために
本製品を安全に正しくご使用いただくために、守っていただきたいことを説明しています。必ずお読みください。

本機の特長
本製品の持っている便利な機能について、その特長をわかりやすく示しています。

目　次

ご使用の前に
本製品をご使用になる前に、まず確認していただきたいことを示しています。

設　置
本製品の組み立てや接続のしかた、必要な設定などについて説明しています。また、お買い上げ時の本製品の動作のしかたについて説明しています。

電　話
電話のかけかた／受けかたや、いろいろな使いかたなどについて説明しています。

ファクス／コピー
コピーのしかたや、ファクスの送信や受信のしかたなどについて説明しています。

留守番
留守番電話やおやすみモードの使いかたについて説明しています。

ハンドスキャナ
ハンドスキャナを使ったコピーやファクスの送信のしかたについて説明しています。

α-ALPHA5
DDI(第二電電)のα-ALPHA5(アルファファイブ)の利用について説明しています。

ナンバー・ディスプレイ
NTTのナンバー・ディスプレイの利用について説明しています。

キャッチホン／Fネット／ダイヤルイン
NTTのキャッチホンとFネット、ダイヤルインサービスの利用について説明しています。

こんなときは
原稿や記録紙がつまったときの対処方法や、記録紙の交換方法などについて説明しています。また、いろいろな疑問などについてQ&A形式で説明しています。

操作早わかりガイド

機能設定／登録早見表

索　引

■本文中の記号

● ご注意
本機の操作や設定を行う際にご注意いただきたいことを説明しています。

● こんなときは
本機の操作や設定を行う際に、「こんなときはどうしよう」と思われることについて、補足的に説明しています。

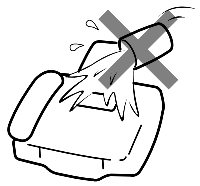
！ 安全に正しくご使用いただくために－必ずお読みください－

設置についてのご注意

⚠警告

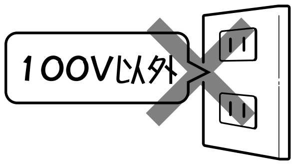
● 本機に水が入ったりしないように、またぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。

水ぬれ禁止

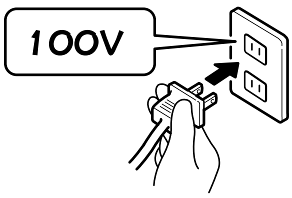


● AC 100Vの家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

禁止

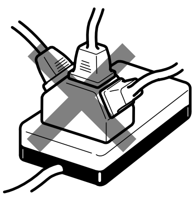


● 電源プラグはAC 100Vコンセントに差し込んでください。やむを得ず、同じコンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、電流値の合計がコンセントの最大値を超えないようにしてください。火災の原因となります。

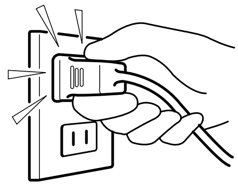


● 本体の電源コードはたこ足配線にしないでください。たこ足配線にすると、テーブルタップ等が過熱・劣化し、火災の原因となります。

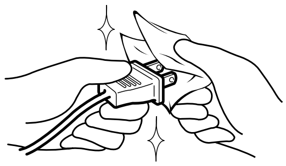
禁止



● 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となります。

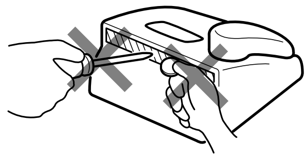


● 電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。火災の原因となります。



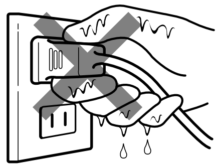
● 開口部から内部に金属類を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

禁止



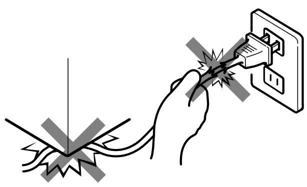
● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。漏電して、感電の原因となります。

ぬれ手禁止



● 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。重いものをのせたり、加熱されたり、ひっぱったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

禁止



⚠注意

● 湿気の多い場所で使用する場合はアース接続をしてください。アース線が取り付けられるところは次の部分です。
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
- 接地工事（D種）が行われている接地端子

次のようなところには絶対にアース線を取り付けないでください。
- ガス管、電話専用アース線、避雷針、水道管や蛇口

必ずアース線を接続せよ

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

禁止

● ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

● 振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

● 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。

禁止

● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

● 直射日光の当たるところや温度が高いところに置かないでください。
- 内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 変色の原因となります。
- コピーやファクスの記録のかすれの原因となります。

禁止

● 移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、電話回線接続コードなど外部の接続線を外したことを確認の上行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。漏電して、火災や感電の原因となります。

禁止

● ファクスを受信すると自動的に記録紙を排出します。装置の上に物を置いたり、布をかけたりしないでください。紙がつまって、故障の原因となります。

禁止

● 漆等、高温で変色する可能性のある材質の台の上には置かないでください。変色の原因となります。

禁止

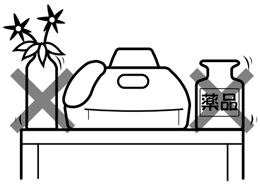
ご使用の前に
設置
電話
ファクス／コピー
留守番
ハンドスキャナ
α-ALPHA5
ナンバー・ディスプレイ
キャッチホン／Fネット／ダイヤルイン
こんなときは

使用する際のご注意

⚠警告

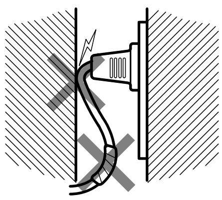
●本機の上や近くに、花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などが入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

禁 止



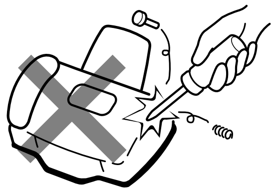
●電源コードを加工したり、無理に曲げたりねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。

禁 止



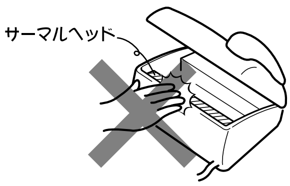
●本機を分解、改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

分解禁止



●本体内部のサーマルヘッドとその周辺は高温になっています。手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。内部の点検、修理はご購入店またはＮＥＣサービスステーションにご依頼ください。

高温注意



⚠注意

●電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、掃除をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。

●旅行などで長期間本機をご使用にならないときは安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントから抜け

●記録紙交換などで開閉部を閉めるとき、指挟み、指のけがにご注意ください。

指をはさまれないよう注意

●ゴキブリなどが入ると、故障の原因となることがあります。

●通信やコピー中に電源プラグを抜いたり、本機のカバーを開けたりしないでください。故障の原因となります。

禁 止

●極端に暑い場所(35℃以上)や寒い場所(5℃以下)では使用しないでください。誤動作・故障の原因となります。

禁 止

●落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

禁 止

●ハンドスキャナを落としたり、固いものにぶつけたりしないでください。ガラスが破損してけがをしたり、故障の原因となります。

禁 止

●本機のモニタスピーカに耳を近づけないでください。大音量により耳に負担となる場合があります。

禁 止

もしもこんなときは

⚠警告

●万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはＮＥＣサービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け

●万一、異物が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはＮＥＣサービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。特に小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

電源プラグをコンセントから抜け

●万一、本機を落としたりカバーを破損した場合や、電源コードが傷んだ場合（芯線の露出、断線など）は電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNECサービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け

●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店またはＮＥＣサービスステーションに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

電源プラグをコンセントから抜け

⚠注意

●お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

電源プラグをコンセントから抜け

●水滴がついた場合は、乾いた布で拭き取ってください。

●雷が鳴り出したら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷により、感電の原因となります。

禁止

本機の特長

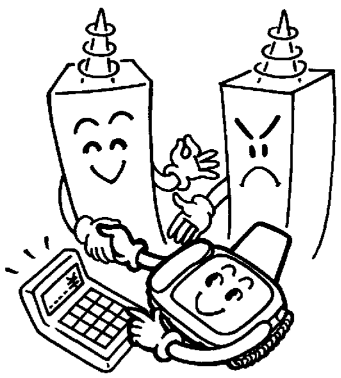
メロディ付き快速ハンドスキャナでコピー／ファクス送信

「ハンドスキャナでコピーする」（→P.63）
「ハンドスキャナで送信する」（→P.64）
新聞や雑誌の気になる情報、友達のノートだってハンドスキャナを使えば簡単にコピーがとれます。読み取った内容を、そのままファクスで送ることもできます。



おトクな回線を自動で選ぶ（α-ALPHA5）

「α-ALPHA5について」（→P.66）
相手の場所、曜日、時間帯を自動判定して、NTTの市外回線とDDIからおトクな回線を自動的に選びます。
また、α-NEWS中の「エランデメロディ」を利用すれば、センターにある曲の中からお好きなメロディ（1曲）を取り込み、着信メロディとして使うことができます。その他、生活に役立つ情報を簡単な操作で取り出せるα-NEWS、郵便番号を本機に登録すれば地域の公共施設の電話番号が自動的に登録されるα-DIALなどのサービスを利用することができます。
※DDI（第二電電）へのα-ALPHA5のお申し込みが必要です。



相手を確認できるナンバー・ディスプレイ対応

「ナンバー・ディスプレイについて」（→P.79）
かけてきた相手の電話番号や名前をディスプレイに表示します。
この電話番号を利用して、その相手に電話を簡単にかけられるなど、さまざまな便利な機能を使うことができます。
また、キャッチホンの相手の電話番号や名前をディスプレイに表示することもできます。（ナンバー・ディスプレイとは別にNTTとの契約が必要です。（有料））
※NTTとの契約が必要です（有料）。



いつもの相手は電話帳に登録（らくらく電話帳）

「らくらく電話帳」（→P.27）
本機の電話帳によくかける相手の名前と電話番号を登録すれば、簡単な操作で電話がかけられます。かけるたびに電話番号をダイヤルする必要がなく、大変便利です。



マイネームボタンで簡単送信

「マイネームボタン」(→P.42)
自分専用の発信元名（マイネーム）を付けてファクス送信できます。このマイネームは相手の記録紙にプリントされます。



受話器を持たずに みんなでおしゃべり

「ワイワイトーク（ハンズフリー通話）」(→P.30)
「どうしても手が離せない」、「田舎のおばあちゃんと家族そろっておしゃべりしたい」。そんなとき、ワイワイトークを使えば受話器を置いたまままみんなで話ができます。



複数コピーが簡単にとれる

「コピーをとる」(→P.48)
同じ原稿を2部以上コピーしたいときは、原稿をセットして部数を指定すると、簡単に複数部のコピーをとることができます。



夜中の電話やファクスで 起こされたくない

「おやすみモード」(→P.58)
おやすみモードを使えば、ベルの音や、ファクスが出てくる音で起こされることもありません。
※ ナンバー・ディスプレイを利用している場合、「とくていコールをする」に設定すれば、らくらく電話帳に登録している相手からの電話のみベルが鳴ります。



目　次

ハンドスキャナ

α-ALPHA5

ナンバー・ディスプレイ

キャッチホン/Fネット/ダイヤルイン

こんなときは

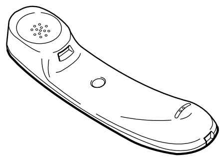
箱の中身をご確認ください

箱を開けたら次のものがすべてそろっているか確認してください。不足していた場合はご購入店にご連絡ください。

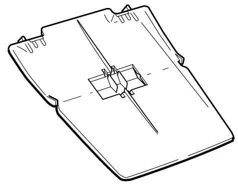
●本機（本体）　1台



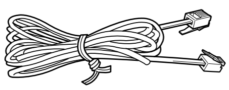
●受話器　1個



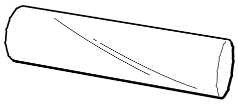
●記録紙スタッカ　1個



●電話回線接続コード
1本（2 m）



●記録紙　1巻
（B4サイズ10 m）



- **DDI（第二電電）α-ALPHA5・α-FAXサービス利用申込書：1式**
- **取扱説明書（本書）：1冊**
- **保証書：1枚**

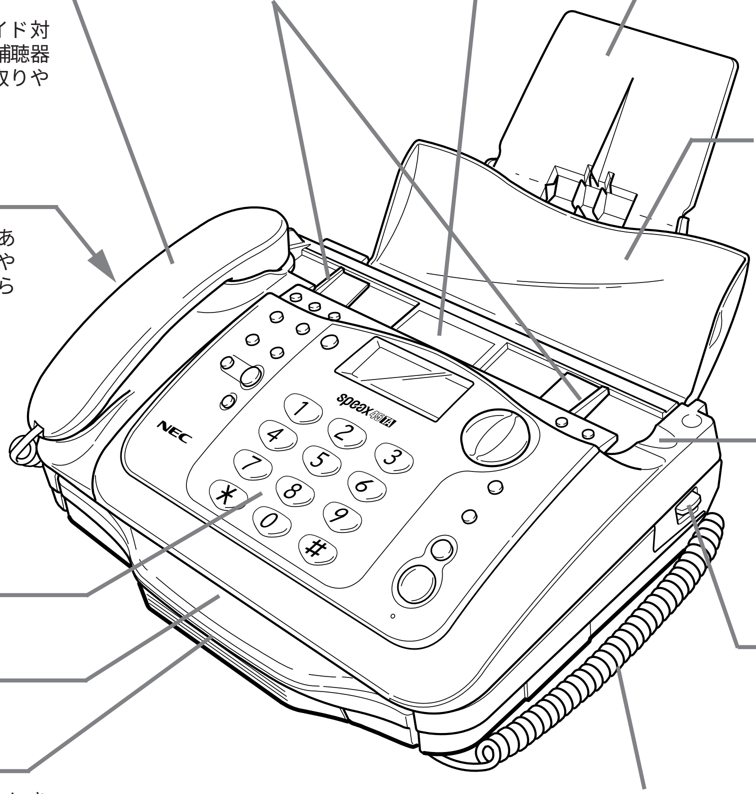
保証書について

保証書は、販売店で所定の事項を記入いたしますので、必ず保証期間、ご購入店名、記載事項を確認の上、大切に保管してください。

各部の名称

全体（正面）

組み立てたあとを示しています。



受話器
補聴器対応（ヒヤリングエイド対応）で、誘導コイルタイプの補聴器をお使いの方に通話が聞き取りやすい構造になっています。

原稿セットガイド
原稿の幅に合わせます。

原稿挿入口

記録紙スタッカ
コピーや受信した文書は、ここに重ねられます。

ダストカバー
原稿をセットするときに開けます。

モニタスピーカ
左側面にモニタスピーカがあります。ハンズフリー通話や用件を再生すると、ここから聞こえます。
また、この部分の穴は本機内部の温度上昇を防ぐための放熱穴として機能します。壁などから充分（20cm以上）離してください。

ダストカバーを開けるときに、このへこみを利用します。

操作パネル

原稿排出口

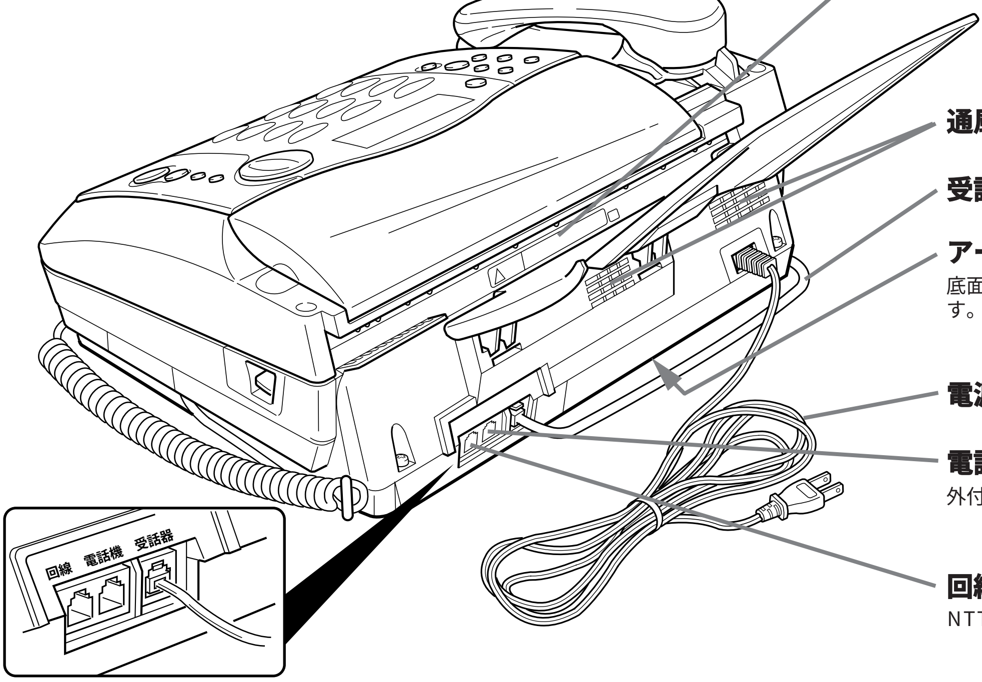
カバー開レバー
カバーを開けるとき、下に押します。

ハンドスキャナ
手前に引くと外れます。戻すときは押し込みます。

ハンドスキャナ用コード

全体（背面）

組み立てたあとを示しています。



記録紙排出口

通風孔

受話器用コード

アース端子
底面にアース端子（銀色）があります。

電源コード

電話機端子
外付け電話機を接続できます。

回線端子
NTT電話回線を接続します。

操作パネル

▶ 再生
用件を再生するときなどに使用します。

音量
ベル音量、受話音量、ワイワイトーク音量、モニタスピーカ音量を調整するときなどに使用します。

画質
画質モードを設定するときに使用します。

α5
α-ALPHA5機能を利用するときに使用します。

α-ALPHA5ランプ
α-ALPHA5機能が利用できるときは緑色、利用できないときは赤色に点灯します。

ディスプレイ
16文字×2行まで表示できる文字表示部（上2段）と、動作状態をお知らせするピクト表示部（下段）があります。



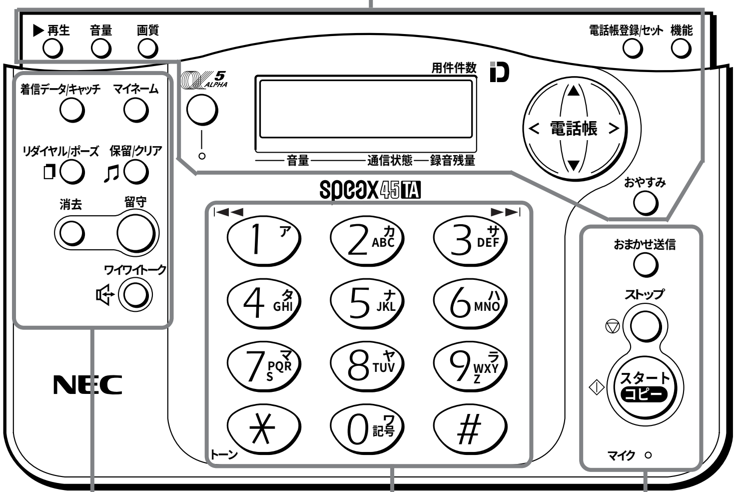
（ピクトは全点灯時を表わしています）

電話帳登録／セット
電話帳の登録や各種の設定時に使用します。

機能
各種の登録や設定時に使用します。

電話帳(▲／▼／＜／＞)
電話帳で電話をかけたり、電話帳に登録されている相手先を選ぶときなどに使用します。
各種の設定時には、ディスプレイのカーソルを左右に移動させます。

おやすみ
電話がかかってきた時に点滅します。おやすみモードに設定するときなどに使用します。



着信データ／キャッチ
かかってきた相手の電話番号を表示させたり、電話をかけるときなどに使用します。
キャッチホンが入った時に使用します。

マイネーム
自分専用の発信元名を付けて発信するときに使用します。

リダイヤル／ポーズ
最後にかけた相手にもう一度かけるときに使用します。
ポーズを入れるときに使用します。

保留／クリア
電話を保留するときなどに使用します。
各種の登録時、入力内容を消去するときに使用します。

消去
用件を消去するときに使用します。

留守
留守設定にするときなどに使用します。

ワイワイトーク
受話器を持たずに電話するときに使用します。

おまかせ送信
おまかせ送信時に使用します。

ストップ
送信やコピーを途中でやめるとき、登録や設定を途中でやめるときなどに使用します。
セットした原稿を排出するときに使用します。

スタート／コピー
ファクスの送信や受信時、コピー時などに使用します。

マイク
ワイワイトークで通話するときに使用します。
応答メッセージを録音するときに使用します。

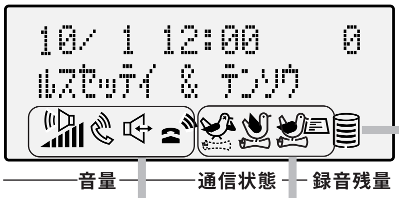
ダイヤルボタン
ダイヤルするときなどに使用します。

|◀◀（1）
再生中の用件をもう一度聞くときや、ひとつ前の用件を聞くときに使用します。

▶▶|（3）
再生中の用件の次の用件を再生するときに使用します。

トーン(＊)
ダイヤル回線を使用の場合、トーン（プッシュ）信号を送出したいときに使用します。

ピクト表示の見かた



録音残量表示

録音時の残り時間を示します。

（点滅）
録音ができないとき（用件が30件または残りの録音時間が20秒以内のとき）を示します。

※ メモリ代行受信（→P.44）したデータが残っていると録音できる時間は短くなります。

通信状態

待機中や機能選択時は、2羽のハトが表示されています。

（交互）
通話中は、1羽ずつ交互に表示されます。

（点滅）
自動ダイヤル中やオートリダイヤル待ちのときに点滅します。

（交互）
ファクス通信中は、1羽ずつ交互に表示されます。

（点滅）
おまかせ送信またはハンドスキャナ送信で、原稿を蓄積中に点滅します。

ファクス通信が正常に終了すると約5秒間点滅し、外線通話、通信、コピーをするまで点灯します。

ファクス通信が異常終了した時に約5秒間点滅し、外線通話、通信、コピーをするまで点灯します。
原稿蓄積中にメモリフルになった時、10秒間点滅し、外線通話、通信、コピーをするまで点灯します。

音量表示（本機使用時）

メッセージ出力時のスピーカ音量を示します。

通話時の受話音量を示します。

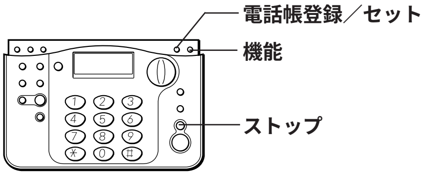
ワイワイトーク時のスピーカ音量を示します。

ベル音量を示します。

知っておきたいこと

設定操作について

本機の設定や登録は、ディスプレイに表示されるメニューから目的の項目を選択して行います。
まずメインメニューから選択し、更に各設定項目を選択して設定を行います。詳しい手順は各設定のページで説明しますが、基本的なメニュー選択の手順をご理解ください。



1 ダストカバーを開きます。

2 [機能] を押します。

ｷﾉｳｾﾝﾀｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

3 ダイヤルボタンを押して目的のメニュー項目を表示させます。

ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ

- この例では、受信設定が選択されています。
- [機能]ボタンを押して、メニューを表示させることもできます。

4 [電話帳登録/セット] を押します。

ﾑﾒｲﾄﾞｳ ﾁｬｸｼﾝ ○x

- ディスプレイに手順3で選択したメニューの設定項目が表示されます。

5 [機能] を押して目的の設定項目を選択します。

ﾁｬｸｼﾝ ﾍﾞﾙ 06ｶｲ

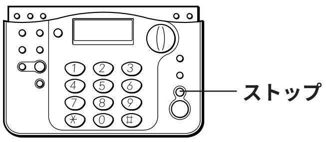
- 右例は、「着信ベル」を選択した場合の例です。

以降は選択した項目の設定操作になります。
（[ストップ] を押せば手順を終了できます。）

!
- **設定や登録を行う操作の途中で、約90秒以上何も操作をしないと、待機状態に戻ります。**

操作を間違えたとき

途中で操作や設定がわからなくなった場合や操作を間違えた場合は、次の操作をしてからもう一度やりなおしてください。



[ストップ] を押します。

- 操作／設定がキャンセルされ、待機状態またはひとつ前の状態に戻ります。

自分の電話番号の通知・非通知について

NTTのナンバー・ディスプレイを利用している相手に自分の電話番号を通知する、しない、それぞれの場合は、電話をかけるときに次のようにダイヤルしてください。

	「通話ごと非通知」を契約している場合	「回線ごと非通知」を契約している場合
相手に番号を通知する	普通にダイヤルします。	相手の番号の前に「186」をつけてダイヤルします。
相手に番号を通知しない	相手の番号の前に「184」をつけてダイヤルします。	普通にダイヤルします。

- ナンバー・ディスプレイの「通話ごと非通知」「回線ごと非通知」についてはNTT窓口等にお問い合わせください。（問い合わせ先→P.79）
- 電話番号を「通知」して電話した場合、電話勧誘など思わぬ使い方をされることがあります。

通話時間表示について

ディスプレイには、通話時間が表示されます。

ﾂｳﾜｼﾞｶﾝ 0' 05"

- **ダイヤル後、約10秒経つと相手が出ないときでも通話時間が表示されます。相手が出ると、0秒から表示しなおされます。**
- 通話時間は目安としてご利用ください。
- 受話器を戻してからも、約5秒間通話時間が表示されます。
- 通話時間が59分59秒を超えたときは、0分00秒から表示されます。

はじめにご確認ください

本機を組立・接続するまでの全体の流れを示します。まず、作業前の確認を行ってください。

ステップ1　作業前に確認します

- **設置スペースを確認してください。→本ページ右**
- **電話コンセントのタイプを確認してください。→本ページ右**
- **電話回線の配線状況を確認してください。**
  - ブランチ接続（並列接続）はしないでください →本ページ右
- **次の機器と接続するときは、参照ページもご確認ください。**
  - ホームテレホンやビジネスホンと接続する →P.100
  - パソコンやモデムと接続する →P.100
  - ISDNターミナルアダプタ（TA）と接続する →P.100

ステップ2　組立と接続

- **受話器を取り付けます。→P.16**
- **記録紙スタッカを取り付けます。→P.16**
- **電源を接続します。→P.16**
- **記録紙をセットし、記録紙サイズを設定します。→P.17**
- **時刻をセットします。→P.17**
- **電話回線に接続します。→P.18**
- **外付け電話機を接続します。（必要に応じて）→P.18**
  - 今までお使いの電話機も、本機に接続して利用することができます。

ステップ3　必ず設定してください

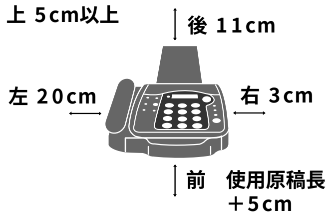
- **ナンバー・ディスプレイの設定を確認します。→P.19**
- **回線種別を設定します。→P.20**

ステップ4　必要に応じて設定してください

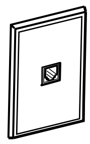
- **自分の電話番号を登録します。→P.21**
- **自分の名前（発信元）を登録します。→P.22**

設置スペース

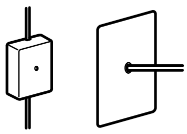
- 本機は壁に掛けて使うことはできません。
- 本機の操作や消耗品類の交換、日常点検などを行うために、図のスペースを確保してください。なお、本機は水平な所に設置してください。正常に動作しないことがあります。



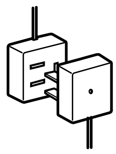
電話コンセント



モジュラ式のとき
そのまま接続できます。



直接配線のとき（ネジ止め式）
NTT窓口等にご相談ください。接続工事には、工事担任者資格が必要です。

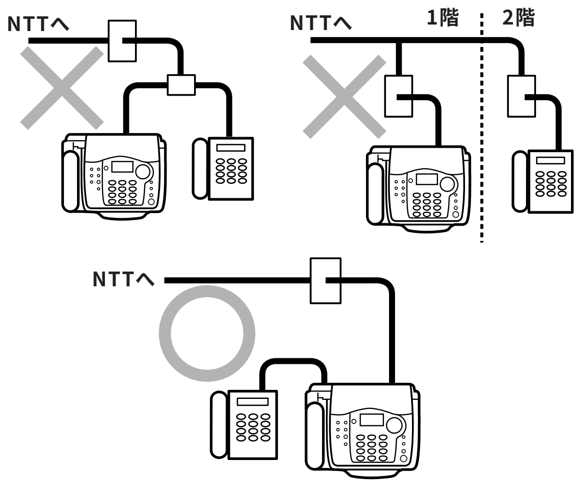


3ピンプラグ式のとき
市販のモジュラ付の電話キャップをお買い求めください。

ブランチ接続はしないでください

ブランチ接続（並列接続）をすると、次のような支障があり正常に動作できなくなります。

- ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機の受話器を上げるとファクスの画像に異常が起きます。
- 電話がかかってきた時、並列接続されている電話機のベルが途中で鳴り止んだり、相手がファクスのとき受信できない場合があります。



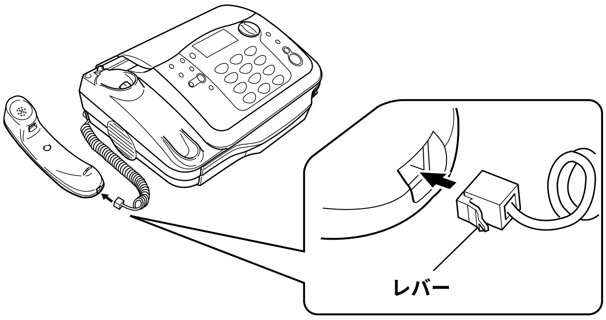
組立と接続

各部の取り付け

受話器の取り付け

受話器に受話器用コードを接続します。

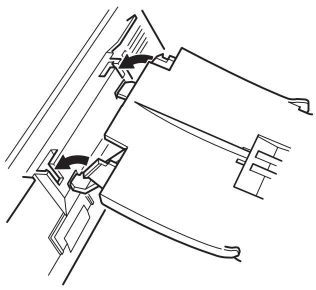
カチッと音がするまで差し込んでください。（抜くときはレバーを押さえて引き抜きます。）



記録紙スタッカの取り付け

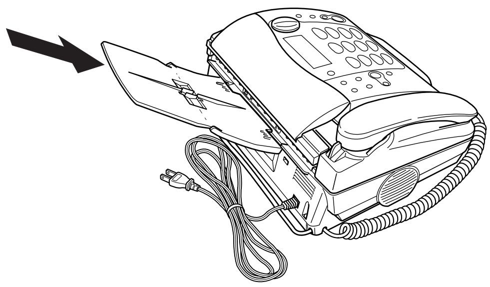
1 記録紙スタッカを本機背面の穴に合わせます。

● 記録紙スタッカの下側の位置決めを本機の穴に合わせたあと、上側のフックを本機の穴に合わせます。



2 記録紙スタッカを本機に押し込みます。

● 記録紙スタッカの根本を持って、固定されるまで押し込みます。

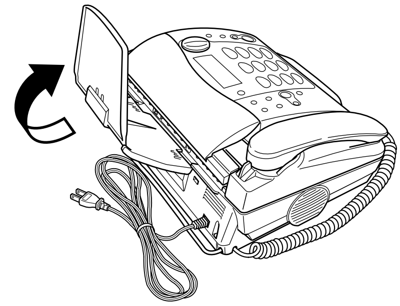


記録紙スタッカを外すときは

記録紙スタッカの根本を押し下げて外してください。

記録紙スタッカを折り曲げて使用できます

● 固定位置（垂直）まで記録紙スタッカを折り曲げます。
装置後方の設置スペースを削減することができます。

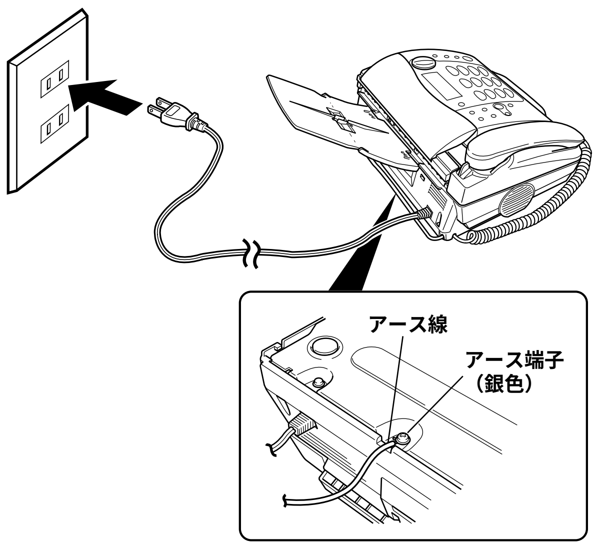


● 記録紙スタッカを折り曲げて使用した場合
・記録紙が記録紙スタッカ上から落下することがあります。
・記録紙スタッカ上に記録紙をためすぎると、記録紙づまりの原因となります。排出された記録紙は、まめに取り除いてください。
・コピー時にセットできる原稿は5枚までとなります。

電源の接続

電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

ディスプレイに「カバー／キロクシ　カクニン」と表示されます。

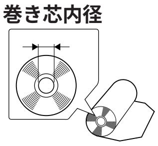


⚠注意

● 湿気の多い場所で使用する場合はアース接続をしてください。底面にアース端子（銀色）があります。アース線は付属していませんのでご用意ください。

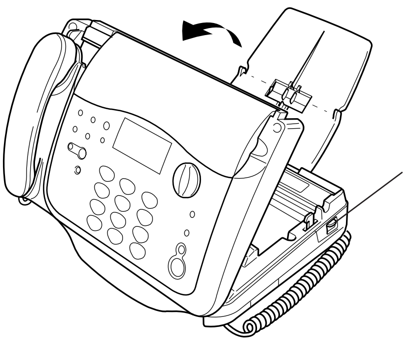
記録紙のセットとかんたん時刻セット

● 記録紙は付属品を使用するか、または巻き芯内径が1インチ（25.4mm）のものを使用してください。



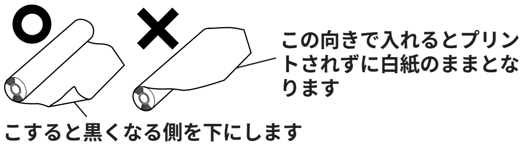
● 記録紙をセットしたあとは、本機に内蔵されている時計を設定します（かんたん時刻セット）。この時計はファクス送信時刻を相手の記録紙にプリントしたり、留守番電話で用件を録音した時刻を記録したりするときに使用されます。

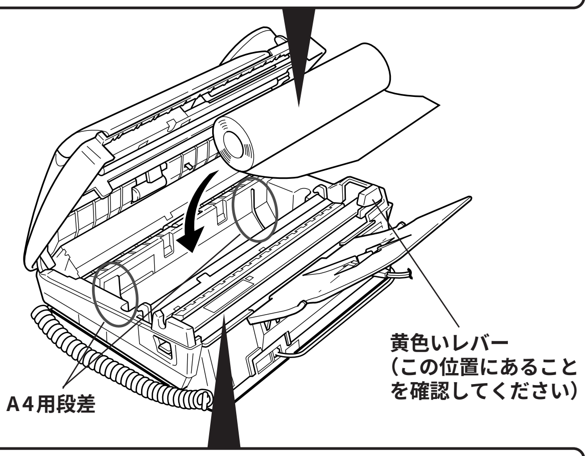
1 カバー開レバーを押してカバーを開けます。



2 記録紙を入れます。

● A4サイズのときは段差の中に入れてください。





⚠注意

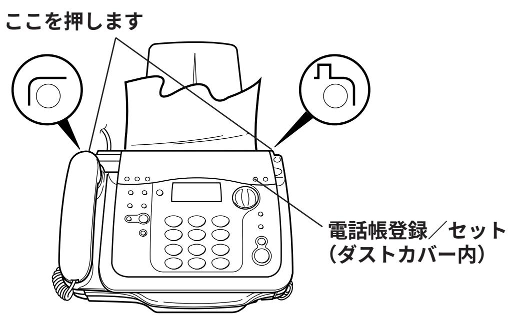
●手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。



●サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。



3 記録紙の先端を10cmくらい引き出し、はさむようにしてカバーを閉めます。



4 [1ア] または [2カABC] を押して記録紙のサイズを選びます。

`ｷﾛｸｼﾊ? 1:B4 2:A4`

カーソル

● 文字の下にある線のことをカーソルと呼びます。カーソルは選択されている項目や文字が入力される位置を示します。

● 1～2秒後、自動的に記録紙がカットされます。

`ｷﾛｸｼｻｲｽﾞ B4 ﾆｼﾏｼﾀ`

▼

`ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ`

▼

`ｼﾞｺｸｾｯﾃｲ ｼﾏｽ`
`ｾｯﾄ ｦ ｵｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ`

5 [電話帳登録/セット] を押します。

`'99　1/ 1　0:00`
`ｶﾝﾘｮｳ ﾊ ｾｯﾄ ｦ ｵｽ`

6 年月日、時刻を入力します。

● 1文字入力するごとにカーソルが移動します。
- 年　：西暦下2桁
- 月日：1～9は頭に「0」を付けてください。
- 時刻：24時間制。1～9は頭に「0」を付けてください。

例）1999年10月1日12：00にする場合
「99 10 01 12 00」と入力します。

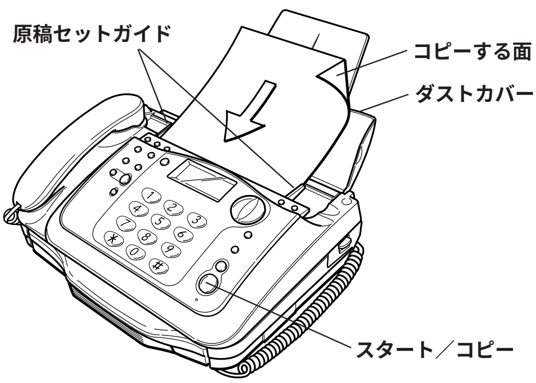
● [<]または[>]でカーソルを移動できます。

7 [電話帳登録/セット] を押します。

`ｶﾝﾘｮｳ`

8 正しく記録紙がセットされたかを確認するため、コピーをしてみましょう。

① ダストカバーを開けます。
② 原稿の幅に原稿セットガイドを合わせます。
③ コピーする面を下に向けて原稿を軽く差し込みます。自動的に約3cm引き込まれます。
④ [スタート／コピー]ボタンを2回押します。
コピーが終ると「ピー」という音がします。

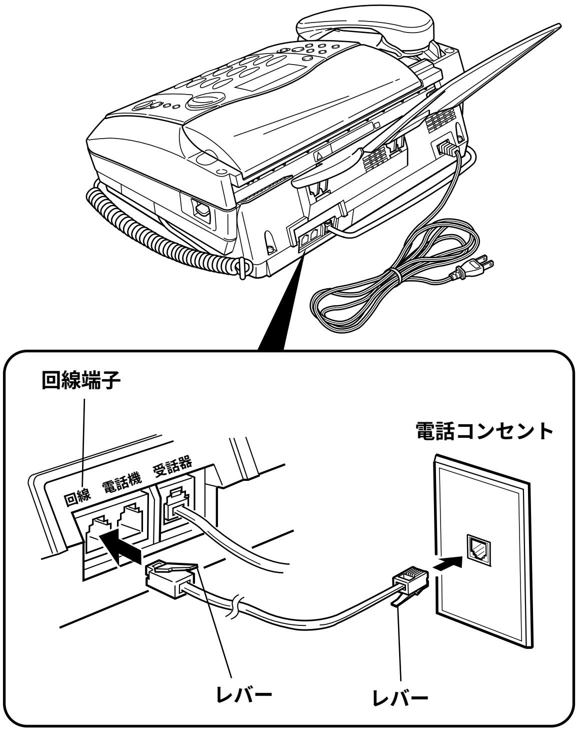


● 白紙が出てきたときは、コピーする面を上に向けてセットしたか、または記録紙の向きが逆です。

● 原稿や記録紙がつまったときは、P.92、P.93をご覧ください。

電話回線の接続

付属の電話回線接続コードの片方を本機背面の回線端子に、もう片方を電話コンセントに接続します。
カチッと音がするまで差し込んでください。
（抜くときはレバーを押さえて引き抜きます。）



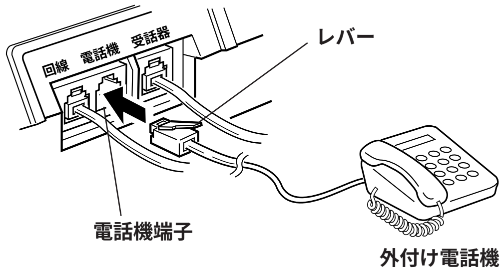
外付け電話機の接続

お手持ちの電話機などを本機に1台接続することができます。必要に応じて接続してください。

- 留守番電話機を接続した場合、その電話機の留守番電話機能は使用できません。本機の留守番機能をお使いください。
- コードレス電話機は接続しないでください。コードレス電話機を接続した場合、お互いに電波干渉を起こして子機のベルが鳴らなかったり、通話に雑音が入ったり、通話が切れたりすることがあります。

1 接続する電話機の電話回線接続コードを本機背面の電話機端子に接続します。

- カチッと音がするまで差し込んでください。
（抜くときはレバーを押さえて引き抜きます。）



2 外付け電話機の回線種別を設定します。

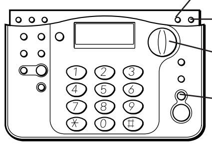
- ダイヤル回線（10pps、20pps）、プッシュ回線の設定です。詳しくは、その電話機の説明書をご覧ください。

- **外付け電話機の利用にあたっては、いろいろな制限事項があります。詳しくはP.35を参照してください。**

必ず設定してください

ナンバー・ディスプレイの設定

ナンバー・ディスプレイとは、かけてきた相手の電話番号をディスプレイに表示するNTTのサービスのことです。お客様がNTTとナンバー・ディスプレイの契約をされているかどうかに従って、本機を「ナンバー・ディスプレイを利用する」、あるいは「しない」のいずれかに設定します。



1 機能 を押します。

キノウセンタク　シテクダサイ

2 6 を押します。

ナンバーディスプレイセット

3 電話帳登録/セット を押します。

ナンバーディスプレイ　○×

カーソル

4 電話帳 の＜または＞を押してカーソルを移動します。

○×：ナンバー・ディスプレイを利用する
○×：ナンバー・ディスプレイを利用しない

5 電話帳登録/セット を押します。

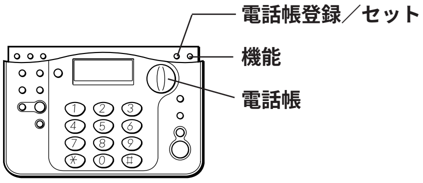
- 「ナンバー・ディスプレイを利用する」と設定した場合は、続いてナンバー・ディスプレイの各設定(→P.83)ができます。(設定をここで終了する場合は、[ストップ]ボタンを押してください。)
- 「ナンバー・ディスプレイを利用しない」と設定した場合は、「カンリョウ」と表示され、手順が終了します。

- お買い上げ時には、「ナンバー・ディスプレイを利用する」に設定されています。
- ナンバー・ディスプレイを契約している場合は、必ず「ナンバー・ディスプレイを利用する」に設定してください。電話が受けられなくなります。
- ダイヤルインサービスを契約し、ナンバー・ディスプレイを契約していない場合は、必ず「ナンバー・ディスプレイを利用しない」に設定してください。ダイヤルインサービスが利用できなくなります。
- モデムダイヤルインサービスを契約し、ナンバー・ディスプレイを契約していない場合は「ナンバー・ディスプレイを利用する」(お買い上げ時の設定)のままお使いください。

回線種別の手動設定

お使いの電話回線種別（プッシュ回線とダイヤル回線）を手動で設定します。

- 回線種別が分からないときは自動で設定することもできます。（→P.21）
  ただし、ISDNターミナルアダプタやPBX、ビジネスホンに本機を接続する場合は自動設定はできません。手動で設定してください。
- お買い上げいただいたときは、「ダイヤル回線（20pps）」に設定されています。プッシュ回線の場合は必ず設定してください。



1 [機能] を押します。　`キノウセンタク シテクダ゛サイ`

2 [3 サ DEF] を押します。　`セッテイ モート゛`

3 [電話帳登録/セット] を押します。　`ヨミトリ ノウト゛ ■■■`

4 [機能] を5回押します。　`カイセンシュヘ゛ツ 20P`

5 [< 電話帳 >] の＜または＞を押して回線種別を選びます。

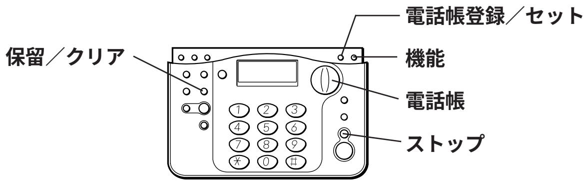
20P ：ダイヤル回線（20pps）
10P ：ダイヤル回線（10pps）
PB ：プッシュ回線

6 [電話帳登録/セット] を押します。　`カンリョウ`

時刻セット（再設定のとき）

本機に内蔵されている時計を再設定します。

- 次のような場合に、時刻の再設定をしてください。
  - 電源接続後、「かんたん時刻セット」をしないで、［ストップ］ボタンを押した場合
  - 時刻がずれてきた場合（時計の精度は平均月差±60秒以内）



1 [機能] を押します。　`キノウセンタク シテクダ゛サイ`

2 [4 タ GHI] を押します。　`トウロク モート゛`

3 [電話帳登録/セット] を押します。　`マイネームホ゛タン トウロク`

4 [機能] を7回押します。　`シ゛コク セット`

5 [電話帳登録/セット] を押します。　`'99 10/ 1 12:00` `カンリョウ ハ セット ヲ オス`　（カーソル）

- または3秒待ちます。

6 年月日、時刻を入力します。

- 1文字入力するごとにカーソルが移動します。
  - 年　：西暦下2桁
  - 月日：1～9は頭に「0」を付けてください。
  - 時刻：24時間制。1～9は頭に「0」を付けてください。

  例）1999年10月1日12：00にする場合
  「99 10 01 12 00」と入力します。
- ［＜］または［＞］でカーソルを移動できます。

7 [電話帳登録/セット] を押します。　`カンリョウ`

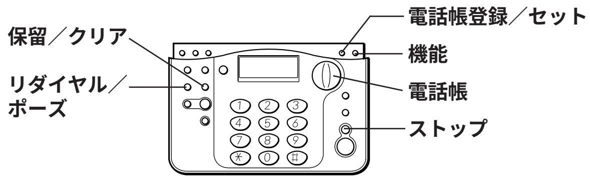
？
- **修正したいとき…**［保留／クリア］ボタンを押して入力しなおしてください。
- **途中で設定をやめるとき…**［ストップ］ボタンを押してください。

必要に応じて設定してください

回線種別を自動設定する（自分の電話番号の登録）

**自分の電話番号を登録すると、回線種別の自動選択機能が働き、自動で回線種別の設定ができます。
ここで登録した電話番号は、ファクス送信中に相手先のディスプレイに表示させたり、通信管理レポートなどに表示させたりすることができます。（相手機種によっては表示されないことがあります。）**

- 「回線種別の自動選択」機能は、登録した電話番号に自動的にダイヤルする（ビジートーンが返ってくる）ことによって回線種別を設定する機能です。間違って電話番号を登録すると、その電話番号に電話をかけてしまいますのでご注意ください。
- 自分の電話番号を登録したくない場合は、回線種別の手動設定を必ず行ってください。（→P.20）
- ここで登録した電話番号は発信元記録（→P.22）の設定を「発信元をプリントする」に設定しても、相手の記録紙にはプリントされません。
- ISDNターミナルアダプタやPBX、ビジネスホンに本機を接続する場合は、自動で設定することはできません。手動で設定してください。（→P.20）



1 機能 を押します。
キノウセンタク　シテクダ゛サイ

2 4 を押します。
トウロク　モート゛

3 電話帳登録/セット を押します。
マイネームボ゛タン　トウロク

4 機能 を押します。
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ　トウロク

3秒待つか、または［電話帳登録／セット］ボタンを押します。
▼
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
＿

5 自分の電話番号を入力します。

- 市外局番から入力してください（最大20桁）。［＊］、［#］は入力できません。空白を入力するときは、［リダイヤル／ポーズ］ボタンを押してください。

6 電話帳登録/セット を押します。
デ゛ンワカイセン　カクニンチュウ
▲
交互に表示
▼
シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ
▼
カンリョウ

- 「デンワカイセン　カクニン」と表示され、『回線を接続してください』というメッセージが流れた場合は、電話回線接続コードの接続を確認してください。

手順6で『回線種別の自動設定はできませんでした。ご自分で設定してください』というメッセージが流れ、ディスプレイに「カイセンセッテイ　シテクダサイ」と表示されたときは…
次の手順で設定してください。

1 電話回線接続コードの接続を確認します。
- 正しく接続されていなかった場合は接続をしなおし、［ストップ］ボタンを押してから登録をやりなおしてください。

2 正しく接続されていた場合は、 電話帳登録/セット **を押します。**

3 電話帳 **の＜または＞を押して回線種別を選びます。**
カイセンシュベ゛ツ　PB

20P ：ダイヤル回線（20pps）
10P ：ダイヤル回線（10pps）
PB ：プッシュ回線

4 電話帳登録/セット **を押します。**
カンリョウ

自分の電話番号を消去するとき

左と同じ手順を行い、手順5で［保留／クリア］ボタンを押してください。

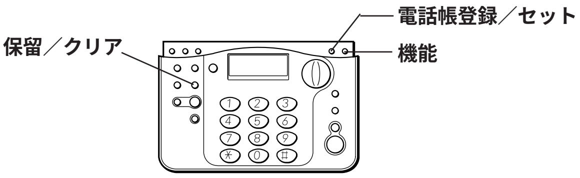
?
- **手順5で番号を間違えたとき…**［保留／クリア］ボタンを押して入力しなおしてください。
- **途中で登録をやめるとき…**［ストップ］ボタンを押してください。
- **引っ越しなどで電話番号が変わったとき…**登録しなおしてください。

発信元を相手の記録紙にプリントさせる

ファクスを送ったときに、相手の記録紙の各ページの最上部に発信元(自分の名前等)を自動的にプリントさせることができます。発信元をプリントさせると、相手側は、どこからのファクスなのかを容易に知ることができます。
発信元をプリントさせるには、発信元の登録と発信元記録(発信元をプリントさせる/させない)の設定が必要です。

- お買い上げいただいたときは、「発信元記録をする」(発信元をプリントさせる)に設定されています。ただし、プリントされる発信元は何も登録されていません。
- 発信元に登録できる文字はカナ、数字、アルファベット、記号で、最大40文字(空白を含む)です。

発信元(自分の名前等)を登録する



1 機能 を押します。　`ｷﾉｳｾﾝﾀｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ`

2 4 ﾀ GHI を押します。　`ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ`

3 電話帳登録/セット を押します。　`ﾏｲﾈｰﾑﾎﾞﾀﾝ ﾄｳﾛｸ`

4 機能 を2回押します。　`ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾄｳﾛｸ`

5 電話帳登録/セット を押します。　`ﾊｯｼﾝﾓﾄﾒｲ ﾆｭｳﾘｮｸ`

- または3秒待ちます。

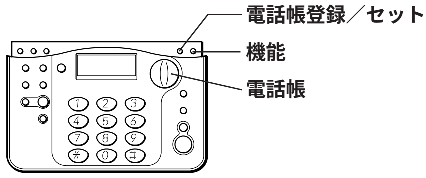
6 登録する名前を入力します。

- 次ページの表に従って文字を入力します。

7 電話帳登録/セット を押します。　`ｶﾝﾘｮｳ`

?
- **発信元を削除/変更するとき…**登録と同じ手順を行い、手順6で[保留/クリア]ボタンを押すと、1文字ずつ消去できます。
  変更時は名前を入力しなおします。

発信元をプリントさせる/させないを設定する



1 機能 を押します。　`ｷﾉｳｾﾝﾀｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ`

2 3 ｻ DEF を押します。　`ｾｯﾃｲ ﾓｰﾄﾞ`

3 電話帳登録/セット を押します。　`ﾖﾐﾄﾘ ﾉｳﾄﾞ ■■■`

4 機能 を押します。　`ﾊｯｼﾝﾓﾄｷﾛｸ ○×`

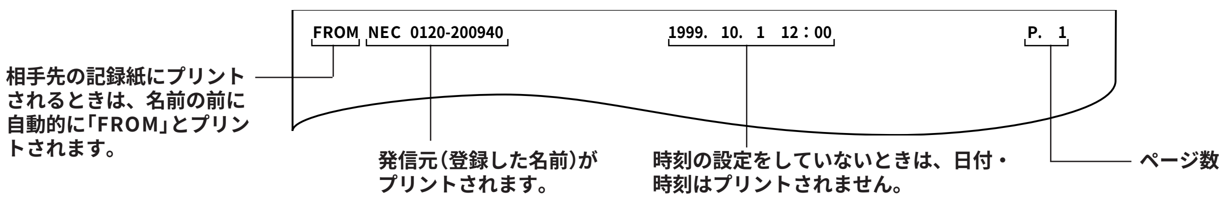
カーソル

5 電話帳 の<または>を押してカーソルを移動します。

○×:発信元をプリントさせる
○×:発信元をプリントさせない

6 電話帳登録/セット を押します。　`ｶﾝﾘｮｳ`

相手先でのプリント例



文字入力のしかた

●文字入力表

ダイヤルボタン／押す回数	1 ア	2 カ ABC	3 サ DEF	4 タ GHI	5 ナ JKL	6 ハ MNO	7 マ PQRS	8 ヤ TUV	9 ラ WXYZ	0 ワ 記号
1回	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ
2回	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	ヲ
3回	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	ン
4回	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	8	レ	0
5回	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	T	ロ	゛
6回	1	2	3	4	5	6	7	U	9	゜
7回	ァ	A	D	G	J	M	P	V	W	ー
8回	ィ	B	E	H	K	N	Q	ャ	X	.
9回	ゥ	C	F	I	L	O	R	ュ	Y	空白
10回	ェ			ッ			S	ョ	Z	(
11回	ォ									)
12回										・
13回										,
14回										*
15回										#
16回										&

（注）空白は1文字分空きます。

※「ア」「カ」のように異なる行の文字を続けて入力するときは、「ア」を入力したあとに[▷]を押さなくても次の文字が入力できます。「カ」「キ」のように同じ行の文字を続けて入力するときは、「カ」を入力したあとに[▷]を押してから次の文字を入力します。

? ●**文字入力を間違えたとき…**[◁]または[▷]でカーソルを移動し、[保留／クリア]ボタンを押すと、カーソル位置の文字が削除されます。続いて文字入力を行うと、カーソル位置の前に文字が挿入されます。

入力例：テツヤ8

① [4]を4回押して[電話帳]の[▷]を押します。　テ_

② [4]を3回押します。　テツ

③ [8]を1回押して[電話帳]の[▷]を押します。　テツヤ_

④ [8]を4回押します。　テツヤ8

ご使用の前に
設置
電話
ファクス／コピー
留守番
ハンドスキャナ
α・ALPHA5
ナンバー・ディスプレイ
キャッチホン／Fネット／ダイヤルイン
こんなときは

電話やファクスが入るとspeaxはこう動きます

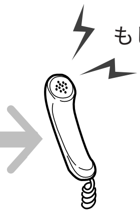
お買い上げいただいたときの状態では、speaxに電話やファクスがかかってくると次のように動作をします（ファクス／電話自動切替）。

- 留守設定、おやすみモードに設定したときは、動作が異なります。（→P.50、P.58）
- 電話モードやファクス専用モードに設定することもできます。（→P.46）
- 着信ベルの回数、呼出ベルの回数は変えることができます。（→P.45）

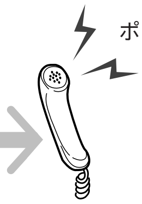
着信ベルが6回鳴ります。



その間に電話にでると．．．



● 相手が電話なら通話できます。



●「ポー･ポー･ポー…」という音が聞こえたら、ファクスです。
『ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください』というメッセージが流れたら受話器を戻してください。自動的にファクスを受信します。
［ファクスかんたん受信］（→P.47）

● 無音だったら、ファクスかも知れません。
［スタート／コピー］ボタンを押してみてください。

ベルが6回鳴っても電話に出なかった場合、回線を自動的に接続します。
［ファクス／電話自動切替機能］

電話に出なくてもここから相手に通話料金がかかります。

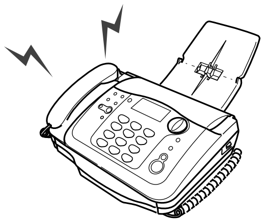
相手がファクスのとき

自動的に受信します。

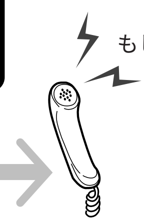


相手が電話のとき

引き続き呼出ベルが10回鳴ります。



相手には呼出音（トゥルルル）が少し変わって聞こえます。

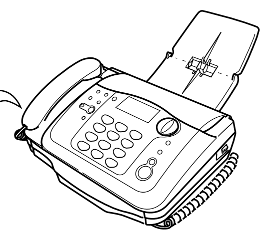


● 電話に出れば通話できます。

信号音の間に相手がファクスの送信操作をすると．．．

呼出ベルが10回鳴っても電話に出なかった場合、メッセージと信号音を送出して自動的に電話を切ります。

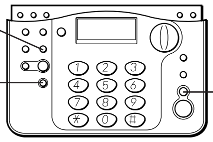
ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は、恐れ入りますがのちほどおかけなおしください。



その後「ピーヒョロヒョロ…」と信号音を30～40秒間送出します。

電話をかける

● プリント中のときは、電話をかけることができません。



1　受話器をとります。
● [ワイワイトーク]ボタンを押してかけることもできます。(→P.30)
●「ツー」という音が聞こえます。

2　相手先の番号をダイヤルします。

0120200940＿

3　話をします。
● 音量を調整できます。(→P.33)

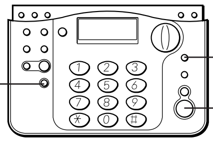
4　話が終わったら受話器を戻します。

確認ダイヤル

番号を確認してからかけたいときは、上の手順1、手順2の順番を反対(手順2→手順1)にして操作します。

?
● **確認ダイヤルで電話番号を押し間違えたとき…**[保留／クリア]ボタンまたは[ストップ]ボタンを押してからかけ直します。

電話を受ける



1　ベルが鳴ります。
● [おやすみ]ボタンが点滅します。

2　受話器をとります。

ﾂｳﾜｼﾞｶﾝ　0' 05"

3　話が終わったら受話器を戻します。

?
● **受話器を置いたまま電話に出たいとき…**[ワイワイトーク]ボタンを押してください。(→P.30)
● **ベルの音を調整したいとき…**P.33をご覧ください。
● **ベルの音を変えたいとき…**着信ベルの音色を変えることができます。ベルのかわりにメロディを流すこともできます。(→P.34)
● **キャッチホンの呼出音が聞こえたとき…**P.87をご覧ください。

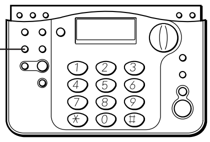
ポー・ポー・ポー…という音が聞こえるとき／無音のとき

● **受話器をとったら「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえるときは、相手がファクス送信しています。**
・お買い上げいただいたときの状態(ファクスかんたん受信(→P.47)を「する」と設定した状態)では、続いて『ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください』というメッセージが流れます。メッセージが聞こえたら、受話器を戻してください。
・ファクスかんたん受信を「しない」と設定したときは、メッセージは流れません。[スタート／コピー]ボタンを押して受話器を戻してください。
● **受話器をとったら無音のときは、相手がファクスかもしれません。**
[スタート／コピー]ボタンを押してみてください。(相手が旧型のファクスやコンビニエンスストアなどのファクスの場合、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえない場合があります。)

同じ相手にもう一度かける（リダイヤル）

最後にかけた相手には、ボタンひとつでかけなおすことができます。話中だった相手にもう一度かけなおすときなどにご利用ください。

● リダイヤルできる桁数は40桁までです。



1 受話器をとります。

2 リダイヤル/ポーズ を押します。

ﾀﾞｲﾔﾙﾁｭｳ
▲▼交互に表示
ｱｲﾃ:0120200940

● 最後にかけた相手には、ファクスを送った相手も含まれます。この中には、相手が話中などでファクスを送れなかった場合も含まれますのでご注意ください。

トーン信号に切り替える（ダイヤル回線の場合）

ダイヤル回線を使用している場合でもトーン信号（プッシュ信号「ピッポッパ」）によって、ポケベルへメッセージを送ったり、テレホンサービス、ファクス情報サービスの利用などができます。

● プッシュ回線をご利用の場合には、この操作は必要ありません。

1 電話をかけます。

2 トーン（＊）を押します。
● 以後はダイヤルボタンを押すとプッシュ信号が送出されます。

3 用件が済んだら電話を切ります。
● 電話を切ると自動的にダイヤル信号に戻ります。

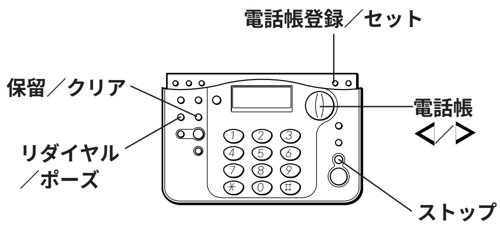
らくらく電話帳

電話帳に相手の名前と電話番号を登録しておくと、電話をかけるとき、ディスプレイで相手先名を選んでかけることができます。

電話帳に登録する

● 登録した内容は電話番号リストで確認できます。（→P.98）

● **登録内容**
・登録件数：200件
・相手先名：最大12文字
・電話番号：最大32桁



1 電話帳登録/セット を押します。

トウロク：ナマエ?

2 相手先の名前を入力します。

● 右の表に従って文字を入力します。名前を入力しないときは、次の手順3へ進んでください。
● [▷]を押すと1文字が決定され、カーソルが右に1つ移動します。

3 電話帳登録/セット を押します。

ナマエ：ニッポンデンキ
TEL：?

4 相手先の電話番号を入力します。

ナマエ：ニッポンデンキ
TEL：0120200940_

5 電話帳登録/セット を押します。

ニッポンデンキ
トウロク シマシタ
▼
トウロク：ナマエ?

● 続けて登録するときは、手順2から繰り返します。

6 登録を終了するときは ストップ **を押します。**

ダイヤルボタン／押す回数	1 ア	2 カ ABC	3 サ DEF	4 タ GHI	5 ナ JKL	6 ハ MNO	7 マ PQRS	8 ヤ TUV	9 ラ WXYZ	0 ワ 記号
1回	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ
2回	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	ヲ
3回	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	ン
4回	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	8	レ	0
5回	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	T	ロ	゛
6回	1	2	3	4	5	6	7	U	9	゜
7回	ァ	A	D	G	J	M	P	V	W	ー
8回	ィ	B	E	H	K	N	Q	ャ	X	.
9回	ゥ	C	F	I	L	O	R	ュ	Y	空白
10回	ェ			ッ			S	ョ	Z	(
11回	ォ									)
12回										・
13回										,
14回										＊
15回										#
16回										&

（注）空白は1文字分空きます

※「ア」「カ」のように異なる行の文字を入力するときは、「ア」を入力したあとに[▷]を押さなくても次の文字が入力できます。「カ」「キ」のように同じ行の文字を続けて入力するときは、「カ」を入力したあとに[▷]を押してから次の文字を入力します。

入力例：テツヤ8

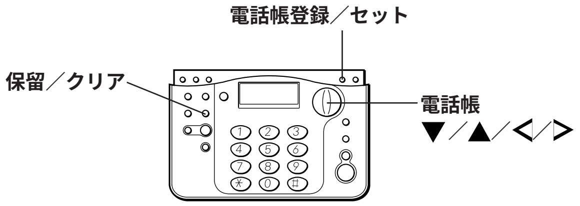
① [4]を4回押して[電話帳]の[▷]を押します。　テ_
② [4]を3回押します。　テツ
③ [8]を1回押して[電話帳]の[▷]を押します。　テツヤ_
④ [8]を4回押します。　テツヤ8

国際電話を利用するとき

● 国際電話を利用するときは、手順4で国際電話番号を入力した後、[リダイヤル／ポーズ]ボタンを2回押してから(表示は「ーー」)、残りの電話番号を入力してください。[リダイヤル／ポーズ]ボタンを押すと1回約3秒のポーズが入ります。
例：001ーー1[相手先の番号]

? ● **文字入力を間違えたとき…**[◁]または[▷]でカーソルを移動し、[保留／クリア]ボタンを押すと、カーソル位置の文字が削除されます。続いて文字入力を行うと、カーソル位置の前に文字が挿入されます。
● **途中で登録をやめるとき…**[ストップ]ボタンを押してください。
● **ディスプレイに「デンワチョウ　フル」と表示されたとき…**電話帳に200件の相手先が登録されています。不要な相手先を消去してから、新しい相手先を登録してください。（→P.28）
● **ナンバー・ディスプレイの機能を利用するとき…**同一市内の番号でも市外局番から登録してください。また、その際、＊、♯、ー(ポーズ)は入力しないでください。

電話帳の登録を変更／消去する



1 （電話帳）の▼または▲を押して修正／消去したい相手先名を選びます。

アイテ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
TEL：0120200940

- 登録されている相手先名が、空白＋文字→数字→カナ（50音順）→アルファベット→記号→名前を登録していない電話番号の順に表示されます。
- ダイヤルボタンを押して、相手先を素早く探すことができます。（→次ページ）
- 相手先を早送りしたいときは、[▼]または[▲]を押し続けてください。

2 （電話帳登録/セット）を押します。

1：ｼｮｳｷｮ
2：ﾍﾝｺｳ

3 （1ア）または（2カABC）を押して「ショウキョ」または「ヘンコウ」を選びます。

- [1]（ショウキョ）を選んだ場合

ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
1：ｼｮｳｷｮ　2：ﾄﾘｹｼ

- [2]（ヘンコウ）を選んだ場合

ﾅﾏｴ：ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
TEL：0120200940

カーソル

変更する

4 名前を変更します。

- [＜]または[＞]を押して、変更したい文字の下にカーソルを移動させ、新しい文字を入力します。
- [保留／クリア]ボタンを押すと、カーソルのある文字が一文字クリアされます。
- 名前を変更しないときは、手順5へ進んでください。

5 （電話帳登録/セット）を押します。

ﾅﾏｴ：ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
TEL：0120200940

カーソル

6 電話番号を変更します。

- [＜]または[＞]を押して、変更したい番号の下にカーソルを移動させ、新しい番号を入力します。
- [保留／クリア]ボタンを押すと、入力されている数字が全てクリアされます。
- 電話番号を変更しないときは、手順7へ進んでください。

7 （電話帳登録/セット）を押します。

ﾍﾝｺｳ ｼﾏｼﾀ

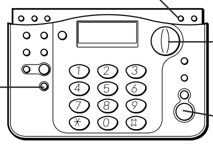
消去する

4 （1ア）を押します。

ｼｮｳｷｮ ｼﾏｼﾀ

- 登録が消去されます。
- 相手先を選びなおす場合は[1]のかわりに[2]を押します。（手順1に戻ります。）

電話帳を使って電話をかける



1 **電話帳の▼または▲を押して相手先を選びます。**

ｱｲﾃ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ TEL :0120200940

- 登録されている相手先名が、空白＋文字→数字→カナ（50音順）→アルファベット→記号→名前を登録していない電話番号の順に表示されます。
- ダイヤルボタンを押して、相手先を素早く探すことができます。（→本ページ右）
  例）「ニッポンデンキ」を探すときは、[5（ナ）]を押してください。
- 相手先を早送りしたい場合は、[▼]または[▲]を押し続けてください。

2 **受話器をとります。**

- ダイヤルが始まります。

ﾀﾞｲﾔﾙﾁｭｳ

▲▼交互に表示

ｱｲﾃ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ TEL :0120200940

3 **話が終わったら受話器を戻します。**

! **● 手順1の前に受話器をとっても電話をかけることはできます。この場合は相手先を選んだ後[スタート／コピー]ボタンを押します。[スタート／コピー]ボタンを押すまでにかかる時間によっては電話をかけることができなくなる場合があります。**

? ● **ワイワイトークで話したいとき…**受話器をとるかわりに[ワイワイトーク]ボタンを押します。

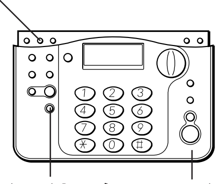
相手先を素早く探すには

- ディスプレイに相手先名が表示されているときにダイヤルボタンを押すと、ボタンに割り当てられているカナの行の先頭に飛ぶことができます。
  （例：[3（サ）]を押すと「サトウ」）
- また、ダイヤルボタンを押すたびに、その行の相手先名が順番に表示されます。
  （例：[3（サ）]を押すたびに「サトウ」「シンドウ」「スズキ」…）
- 該当する行に相手先名が登録されていないときは、相手が表示されません。
- 相手先名が表示されている状態から[▼]または[▲]を押すと、電話帳に登録されている順番（カナ→アルファベット→記号）で表示されます。
- 相手先が表示されている状態から頭文字が記号の相手先を探す場合は[0]を押し、その後[▼]を押してください。
- 相手先を早送りしたい場合は、[▼]または[▲]を押し続けてください。

ワイワイトーク（ハンズフリー通話）

受話器を持たずに電話ができます。両手がふさがっているときや、みんなで話をしたいときに便利です。ワイワイトークは周囲の雑音がない静かな場所で行ってください。

● 相手の声は左側面にあるモニタスピーカから聞こえます。モニタスピーカをふさがないように壁などから20cm以上離して設置してください。



1 ワイワイトーク **を押します。**
● [ワイワイトーク]ボタンが点灯します。

2 相手先の番号をダイヤルします。

`0120200940_`

3 マイクに向かって話をします。

`ﾂｳﾜｼﾞｶﾝ　0'05"`

● マイクから約50cm以内の範囲でお話しください。

4 話が終わったら ワイワイトーク **を押します。**
● [ワイワイトーク]ボタンが消灯します。

!
● **話し始めた時や相手が話している間、または周囲の雑音が大きいときは、相手に声が聞こえにくくなります。このようなときは、マイクに近づいて話をしてください。**

● **次のようなときは異常音（ハウリング音）が起こりやすくなります。ご注意ください。**
- **ワイワイトーク中のモニタスピーカ音量を大きくしすぎたとき**
- **モニタスピーカやマイクに手などを近づけたとき**
- **反響音が大きい所に設置したとき**
- **相手から音声以外の信号（保留音やトーン信号等）が入ってきたとき**

?
● **ワイワイトーク中に受話器での通話に切り替えたいとき…**受話器をとってください。
● **受話器での通話中にワイワイトークに切り替えたいとき…**[ワイワイトーク]ボタンを押してから受話器を戻してください。
● **スピーカの音量を調整したいとき…**[音量]ボタンを押してください。（→P.33）

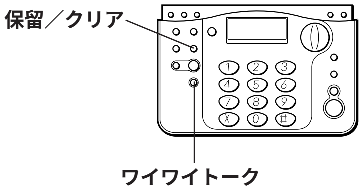
異常音が発生したとき

ワイワイトーク中に会話以外の「ピー」、「キー」等の異常音（ハウリング音）が聞こえたときや、スピーカの音量が不安定になったときは次のようにしてください。
- [音量]ボタンを押してスピーカの音量を小さくする
- 受話器をとって、受話器での通話に切り替える

保留する

話をしている途中で相手に待っていてほしいときなどに、メロディ音を流すことができます。メロディ音が流れている間は、こちらの声は相手に聞こえません。

● メロディ音（保留メロディ）は、2つの中から選ぶことができます。（→P.34）



1 **通話中です。**

2 **[保留/クリア] を押します。**

ホリュウチュウ ♪♪

● メロディ音が流れます。
● 受話器を戻しても電話は切れません。

3 **もう一度話をするときは[保留/クリア] を押します。**

● 受話器を戻していたときは、受話器をとるだけで話ができます。

4 **話が終わったら受話器を戻します。**

● ワイワイトークのときは[ワイワイトーク]ボタンを押してください。

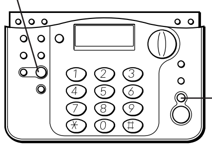
! ● **10分以上保留にしたままでいると電話は切れます。**

通話録音

通話中の会話を録音する

受話器で通話中に、会話を録音することができます。注文受付やインタビューなど、通話中にちょっとメモを取りたいときなどにご利用ください。録音した用件を相手に聞かせることもできます。

- 録音できる時間は最大15分です。ただし、通話録音するメモリと、留守番電話の自分で録音した応答メッセージや用件、受信した文書を記憶するメモリは同じものです。そのためメモリ内に用件や受信文書が残っていると録音できる時間が少なくなります。また、留守番電話の用件と合わせて合計が15分を超えない限り最大30件録音できます。
- 通話録音1件は留守番電話の用件1件分としてカウントされます。



1 受話器で通話中です。

2 留守 を押します。

ツウワ ロクオン チュウ

- 「ピー」という音がして、録音を開始します。相手にも「ピー」という音が流れます。

3 録音を終了するときは ストップ を押します。

- **ワイワイトークで通話中は、通話録音できません。**
- **留守番電話の用件が30件録音されているときや、残りの録音時間が約20秒以内のときは通話録音できません。**
- **通話録音中は保留できません。保留するときは、通話録音を終了させてください。**

- **メモリがいっぱいになったとき…**『メモリがいっぱいです』というメッセージが流れ、ディスプレイに「メモリガ　イッパイデス」と表示されます。録音は中断されます。

通話録音した内容を聞く

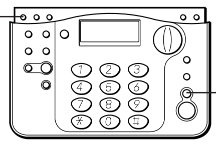
通話録音した内容は、留守番電話の用件の場合と同じ操作で再生したり、消去したりできます。
（→P.52）

- 留守番電話の用件が録音されていれば、録音された順に用件や通話録音内容が再生されます。
  通話録音した内容だけを再生する操作はありません。

留守番電話に録音された用件や通話録音した内容を相手に聞かせる

受話器で通話中に、留守番電話に録音された用件や通話録音した内容を再生して、相手に聞かせることができます。

- ワイワイトークで通話中は操作できません。



1 受話器で通話中です。

2 ▶再生 を押します。

ヨウケン サイセイ
▼
サイセイチュウ　1/ 1

- 録音内容が再生されます。
- 再生中のボタン操作については、P.52をご覧ください。

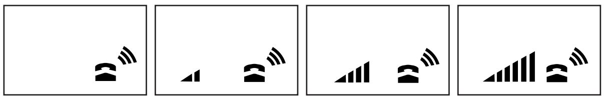
3 再生を終了するときは ストップ を押します。

音量調整

ダストカバー内の[音量]ボタンを押して調整します。

● ベル音量

待機中(電話とファクスのどちらも使用していない状態)に[音量]ボタンを押します。



音量「切」　音量「小」　音量「中」　音量「大」

● 受話音量

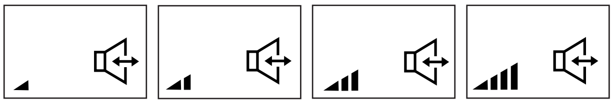
受話器で通話中に[音量]ボタンを押します。



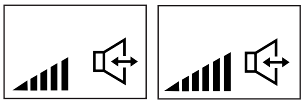
音量「小」　音量「中」　音量「大」

● ワイワイトーク音量

ワイワイトーク中に[音量]ボタンを押します。スピーカの音量を調整できます。



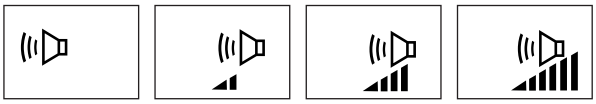
音量1　音量2　音量3　音量4



音量5　音量6

● モニタスピーカ音量、留守番電話の再生音量

用件再生中などに[音量]ボタンを押します。



音量「切」　音量「小」　音量「中」　音量「大」

いろいろな設定を変えて使う

ベルの音色／メロディを変える

着信ベルの音色を変えることができます。ベルのかわりにメロディを流すこともできます。

- α-ALPHA5サービスをご利用の場合は、メロディを取り込んで鳴らすこともできます。
- **お買い上げのとき…**「ベル（標準）」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、［機能］を押します。

2 ［2 カ ABC］を押します。

ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ

3 ［電話帳登録/セット］を押します。

ﾑﾒｲﾄﾞｳ ﾁｬｸｼﾝ ○X

4 ［機能］を5回押します。

ﾍﾞﾙｵﾝ・ﾒﾛﾃﾞｨ
→ ﾍﾞﾙ(ﾋｮｳｼﾞｭﾝ)

ベルの音色／メロディ

5 ［電話帳］の＜または＞を押して選びます。

1. ベル（ヒョウジュン）：通常のベル音
2. ベル（ナリワケ）：「ヒョウジュン」とは違う音
3. メロディ（A）：アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク
4. メロディ（B）：春
5. メロディ（C）：トルコ行進曲
6. （エランデメロディで取り込んだ曲）(→P.74)

- ［音量］ボタンを押すと、表示されているベルやメロディを聞くことができます。このとき［音量］ボタンを押して音量を調整できます。(→P.33)
- ベルやメロディは5秒間鳴りますが、［ストップ］ボタンを押せば音は止ります。
- α-ALPHA5サービスにより着信メロディを取り込んでいないときは6.（エランデメロディで取り込んだ曲）は表示されません。

7 ［電話帳登録/セット］を押します。

ｶﾝﾘｮｳ

? ● **着信ベルを確認するとき…**設定終了後、［音量］ボタンを押すとベルの音色／メロディを確認することができます。

保留メロディを変える

電話を保留した時に相手に流すメロディ音を選ぶことができます（保留メロディ1と2）。

- 保留メロディ1は「聖者の行進」、保留メロディ2は「茶色の小瓶」です。
- **お買い上げのとき…**「保留メロディ1」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、［機能］を押します。

2 ［3 サ DEF］を押します。

ｾｯﾃｲ ﾓｰﾄﾞ

3 ［電話帳登録/セット］を押します。

ﾖﾐﾄﾘ ﾉｳﾄﾞ ■■■

4 ［機能］を4回押します。

ﾎﾘｭｳ ﾒﾛﾃﾞｨ 1

5 ［電話帳］の＜または＞を押して選びます。

ホリュウ　メロディ1：「聖者の行進」
ホリュウ　メロディ2：「茶色の小瓶」

6 ［電話帳登録/セット］を押します。

ｶﾝﾘｮｳ

? ● **設定した保留メロディを確認するとき…**手順6の後［ワイワイトーク］ボタンを押し、［保留／クリア］ボタンを押すとメロディが流れます。確認後［保留／クリア］ボタンを押すとメロディが止まり、［ワイワイトーク］ボタンを押すと確認が終わります。

外付け電話機を使う

本機に外付け電話機を接続した場合、外付け電話機で電話をかけたり、受けたりすることができます。
また、電話を受けた時、相手がファクスのときでも受信操作することができます。

- 留守番電話機を接続した場合、その電話機の留守番電話機能は使用できません。本機の留守番電話機能をお使いください。
- ファクス／電話自動切替で使用の場合、自動的に回線を接続したあとは、外付け電話機のベルは鳴りません。したがって、無鳴動着信で使用の場合は、一切外付け電話機のベルは鳴りません。
- ダイヤルインサービスを利用時は、外付け電話機のベルは鳴りません。

電話のかけかた／受けかた

外付け電話機の説明書に従ってください。

ファクスの受けかた

電話を受けた時、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえる時の受けかたです。

「ファクスかんたん受信をする」に設定している場合

お買い上げいただいたときは、「ファクスかんたん受信をする」に設定されています。この場合「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたあと無音になります。無音になってから受話器を戻します。

「ファクスかんたん受信をしない」に設定している場合

「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら次の操作をします。

● ダイヤル回線をお使いのとき

1. **[3]を押します。**
2. **5秒ほど待ってから受話器を戻します。**

● プッシュ回線をお使いのとき

1. **[3][＊]を押します。**
2. **受話器を戻します。**

- **プッシュ回線をお使いの場合、[3][＊]を他の番号に変更できます。(→P.47)**
- **本機でコピー中やレポート出力中、登録・設定中は受信できません。**
- **本機でファクス通信中や通話中に外付け電話機の受話器を取ると「ブーン」等の音が聞こえる場合があります。本機の動作が終了するまでお待ちください。**

?

- **外付け電話機で電話をかけて話をしたあと、ファクスを送ってもらうとき…**外付け電話機の受話器を上げたままで本機の受話器をとり、[スタート／コピー]ボタンを押します。そのあと、本機と外付け電話機の受話器を戻します。

転送

外付け電話機と本機間の通話はできません。
直接、電話を転送することを伝えてください。

外付け電話機から本機へ転送する

1. **外付け電話機で通話中です。**
2. **本機の ワイワイトーク を押します。**
3. **外付け電話機の受話器を戻します。**
4. **本機のワイワイトークで話をします。**
   - 受話器をとって話をすることもできます。

本機から外付け電話機へ転送する

1. **本機で通話中です。**
2. **外付け電話機の受話器をとります。**
3. **本機の受話器を戻します。**
4. **外付け電話機で話をします。**

ファクス／コピーの前に

読み取りできる原稿とできない原稿

● 読み取りできる原稿のサイズおよび厚さ

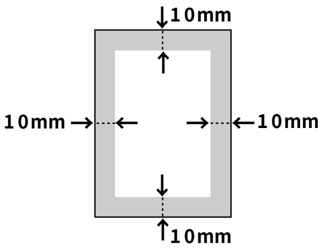
1枚だけセットする場合と複数枚セットする場合では、読み取れる原稿の長さと厚さが異なります。

	1枚だけセットする場合（幅×長さ）	複数枚セットする場合（幅×長さ）
最　大	257×1000mm	257×364 mm（B4サイズ）
最　小	128×128 mm	128×128 mm
厚　さ	0.05〜0.15 mm	0.065〜0.10mm

＊このページの紙の厚さは約0.09mmです。

● 読み取りできる範囲

原稿の縁から10mm以内の範囲にある文字などは、読み取れない場合があります（■の部分）。



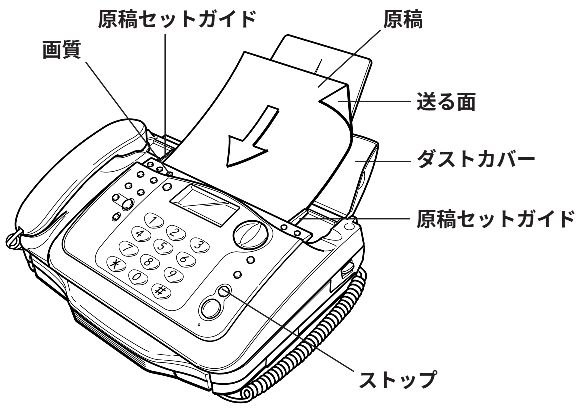
● そのままでは読み取れない原稿

次のような原稿は、普通紙に複写機でコピーするか、ハンドスキャナ（→P.61）または別売のキャリアシート（→P.108）を使って送信／コピーしてください。

読み取れない原稿	複写機でコピーした原稿	ハンドスキャナ	キャリアシート
フィルムやトレーシングペーパーのような透明なもの	○	○＊	○
破れたり、しわが入ったり、丸まった紙	○	○	○
感圧紙、感熱紙、裏カーボン紙などの化学処理した紙	○	○	○
小さすぎる紙（128×128 mm未満）	○	○＊	○
薄すぎる紙（0.05 mm未満）	○	○＊	○
厚すぎる紙（0.15 mmを超える）	○	○	×
ノリやテープで貼り合わせた紙	○	×	×

＊白い紙などの上に原稿を置いて読み取ってください。

原稿セットのしかた



1 **ダストカバーを開けます。**

2 **原稿の幅に原稿セットガイドを合わせます。**

● 複数枚のときは先端と幅をそろえてください。
● 一度にセットできる原稿枚数（同じ紙質・大きさの場合）
・ファクスのとき：15枚まで
・コピーのとき：　10枚まで（記録紙スタッカを折り曲げて使用時は5枚まで）

3 **送る面を下に向けて、原稿を軽く差し込みます。**



● 自動的に約3cm引き込まれます。
● 複数枚セットしたときは一番下の原稿が引き込まれます。
● ディスプレイに画質モードが表示されます。画質モードは、［画質］ボタンで変えられます。（→次ページ）

!

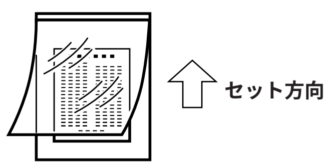
● 原稿セットガイドは原稿の幅にきちっと合わせてください。合わせないと原稿が斜めに入ったり、つまったりする原因となります。
● 幅や厚さが異なる原稿をいっしょにセットしないでください。原稿がつまったり、送信もれが出たりする原因となります。
● クリップやホチキスの針は必ず取り除いてください。故障の原因となります。
● インクや修正液、ノリなどが付いた原稿は、完全に乾かしてからセットしてください。
● 16枚以上送りたいときは、何回かに分けて送信してください。途中で原稿を追加しないでください。

セットした原稿を取り除きたいときは

● ［ストップ］ボタンを押すと、原稿が排出されます。
原稿は無理に引き抜かないでください。原稿読み取り部に傷がつく原因となります。

キャリアシートを使うときは

● キャリアシート（別売→P.108）は2枚以上同時にセットすることはできません。一枚ずつ送信／コピーしてください。



写真や小さい文字の原稿のとき（画質モード）

文字が小さい原稿や、写真のように濃淡のある原稿でも、鮮明に送ったりコピーをとったりすることができます。送信やコピーの前に画質モードを設定してください。

画質モードの決めかた

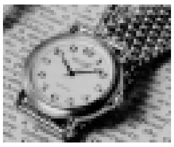
下の例の文字の大きさをめやすに、画質モードを決めてください。

フツウ（普通）：**文字がこのくらいの**

チイサイ（小さい）：**文字がこのくらいの大きさの**

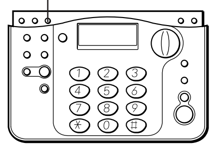
コマカイ（細かい）：文字がこのくらいの大きさ

シャシン（写真）：写真のとき（64階調ハーフトーン）



● お買い上げいただいたときは「フツウ」に設定されています。

画質モードの選びかた



1 原稿をセットします。

● ディスプレイに画質モードが表示されます。



2 [画質]を押して選びます。

● ボタンを押すごとにディスプレイの表示が変わります。

フツウ → チイサイ → コマカイ → シャシン → （フツウに戻る）

● 原稿をセットしていない状態で[画質]ボタンを押したときは、2秒以内にボタンを押して選んでください。2秒を過ぎると時刻表示になり、最後に表示されていた画質モードになります。

!

● 「コマカイ」、「シャシン」に設定すると、「フツウ」や「チイサイ」に比べ送信に時間がかかります。原稿の内容に合わせた設定をしてください。
● 色地の原稿を「コマカイ」、「シャシン」で送ると、送信時間が極端に長くなることがあります。色地の原稿を送るときは、「フツウ」または「チイサイ」に設定してください。
● 黒い部分が多い原稿や色地の原稿、縦の罫線のある原稿では送信に時間がかかります。
● 「コマカイ」に設定した場合、相手機種によっては「チイサイ」で送信することがあります。
● 「シャシン」に設定した場合、原稿によっては原稿の白い部分にゴマ模様の記録が出る場合があります。その場合には、読み取り濃度を「うすく読み取る」または「よりうすく読み取る」に設定してください。（→次ページ）
● コピーのときは、「チイサイ」、「コマカイ」、「シャシン」の中から選んでください。「フツウ」に設定しても「チイサイ」でコピーされます。

?

● **写真や濃淡のある原稿を送信するときやコピーするとき…**「シャシン」に設定してください。よりきれいに送信やコピーができます。

色がついた原稿や文字がうすい原稿のとき（読み取り濃度）

キャリアシート（別売→P.108）を使うときや用紙に色がついているとき、原稿の文字がうすいときなどは、相手が読みやすいように読み取り濃度を調整することができます。

● 送信やコピーの前に設定してください。

● **お買い上げのとき…**「普通で読み取る」に設定されています。

1 **ダストカバーを開け、機能を押します。**

2 **3（サ DEF）を押します。**

セッテイ モード

3 **電話帳登録/セットを押します。**

ヨミトリ ノウド ■■■

読み取り濃度

4 **電話帳の<または>を押して選びます。**

■□□□□： よりうすく読み取る（濃い原稿）

■■□□□： うすく読み取る（色地原稿や新聞）

■■■□□： 普通で読み取る（コピーや黒ペン書き原稿）

■■■■□： 濃く読み取る（鉛筆書き原稿やキャリアシート使用時）

■■■■■： より濃く読み取る（うすい原稿）

5 **電話帳登録/セットを押します。**

カンリョウ

!
- **設定した状態は次に変更するまで変わりません。送信やコピーが終わったら「普通（■■■□□）」に設定を戻してください。**
- **次のような原稿は鮮明に読み取れないことがあります。**
  - **青色のサインペンやボールペンなどで書かれた原稿（ブルーブラック、紺色に近い青は問題ありません。）**
  - **うすい鉛筆、蛍光マーカーで書かれた原稿**
- **赤は黒と同様に鮮明に読み取れます。（赤色地に黒で書かれた原稿は真っ黒になってしまいます。）**

?
- **読み取りの具合を確認したいとき…**コピーをとって確認してください。

海外へファクスを送るとき

海外にファクスを送るときは、「海外通信する」に設定すると、海外へ送るときに起こりやすい通信ミスが少なくなります。

● **お買い上げのとき…**「海外通信しない」に設定されています。

1 **ダストカバーを開け、機能を押します。**

2 **3（サ DEF）を押します。**

セッテイ モード

3 **電話帳登録/セットを押します。**

ヨミトリ ノウド ■■■

4 **機能を2回押します。**

カイガイ ツウシン ○×

カーソル

5 **電話帳の<または>を押してカーソルを移動します。**

○×：海外通信する

○×：海外通信しない

6 **電話帳登録/セットを押します。**

カンリョウ

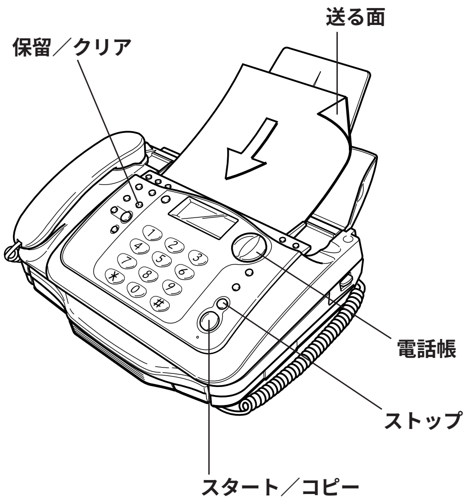
!
- **海外通信の設定は、ファクスを受信するときは関係ありません。**
- **海外へ送信完了後は、「海外通信しない」に戻してください。**
- **国際ダイヤル通話を利用して海外にファクスを送る場合、国際電話番号（001、0061、0041など）をダイヤルしたあと国番号と相手先電話番号をダイヤルしても、話中になり通信できないことがあります。このようなときは、国際電話番号のあとに[リダイヤル／ポーズ]ボタンを2、3回押し（約6秒〜9秒のポーズが入ります）、それから残りの電話番号をダイヤルしてください。それでも通信できない場合は、受話器をとって回線の接続具合を確認しながらダイヤルしてください。**
  例：001−−1［相手先の番号］

ファクスを送る

ファクスを自動で送る（自動送信）

相手先と話をしないで直接ファクスを送ることができます。相手先がファクス専用のときやファクス／電話自動切替になっているときなどに便利です。

- 受話器やワイワイトークで相手と話してからファクスを送る場合は、手動送信してください。（→次ページ）
- 相手機がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送ると、自動的にA4サイズに縮小して送信されます。



1 原稿をセットします。（→P.36）

`フツウ` （画質モード）

- 画質モードが表示されます。（→P.37）

2 相手先の番号をダイヤルします。

`0120200940＿`

- 受話器を置いたままダイヤルします。
- リダイヤルも使えます。
- 電話帳を使って相手先を選ぶこともできます。（→右記）

3 [スタート／コピー]を押します。

- 送信が終わると、「ピーッ」という音がします。

`ダイヤルチュウ`
▲▼交互に表示
`アイテ：0120200940`
▼
`ソウシンチュウ　　P01`（枚数）
▼
`ツウシン　シュウリョウ`

電話帳で送るときは

相手先が電話帳に登録されていると、簡単な操作でファクスを送ることができます。

- あらかじめ登録が必要です。（→P.27）

手順2のときに、[電話帳]の▼または▲を押して相手先を選びます。

- 登録されている相手先名が、空白＋文字→数字→カナ（50音順）→アルファベット→記号→名前を登録していない電話番号の順に表示されます。
- 相手先を素早く探すことができます。（→P.29）
  例）「ニッポンデンキ」を探すときは、[5（ナ）]を押してください。
- 相手先を早送りしたい場合は、[▼]または[▲]を押し続けてください。

!

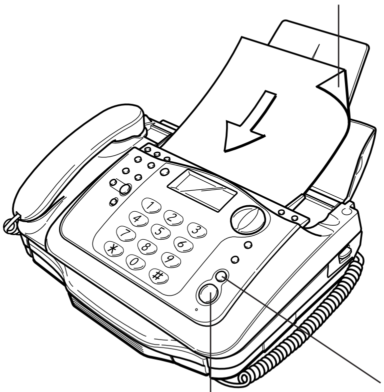
- **原稿は自動的に排出されます。一時的に止まることがありますが、無理に引き抜かないでください。**
- **通信中はディスプレイに相手先の名前（電話帳に登録した名前）や電話番号が表示されます。ディスプレイには12文字まで表示されます。（13文字以上あるときは後ろから12文字が表示されます。）**

?

- **相手が話中のとき…**ディスプレイに「サイハッコ　マチ　1カイメ」と表示されたときは、相手先が話中です。この場合、1分間隔で5回まで自動的にかけなおします（**オートリダイヤル**）。そのままお待ちください。5回かけなおしても送信できないときは不達レポートがプリントされます（→P.41）。送信をやめるときは[ストップ]ボタンを押して原稿を排出してください。
- **番号を間違えたとき…**[保留／クリア]ボタンを押して最初からダイヤルしなおしてください。
- **途中で送信をやめるとき…**[ストップ]ボタンを押してください。もう一度押すと原稿が排出されます。排出されないときは、もう一度押してください。
- **写真や小さい文字の原稿、色がついた原稿などを送る場合…**画質モードや読み取り濃度を設定してください。（→P.37、P.38）

相手と話してから送る（手動送信）

相手先と話をしてからファクスを送ることができます。相手先が手動受信の場合や相手先のファクス信号音（ピーヒョロヒョロ）を確認してから送信するときに便利です。



1 原稿をセットします。（→P.36）

● 画質モードが表示されます。（→P.37）



2 受話器をとって電話をかけ、話をします。

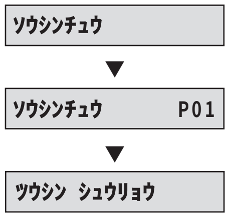
● ワイワイトークでかけることもできます。

3 相手に受信の操作をしてもらいます。

● 相手が操作すると「ピーヒョロヒョロ」という音が聞こえます。

4 [スタート/コピー] を押し、受話器を戻します。

● 送信が終わると、「ピーッ」という音がします。



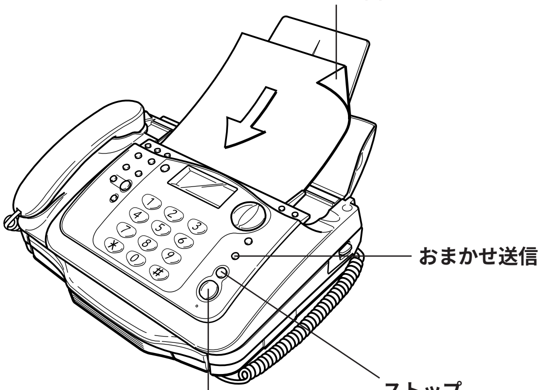
!
- **原稿は自動的に排出されます。一時的に止まることがありますが、無理に引き抜かないでください。**
- **こちらが先に［スタート／コピー］ボタンを押しても、相手が受信の操作をすれば送信できます。**

?
- **途中で送信をやめるとき…**［ストップ］ボタンを押してください。原稿が排出されます。排出されないときは、もう一度押してください。
- **ファクスを送ったあとも相手と話をしたいとき…**受話器を戻さないでください（相手も）。

メモリに読み込んでから送る（おまかせ送信）

セットした原稿を一旦読み取ってメモリに記憶してから送ることができます。

● メモリには、画質モード（→P.37）が「チイサイ」のときA4判（700字程度）原稿を約10枚記憶できます。



1 原稿をセットします。（→P.36）

フツウ
画質モード

● 画質モードが表示されます。（→P.37）

2 相手先の番号をダイヤルします。

0120200940_

● 受話器を置いたままダイヤルします。
● おまかせ送信ではリダイヤルできません。
● 電話帳を使って相手先を選ぶこともできます。（→P.39）

3 おまかせ送信 を押します。

● 自動的に原稿を読み取ります。
● 読み取りが終了すると自動的に送信します。
● 送信が終わると、「ピーッ」という音がします。

ゲンコウヨミトリチュウ P01
▼
ダイヤルチュウ
▲▼ 交互に表示
アイテ: 0120200940
▼
メモリ ソウシンチュウ P01
▼
ツウシン シュウリョウ

● **相手が話中のとき…**1分間隔で5回まで自動的にかけなおします（**オートリダイヤル**）。送信できないときは不達レポートがプリントされます。（→下記）

● **途中で送信をやめるとき…**[ストップ]ボタンを押してください。

原稿の読み取り中にメモリがいっぱいになったとき

①「ピーピーピー…」という音がして、「メモリ　フル」と読み取り中のページが表示されます。
② 5秒後（または[ストップ]ボタンを2回押すと）、読み取りが終わったページまでを送信する旨が表示されます。
③ 読み取りが終わったページまでを送信するときは、[スタート／コピー]ボタンを押してください。

送信をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。
何もしないまま60秒経つと自動的に送信します。読み取れなかった原稿は、原稿挿入口に残ったままです。原稿を排出するときは、送信が終了してから[ストップ]ボタンを押してください。

送信できなかったときは

● 自動的に不達レポートがプリントされます。

不達レポートのプリント例

フタツ　レポート
1999. 10. 1　12:27
NEC

ツウシン カイシ ニチジ	ツウシン ジカン	アイテサキ	モード	マイスウ	ツウシン ケッカ
10. 1 12:17		0120200940	G3	0	ハナシチュウ

ハナシチュウ：・相手先が話中
・回線が混み合っている
ヨビダシ：・相手先から通話予約などで呼び出しを受けている
・相手先の記録紙がなくなっているか、つまっている
チュウダン：・通信中に相手先が受信を中断した
・通信中に相手先の記録紙がなくなったか、つまった
ムオウトウ：・相手先が受信できない状態になっている
・相手先が電話に出ない
・電話回線が正しく接続されていないか、電話回線接続コードが断線しているおそれがある
××（2桁の英数字）：エラーコード（→P.97）

自分専用の発信元名を付けて送る（マイネームボタン）

よくファクスを送る相手先をマイネームボタンに登録すると、簡単な操作でファクスを送ることができます。

- マイネームボタンには自分専用の発信元名（マイネーム）を登録でき、相手の記録紙にはこのマイネームがプリントされます（P.22で登録した発信元ではありません）。
- マイネームボタンに登録できるのは1カ所だけです。
- 相手の記録紙にマイネームをプリントさせるには、次のことを行います。
  - ・ここでマイネームを登録する
  - ・P.22で「発信元をプリントさせる」に設定する
- 登録内容
  - ・相手先の電話番号：最大32桁
  - ・相手先名：　最大12文字
  - ・マイネーム：　最大40文字

マイネームボタンに登録する

1 ダストカバーを開け、［機能］を押します。

キノウセンタク シテクダ゛サイ

2 ［4 タ GHI］を押します。

トウロク モート゛

3 ［電話帳登録/セット］を押します。

マイネームボ゛タン トウロク

4 ［電話帳登録/セット］を押します。

トウロク:ナマエ?

5 相手先の名前を入力します。

- 入力のしかたは、P.23をご覧ください。名前を入力しないときは、次の手順6へ進んでください。

6 ［電話帳登録/セット］を押します。

ナマエ:ニッポ゜ンデ゛ンキ
TEL:?

7 相手先の番号を入力します。

ナマエ:ニッポ゜ンデ゛ンキ
TEL:0120200940_

8 ［電話帳登録/セット］を押します。

9 マイネームを入力します。

マイネーム: _

- 入力のしかたは、P.23をご覧ください。

10 ［電話帳登録/セット］を押します。

カンリョウ

［?］
- **手順7で番号を間違えたとき…**［<］または［>］でカーソルを移動するか、［保留／クリア］ボタンを押して入力しなおしてください。

国際電話を利用するとき

- 国際電話を利用するときは、手順7で国際電話番号を入力した後、［リダイヤル／ポーズ］ボタンを2回押してから（表示は「ーー」）、残りの電話番号を入力してください。［リダイヤル／ポーズ］ボタンを押すと１回約3秒のポーズが入ります。
  例：001ーー1［相手先の番号］

マイネームボタンを使って送る

1 原稿をセットします。（→P.36）

フツウ
画質モード

- 画質モードが表示されます。（→P.37）

2 ［マイネーム］を押します。

アイテ:ニッポ゜ンデ゛ンキ
TEL:0120200940

3 ［スタート コピー］を押します。

ダ゛イヤルチュウ
▲▼ 交互に表示
アイテ:ニッポ゜ンデ゛ンキ
TEL:0120200940

- この操作をしなくても、7秒後に自動的にダイヤルが始まります。

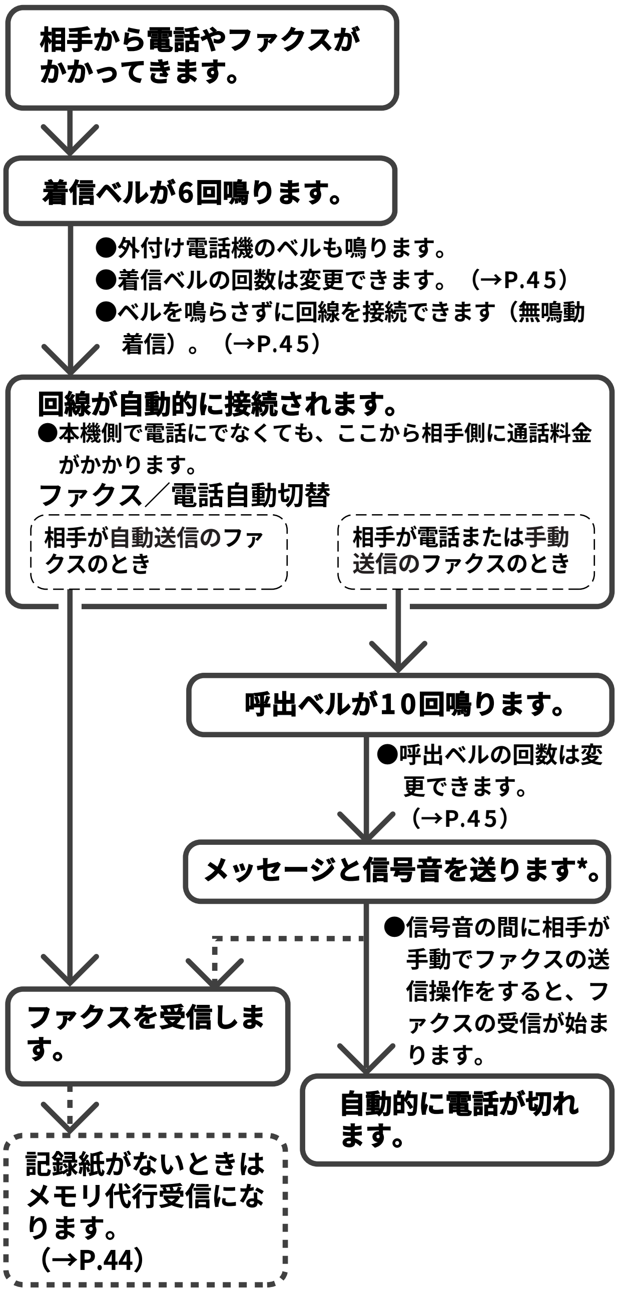
ファクスを受ける

ファクスを自動で受ける（ファクス／電話自動切替）

電話がかかってきたときにだれも電話に出ないと、本機が回線を自動的に接続して相手が電話かファクスかを判別し、ファクスならば自動的に受信します。相手が電話ならば、呼出ベルが鳴ります。

- **ご注意**
  回線が接続されると、電話に出なくても相手に通話料金がかかります。
- 自動切替のしかたやベルの鳴りかたは、設定によって変えることができます。
- 外付け電話機は回線が接続されたあとのベル（呼出ベル）は鳴りません。
- 留守設定にしたときやおやすみモードにしたときは、接続のしかたやベルの鳴りかたが異なります。
- **お買い上げのとき…**ファクス／電話自動切替をするように設定されています。

ファクス／電話自動切替のしくみ



*『ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れ入りますが後ほどおかけなおしください』というメッセージが流れ、そのあと「ピーヒョロヒョロ」という信号音を30〜40秒送ります。

？ ● **回線が接続されたことを相手に伝えたい…**音声メッセージを「流す」に設定すると、相手が電話の場合、回線が接続されたときに『お呼び出しいたしますのでしばらくお待ちください』とメッセージが流れます。（→P.46）

自動切替をやめるには

電話モードやファクス専用モードを「する」に設定すると、ファクス／電話自動切替が働かなくなります。

●いつでも必ず電話で受けたい（電話モードにする）

着信ベルの回数を「＊」に設定します。（→P.46）

- ファクスがかかってきたときも、着信ベルが鳴り続けます。
- 相手がファクスのときは、手動で受信することができます。（着信ベル9回以内に電話に出てください。相手ファクスが切れてしまうことがあります。）
- ファクス専用モードの設定は無効になります。
- 無鳴動着信を設定している場合は、無鳴動着信が優先され、電話モードにはなりません。

●いつでもファクスで受けたい（ファクス専用モードにする）

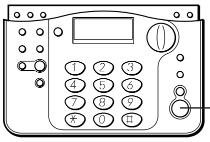
ファクス専用モードを「する」に設定します。（→P.46）

- 着信ベルが設定した回数だけ鳴るとファクス受信を開始します。
- 電話がかかってきたときもファクス受信に切り替わり、相手と話すことはできません。

ファクスを手動で受ける

電話に出たら「ポー・ポー・ポー･･･」という音が聞こえるときは、相手がファクスを送信しています。こんなときは手動で受信操作します。
お買い上げ時の状態では、ファクスかんたん受信が働き、「ポー・ポー・ポー･･･」のあと『ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください』というメッセージが流れます。このときは自動でファクスを受信しますので、受話器を戻してください。
電話で話したあと、そのまま電話を切らずにファクスを受信したいときや、ファクスかんたん受信を「しない」に設定したとき（→P.47）は、以下の操作で受信してください。

● こちらから相手に電話をかけ、ファクスを送ってもらうこともできます。その場合は必ず以下の手順で受信してください。（ファクスかんたん受信はできません。）



話をしたあとに受けたいときは、相手に送信の操作をしてもらいます。

「ポー・ポー・ポー･･･」という音が聞こえたら、[スタート/コピー]を押し、受話器を戻します。

ｼﾞｭｼﾝﾁｭｳ

● ファクスの受信が開始されます。
● 受信が終わると、「ピーッ」という音が聞こえます。

● 相手機種によっては「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえないことがあります。このときも上の手順でファクスを受信できます。

● こちらが先に[スタート／コピー]ボタンを押したとき…相手が送信の操作をすれば受信できます。

● ファクスを受信したあとも相手と話をしたいとき…受話器を戻さないでください（相手も）。

メモリ代行受信

記録紙がなくなっているときや紙づまりのときなどにファクスがかかってくると、メモリへ受信文書を記憶する機能です。メモリに記憶された文書は、あとで記録紙にプリントできます。

● こんなときにメモリ代行受信になります。
・記録紙が無いとき
・記録紙がつまっているとき
・カバーが開いているとき
・サーマルヘッドが加熱しているとき

● メモリ代行受信されると
ディスプレイは次のようになります。

ｶﾊﾞｰ/ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ

▼▲ 1秒おきに表示

ﾒﾓﾘｼﾞｭｼﾝﾌﾞﾝｼｮ ｱﾘ

● 記憶できる文書量
相手が画質モードを「普通」で送信したとき、A4（700文字程度）原稿を約20枚（最大10文書）記憶できます。ただし、原稿の内容によっては少なくなることがあります。
・留守設定のときに録音された用件が残っていると記憶できる枚数は少なくなります。

● 記憶された文書のプリント
メモリに記憶された文書は、新しい記録紙をセットしたり、紙づまりをなおすと自動的にプリントされます。
・ B4サイズのファクスをメモリ代行受信した場合、新しくセットする記録紙をA4サイズにするとプリントされません。B4サイズをセットするか、P.95を参照してください。

● 新しい記録紙をセットするときは裏と表を間違えないでください。記録紙に写らなくても、一度プリントされた内容はメモリから消えてしまい、再びプリントすることはできません。（→P.94）

● メモリがいっぱいのときは着信ベルが鳴り続け、メモリ代行受信はできません。

いろいろな設定を変えて使う

着信ベル回数を変える

ファクス／電話自動切替（→P.43）で、自動的に回線を接続するまでに鳴らすベルの回数を設定できます（1〜19回）。また、電話モードの設定もできます。

- 相手ファクスが自動送信の場合、10回以上に設定していると、受信できないことがあります。
- 無鳴動着信で使用していた場合は、まず「無鳴動着信しない」に設定してください（→右記）。それから着信ベル回数を設定してください。
- DDI（第二電電）α-ALPHA5（→P.66）を利用する場合は、オンライン通信するために10回以下に設定してください。
- **お買い上げのとき…**「6回」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、機能 ◯ を押します。

2 2カABC を押します。

ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ

3 電話帳登録/セット ◯ を押します。

ﾑﾒｲﾄﾞｳ ﾁｬｸｼﾝ ○×

4 機能 ◯ を2回押します。

ﾁｬｸｼﾝ ﾍﾞﾙ 06ｶｲ

カーソル

5 着信ベルの回数を入力します。

- 1〜9は頭に「0」を付けてください。
- [＊]を入力すると電話モードになります。

6 電話帳登録/セット ◯ を押します。

ｶﾝﾘｮｳ

? ● **手順5で回数を間違えたとき…**[保留／クリア]ボタンを押して入力しなおしてください。

呼出ベル回数を変える

ファクス／電話自動切替（→P.43）で、自動的に回線を接続したあとに鳴らすベルの回数を設定できます（1〜19回）。

- **お買い上げのとき…**「10回」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、機能 ◯ を押します。

2 2カABC を押します。

ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ

3 電話帳登録/セット ◯ を押します。

ﾑﾒｲﾄﾞｳ ﾁｬｸｼﾝ ○×

4 機能 ◯ を3回押します。

ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ﾍﾞﾙ 10ｶｲ

カーソル

5 呼出ベルの回数を入力します。

- 1〜9は頭に「0」を付けてください。

6 電話帳登録/セット ◯ を押します。

ｶﾝﾘｮｳ

? ● **手順5で回数を間違えたとき…**[保留／クリア]ボタンを押して入力しなおしてください。

ファクスの時はベルを鳴らさない（無鳴動着信）

相手先からファクスが送られてきた場合、着信ベルを鳴らさずにすぐにファクスを受信することを無鳴動着信といいます。

- 無鳴動着信に設定しても相手が電話の場合は、回線が接続されてから約5秒後に呼出ベルが鳴り始めます。
- 無鳴動着信に設定した場合でも、手動送信で送られてきたときは、呼出ベルが鳴ります。一度受話器をとって電話を受けてから、[スタート／コピー]ボタンを押して手動受信してください。
- **お買い上げのとき…**「無鳴動着信しない」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、機能 ◯ を押します。

2 2カABC を押します。

ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ

3 電話帳登録/セット ◯ を押します。

ﾑﾒｲﾄﾞｳ ﾁｬｸｼﾝ ○×

カーソル

4 ＜電話帳＞ の＜または＞を押してカーソルを移動します。

○×：無鳴動着信する
○×：無鳴動着信しない

5 電話帳登録/セット ◯ を押します。

ｶﾝﾘｮｳ

! ● **無鳴動着信に設定すると、外付け電話機のベルは鳴りません。**
● **留守設定にすると、無鳴動着信の設定は無効になり、留守設定動作をします。（→P.50）**

相手に音声メッセージを流す

ファクス／電話自動切替（→P.43）で、自動的に回線を接続した時、相手が電話のときは音声メッセージを流すことができます。

●『お呼び出しいたしますのでしばらくお待ちください』と流れます。（これは変更できません）
●**お買い上げのとき…**「音声メッセージを流さない」に設定されています。

1 **ダストカバーを開け、[機能]を押します。**

2 **[2ABC]を押します。** 　ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ

3 **[電話帳登録/セット]を押します。** 　ﾑﾒｲﾄﾞｳ ﾁｬｸｼﾝ ○×

4 **[機能]を押します。** 　ｵﾝｾｲ ﾒｯｾｰｼﾞ ○×（カーソル）

5 **[電話帳]の＜または＞を押してカーソルを移動します。**
○×：音声メッセージを流す
○×：音声メッセージを流さない

6 **[電話帳登録/セット]を押します。** 　ｶﾝﾘｮｳ

いつも電話で受ける（電話モード）

ファクス／電話自動切替（→P.43）をしたくない場合（ファクスを自動受信したくない場合や、電話に出なくても相手に通話料金がかかるのを防ぎたい場合）は、電話モードをご利用ください。電話モードにすると、普通の電話機と同じようになり、ファクスは手動で（[スタート／コピー]ボタンを押して）受信できます。

「着信ベル回数を変える」（→P.45）の手順を行い、手順5で[＊]を入力します。

●無鳴動着信で使用していた場合は、まず「無鳴動着信しない」に設定してください（→P.45）。それから着信ベル回数を設定してください。
●電話モードでも、留守設定時は自動的にファクスを受信します。ただし、「トールセイバしない」に設定しているときは留守番機能が働かず、自動受信もできません。（→P.60）

いつもファクスで受ける（ファクス専用モード）

着信ベルが設定した回数だけ鳴ると、自動的にファクス受信に切り替えることができます。
相手からかかってくるのが、ファクスだけであることがわかっているときにご利用ください。

●着信ベルの回数は変更できます。（→P.45）
●電話モードにしてあると、ファクス専用モードを「する」に設定しても電話モードが優先されファクス専用モードになりません。着信ベルの回数を1～19回に設定して電話モードを解除してください。
●**お買い上げのとき…**「ファクス専用モードにしない」に設定されています。

1 **ダストカバーを開け、[機能]を押します。**

2 **[2ABC]を押します。** 　ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ

3 **[電話帳登録/セット]を押します。** 　ﾑﾒｲﾄﾞｳ ﾁｬｸｼﾝ ○×

4 **[機能]を4回押します。** 　ﾌｧｸｽ ｾﾝﾖｳ ○×（カーソル）

5 **[電話帳]の＜または＞を押してカーソルを移動します。**
○×：ファクス専用モードにする
○×：ファクス専用モードにしない

6 **[電話帳登録/セット]を押します。** 　ｶﾝﾘｮｳ

●相手が電話の場合は、設定した回数だけベルが鳴るとファクス受信動作になり、電話を受けることはできません。
●留守設定にするとファクス専用モードの設定は無効になり、留守設定動作をします。（→P.50）
●無鳴動着信を「する」に設定すると着信ベルが1回も鳴らずにファクス受信動作になります。（→P.45）

ファクスかんたん受信の設定

お買い上げいただいたときは、「かんたん受信をする」(電話に出て相手がファクスの場合、自動で受信する)に設定されています。ただし、相手が電話の場合でも、声質や音によって、ファクスの受信状態になることがあります。ひんぱんに起こる場合は、「ファクスかんたん受信をしない」に設定してください。
また、いたずらファクスでお困りのときなどは、「ファクスかんたん受信をしない」に設定してください。

- 「ファクスかんたん受信をしない」に設定した場合は、相手がファクスだったら[スタート／コピー]ボタンを押して受信してください。
- 「ファクスかんたん受信をする」に設定した場合の動作については、P.24をご覧ください。

1 ダストカバーを開け、機能を押します。

2 3 サ DEF を押します。 [セッテイ モード]

3 電話帳登録/セット を押します。 [ヨミトリ ノウド ■■■]

4 機能を3回押します。 [カンタン ジュシン ○×] カーソル

5 < 電話帳 > の＜または＞を押してカーソルを移動します。

○×：ファクスかんたん受信をする
○×：ファクスかんたん受信をしない

6 電話帳登録/セット を押します。 [カンリョウ]

外付け電話機の転送受信番号の設定

外付け電話機で電話を受けたときに、相手がファクスだった場合に、それを本機に転送して受信するための番号を変更することができます。

- プッシュ回線をご利用の場合、ここで番号を変更することができます。
- ダイヤル回線をご利用の場合、ここで変更した番号は使えません。(ダイヤル回線の場合は[3]で固定されています。→P.35)
- **お買い上げのとき…**「3＊」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、機能を押します。

2 3 サ DEF を押します。 [セッテイ モード]

3 電話帳登録/セット を押します。 [ヨミトリ ノウド ■■■]

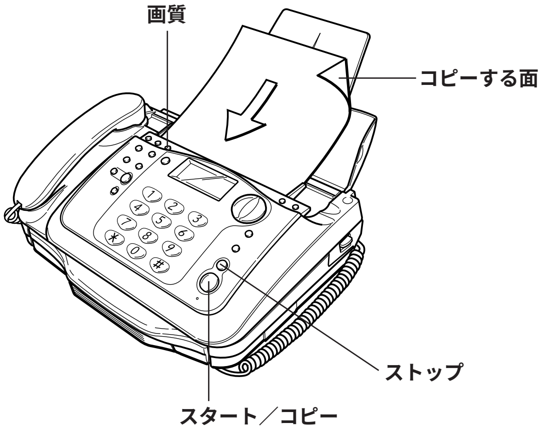
4 機能を7回押します。 [テンソウ ジュシン 3＊] 転送番号

5 < 電話帳 > の＜または＞を押してカーソルを移動します。

選べる番号：2＊、3＊、5＊、7＊
- 転送受信をしないときは、「シナイ」を選んでください。

6 電話帳登録/セット を押します。 [カンリョウ]

コピーをとる



1 原稿をセットします。(→P.36)

フツウ

画質モード

● 画質モードが表示されます。(→P.37)

2 原稿にあわせて、画質モードを選択します。

● [画質]ボタンを押して選びます。(→P.37)

3 スタート/コピー を押します。

コピーブスウ = 01

コピー部数

● ここでは常にコピー部数は「01」と表示されます。
● この状態で約5秒間何もしないでいると、自動的にコピーを開始します。

シングルコピー(1部コピーする)

4 スタート/コピー を押します。

コピーチュウ P01

● コピーが終わると「ピー」という音がします。

マルチコピー(複数部コピーする)

4 コピー部数を入力します。

コピーブスウ = 03

コピー部数

● 2〜99部まで入力できます。
● 2〜9は頭に「0」を付けてください。
● この状態で約5秒何もしないでいると、自動的に原稿の読み取りを開始します。

5 スタート/コピー を押します。

ゲンコウヨミトリチュウ P01

▼

コピーチュウ P01

● コピーが終わると、「ピー」という音がします。

!

●原稿は自動的に排出されます。無理に引き抜かないでください。
●A4サイズの記録紙をセットしている場合や記録紙のサイズをA4に設定している場合、B4サイズの原稿をコピーするとA4サイズに縮小されます。
●B4サイズの記録紙をセットしている場合、A4サイズの原稿をコピーすると等倍コピーされます。
●記録紙スタッカに、コピーした記録紙を10枚(記録紙スタッカを折り曲げて使用時は5枚)以上ためないでください。記録紙づまりの原因となります。
●記録紙スタッカを折り曲げて使用している場合は、コピーした記録紙が落下することがあります。(→P.16)

?

●白紙が出たとき
・原稿はコピーする面を下に向けてセットしましたか？
・記録紙のセットの向きは正しいですか(→P.94)？
●途中でコピーをやめるとき…[ストップ]ボタンを押してください。「ハイシュツチュウ」と表示され、原稿が排出されます。
●拡大／縮小コピーするとき…ハンドスキャナをお使いください。拡大／縮小の設定はハンドスキャナ使用時のみできます。(→P.65)
●写真や小さい文字の原稿、色がついた原稿などをコピーする場合…画質モードや読み取り濃度を設定してください。(→P.37、P.38)
●縮小コピーされたとき
・B4の原稿をコピーする場合、記録紙のサイズがA4に設定されていると、縮小コピーされます。B4サイズの記録紙に交換するか、カバーを一旦開けてから閉め、記録紙サイズを「B4」にしてください。ただし、A4サイズの記録紙が入っている場合は、はみ出した部分はプリントされません。(→P.94)
・記録紙のサイズがA4に設定されていて、A4の原稿をコピーする場合、原稿セットガイドをB4にして原稿を左端にセットすると、縮小コピーされます。原稿セットガイドは正しく原稿の幅に合わせてください。(→P.36)

コピーしてはいけないもの

● 簡単にコピーがとれるからといって自由に何をコピーしてもよいという訳ではありません。例え個人で使用することが目的であっても、法律でコピーが禁止されているものもあります。
・**貨幣**、**紙幣**、**公債証書**、**政府発行の有価証券**、**郵便切手**、**印紙**などは、外国で発行されたものも含め、法律でコピーが禁止されています。これらの中には、コピーしたものを持っているだけで法律に触れるものもあります。絶対にコピーしないでください。
・**書籍**、**音楽**、**絵画**、**版画**、**地図**、**図面**、**映画**、**写真**の著作物は個人的に、または家庭内などの限られた範囲内で使用する場合など、著作権法で認められている場合を除き、基本的にコピーすることが禁止されています。
・**パスポート**や**免許証**、**民間発行の有価証券**(**株券**、**手形**、**小切手など**)、**定期券**、**回数券**、**通行券**、**身分証明書**、**食券**などのコピーも政府の指導により注意が呼びかけられています。

ファクス情報サービスを利用する

● ファクス情報の内容や情報の提供方式については、各サービスの提供元にお問い合わせください。

● **ポーリング受信について**
あらかじめ相手先に用意されている原稿を、こちら(受信側)から操作して受信する機能をポーリング受信といいます。

ポーリング方式のとき

1 ダストカバーを開け、[機能]を押します。

2 [0 ワ 記号]を押します。

ファクス サービス

3 [電話帳登録/セット]を押します。

ファクスジョウホウ ジュシン

3秒後に表示が変わります

▼

アテサキ シテイシテクダサイ

4 相手先の番号をダイヤルします。

● 受話器は置いたままでダイヤルしてください。

5 [スタート コピー]を押します。

ダイヤルチュウ

? ● **前回ファクス情報サービスを利用した相手先へダイヤルしたいとき…**手順4で[リダイヤル／ポーズ]ボタンを押します。

ガイダンス方式のとき

1 受話器をとります。

2 相手先の番号をダイヤルします。

3 ガイダンスに従って操作します。

● ガイダンス後の「ピー」という音のあとでコードを入力してください。
● ガイダンスがない場合は次の手順4へ進んでください。

4 [スタート コピー]を押します。

ジュシンチュウ

5 受話器を戻します。

? ● **ダイヤル回線をご使用のとき…**コードをトーン(プッシュ)信号で入力する必要があるときは、ダイヤルしたあとに[＊](トーン)ボタンを押してください。以後のダイヤルはプッシュ信号が送出されます。(→P.26)
● **受話器を置いたまま操作したいとき…**手順1で[ワイワイトーク]ボタンを押してください。

留守セット／解除

留守設定にセットすると、電話に出られないときなどに相手の用件を録音することができます。相手がファクスのときは自動的に受信します。

- 録音できる時間は、1件につき最大3分、合計で約15分まで録音できます（自分で録音した応答メッセージの時間も含まれます）。用件を録音中に3分になると、相手に「ピー」という音が流れ、電話が切れます。なお、1件の録音時間が少ないときは、合計が15分を超えない限り最大30件録音できます。通話録音（→P.32）の時間と件数も含まれます。
- 留守設定時でも、電話をかけたり、受けたりすることができます。
- メモリ代行受信（→P.44）したデータが残っていると録音できる時間は短くなります。
- **留守設定にセットすると…**無鳴動着信やファクス専用モードに設定していても、以下の動作となります。（→P.45、P.46）
- **電話モードでお使いの場合…**「トールセイバする」（→P.60）に設定してください。「トールセイバしない」に設定すると、留守番機能が働きません（留守番電話が応答しません）。

留守設定にセットすると

相手から電話やファクスがかかってきます。

↓

着信ベルが鳴ります。

トールセイバの設定によって鳴る回数が異なります。（→P.60）
- **「する」に設定すると（お買い上げ時）**
  録音された用件があるとき：2回鳴ります。
  何も録音されていないとき：5回鳴ります。
- **「しない」に設定すると**
  録音された用件の有無にかかわらず「着信ベル回数を変える」（→P.45）で設定してある回数だけ鳴ります。

↓

回線が接続され、相手に留守番電話の応答メッセージが流れます。
自作応答メッセージを流すこともできます。

相手がファクスのとき → **ファクスを受信します。** → **記録紙がないときはメモリ代行受信になります。（→P.44）**

相手が電話のとき
- **このとき、相手側がファクスの送信操作をするとファクスの受信が始まります。**

→ **相手の用件が録音されます。**
- **モニタスピーカから相手の声が聞こえます。相手を確認してから電話に出ることもできます。（居留守モニタ）**

→ **録音が終わると[留守]ボタンが点滅します。**

応答メッセージについて

応答メッセージは、電話がかかってきたときの本機の状態によって異なります。

●通常

『ただいま留守にしております。電話の方はピーという音のあとにお名前とご用件をお話しください。ファクシミリの方はそのまま送信してください』

※ 自分で応答メッセージを録音した場合は、そのメッセージが流れます。

●用件は録音できないが、ファクスは受信できるとき（用件がいっぱいのとき）＊1

『ただいま留守にしております。ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れ入りますが、のちほどおかけなおしください』

●用件は録音できるが、ファクスは受信できないとき ＊1

『ただいま留守にしております。電話の方はピーという音のあとにお名前とご用件をお話しください。ファクシミリの方は恐れ入りますが、のちほどおかけなおしください』

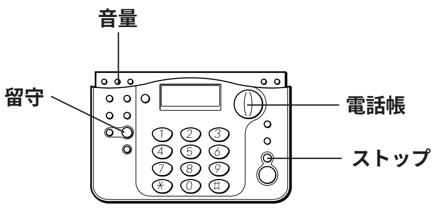
●用件の録音も、ファクスの受信もできないとき（メモリがいっぱいのとき）＊1

『ただいま留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけなおしください』

＊1 自分で自作応答メッセージを録音していても、これらの場合は本機の固定応答メッセージが流れます。

- **「リモート操作する」に設定すると、外出先から留守設定することもできます。（→P.54、P.55）**
- **外出先から録音された用件を、再生したり消去したりできます。（→P.55）**
- **録音された用件を、あらかじめ指定した先に転送することができます。（→P.56）**
- **ナンバー・ディスプレイを利用すると、相手に応じてベル音や応答メッセージを変えることができます。（→P.83、P.85）**

留守設定のしかた



1 留守 **を押します。**

オウトウメッセージ゛　　コテイ
▼
ルスセッテイ

- 応答メッセージが流れ、[留守]ボタンが点灯します。用件が残っているときは点滅します。
- 自分で2種類の応答メッセージを録音している場合、[<]または[>]を押して応答メッセージを選びます。

留守解除のしかた

用件が録音されているときは、[留守]ボタンが点滅しています。用件がないときは点灯しています。

10/　1 12:00　　5
ルスセッテイ

用件件数

1 留守 **を押します。**

- [留守]ボタンが消灯します。
- 『用件は○○件です』というメッセージが流れ、用件が再生されます。用件がないときは『用件はありません』というメッセージが流れます。
- 1件再生されるごとに、用件が録音された月日と時間が流れます（この機能をタイムスタンプといいます）。
- 用件が全部再生されると、『用件は以上です』というメッセージが流れ、1秒ごとに「＊」が増えていきます。
- 用件が全部再生されると、自動的に止まります。
再生を途中で止めたいときは、[ストップ]ボタンを押してください。

ヨウケン　サイセイ
▼
サイセイチュウ　　1/　5
（再生中の用件）
・ ・ ・
サイセイチュウ　　5/　5
▼
サイセイシュウリョウ＊＊＊・・・

!

- **[留守]ボタンを押したときに応答メッセージが聞こえないときは、留守設定時の音量が「切」になっていることがあります。🔈が表示されているときに[音量]ボタンを押してください。（→P.33）**
- **ナンバー・ディスプレイご利用のときは、電話帳に登録されている相手から電話があったときは自作応答メッセージ、登録されていない相手のときは固定応答メッセージを流すことができます。（→P.85）
また、用件再生時には、登録されている名前が表示されます。**

?

- **応答メッセージを本機の固定応答メッセージにしたいとき…**自分で録音した自作応答メッセージを2種類とも消去してください。（→P.53）
- **留守設定をしようとして次のようなメッセージが流れたとき**
  - 『用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください』
…………… 留守設定ができません。
  - 『メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください』
…………… すぐに用件がいっぱいになってしまいます。

  いずれの場合も、不要な用件を消去してから留守設定をしてください。（→P.52）

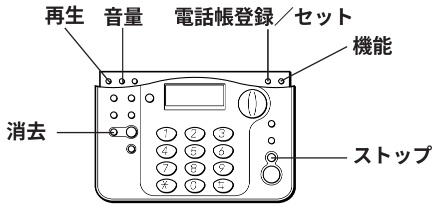
ご使用の前に
設置
電話
ファクス／コピー
留守番
ハンドスキャナ
α・ALPHA5
ナンバー・ディスプレイ
キャッチホン／Fネット／ダイヤルイン
こんなときは

用件の再生／消去

録音された用件は消去しない限り残っていますので、何回でも聞くことができます。用件再生時には、通話録音した内容があるとそれも再生されます。
ただし、用件を残したままだと録音できる時間が短くなるので、用済みになった用件は消去してください。

用件を再生する

- 留守設定をしている場合でも再生できます。
- 録音された用件を、通話中の相手に聞かせることができます。（→P.32）



1 ▶再生 を押します。

- 『用件は○○件です』というメッセージが流れ、用件が再生されます。用件が全部再生されると、『用件は以上です』というメッセージが流れます。
- 用件が全部再生されると自動的に止まります。

ヨウケン　サイセイ
▼
サイセイチュウ　1/　5
再生中の用件
用件件数
▼
サイセイシュウリョウ＊＊＊・・・

- **モニタスピーカ音量が「切」になっていると聞こえません。ご注意ください。[再生]ボタンを押しても用件が聞こえないときは、[音量]ボタンを押してください。****（→P.33）**

再生中のボタン操作について

ボタン	本機の動き
▶再生	高速で再生します。高速再生中に押すと通常の再生速度になります。
|◀◀ 1ア	1回押すと、再生中の用件を初めから再生します。 続けて2回押すと、ひとつ前の用件を再生します。
▶▶| 3サDEF	1回押すと、次の用件を再生します。 続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
ストップ	再生を止めます。（[ストップ]ボタンを押してから、もう一度[再生]ボタンを押すと1件目から再生します。）
消去	再生中の用件を消去します。 その用件を再生終了後、『消去しました』というメッセージが流れます。

特定の用件だけを消去する

1 **消去したい用件を再生します。**

サイセイチュウ　3/　5

2 消去 **を押します。**

- その用件を再生終了後、『消去しました』というメッセージが流れます。続いて次の用件が再生されます。

サイセイチュウ　4/　4

3 ストップ **を押します。**

用件を聞いてから一度に消去する

1 **用件を再生します。**

- 『用件は以上です』というメッセージが流れ、1秒ごとにディスプレイに「＊」が増えていきます（6秒間）。

サイセイチュウ　1/　5
・
・
・
サイセイシュウリョウ＊＊＊・・・

2 **「＊」が表示されている6秒以内に** 消去 **を押します。**

- 『再生済みの用件を消去しました』というメッセージが流れます。

すべての用件を消去する（全用件消去）

1 機能 **を押します。**

2 5ナJKL **を押します。**

ルスデ゛ン　キノウ

3 電話帳登録/セット **を押します。**

ゼ゛ンヨウケン　ショウキョ

4 **もう一度** 電話帳登録/セット **を押します。**

- 『消去しました』というメッセージが流れます。

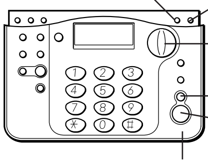
- **用件を聞いてから一度に消去する場合、早送りして一度も再生しなかった用件は消去されません。最後まで聞き終わらなくても、少しでも再生した用件は消去されます。**
- **全用件消去の場合、一度も再生していない用件もすべて消去されます。**

応答メッセージを録音／消去する

留守設定時(→P.50)に相手に流す応答メッセージを自分で録音／消去できます。

● 2種類の自作応答メッセージを録音できます。録音時間は、それぞれ最大20秒までです。
録音したメッセージは、留守設定時に選択すれば相手に流すことができます。(→P.51)
● 自分で録音しない場合、本機の固定応答メッセージが流れます。(→P.50)
● ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、電話帳に登録されている相手から電話があったときは自作応答メッセージ、登録されていないときは固定応答メッセージを流すことができます。(→P.85)
● マイクは人間の声の音域に合わせた設定になっています。自作応答メッセージといっしょに音楽を録音することはおすすめできません。
● 留守設定時でも自作応答メッセージを録音できま す。

録音のしかた



1 機能 **を押します。**

2 5 **を押します。** 〔ルスデ゛ン キノウ〕

3 電話帳登録/セット **を押します。** 〔ゼ゛ンヨウケン ショウキョ〕

4 機能 **を押します。** 〔オウトウメッセージ゛ ロクオン〕

5 電話帳登録/セット **を押します。** 〔オウトウメッセージ゛ 1〕

応答メッセージ
(1と2があります)

6 電話帳 **の＜または＞を押して1、2のいずれかを選びます。**

7 電話帳登録/セット **を押します。** 〔スタート ヲ オシテクダ゛サイ〕

● 『応答メッセージを録音します。スタートボタンを押してください』というメッセージが流れます。

8 スタート コピー **を押してから応答メッセージをマイクに向かって吹き込みます。** 〔ロクオンチュウ 20"〕

残り時間

● ほかの音を入れないようにして、マイクから20cm程度に近づいてお話しください。
● 録音の残り時間が"0"になると自動的に録音が止まります。この場合は、短いメッセージで録音しなおしてください。

9 **終わったら** ストップ **を押します。** 〔オウトウ サイセイチュウ〕

● 「ピー」という音がして録音が止まり、録音した自作応答メッセージが再生されます。再生が終わると、「ピー」という音がします。

?
● **録音中に電話がかかってきたとき…**録音が中断されます。もう一度はじめからやりなおしてください。
● **録音しなおすとき…**もう一度はじめからやりなおしてください。録音しなおすと、前に録音された自作応答メッセージは消去されます。
● **メモリがいっぱいになったとき…**『メモリがいっぱいです』というメッセージが流れ、ディスプレイに「メモリガイッパイデス」と表示されます。録音は中断されます。

消去のしかた

1 機能 **を押します。**

2 5 **を押します。** 〔ルスデ゛ン キノウ〕

3 電話帳登録/セット **を押します。** 〔ゼ゛ンヨウケン ショウキョ〕

4 機能 **を2回押します。** 〔オウトウメッセージ゛ ショウキョ〕

5 電話帳登録/セット **を押します。** 〔オウトウメッセージ゛ 1〕

6 電話帳 **の＜または＞を押して1、2のいずれかを選びます。**

7 電話帳登録/セット **を押します。**

● 『消去しました』というメッセージが流れます。

!
● **本機の固定応答メッセージを消去することはできません。**

外出先で留守番電話を操作する(外線リモート)

リモート操作の設定とリモートパスワードの登録

留守設定中に録音された用件を、外出先で聞くことができます。そのために、あらかじめリモート操作の設定とリモートパスワードの登録をします。
※パスワードは大切な番号ですので他人に知られないようにしてください。

- トールセイバを設定しておくと、外出先から用件の有無がわかります。(→P.60)
- リモートパスワードは4桁の数字を登録します。
- **お買い上げのとき…**「リモート操作しない」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、機能を押します。

2 4(タ GHI)を押します。

トウロク モード

3 電話帳登録/セットを押します。

マイネームボタン トウロク

4 機能を4回押します。

リモート ソウサ ○×

カーソル

5 電話帳の<または>を押してカーソルを移動します。

○×:リモート操作する
○×:リモート操作しない
- 「リモート操作しない」にしたときは手順8へ進んでください。

6 電話帳登録/セットを押します。

リモート PW = _

7 リモートパスワード(4桁の数字)を入力します。

8 電話帳登録/セットを押します。

カンリョウ

?
- **パスワードを間違えたとき…**[保留/クリア]ボタンを押して入力しなおしてください。
- **すでにパスワードが登録されているとき…**新しいパスワードを入力すると前のパスワードは消去されます。

外出先で留守番電話の用件を聞く

- あらかじめリモート操作の設定とリモートパスワードの登録が必要です。（→P.54）
- 外出する前に、[留守]ボタンを押して、留守設定にしておきます。
- プッシュ信号（ピッポッパ）が出せる電話機で操作してください。

1 外出先から電話をかけます。

- 電話がつながると応答メッセージが流れます。

2 # を押します。

- 応答メッセージが流れている間か、メッセージのあとに押してください。
- 応答メッセージが止まります。止まらないときは、もう一度[#]を押してください。

3 リモートパスワード（4桁の数字）を入れ、最後に # を押します。

- 『パスワードが一致しました。用件は○件です』というメッセージが流れ、用件が再生されます。

4 用件を聞きます。

- ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、用件の後に相手の番号を音声で流します。
- 再生中に早送りや巻き戻しを行いたいときは、リモート操作コードを押してください。

5 受話器を戻します。

!
- **用件再生終了後何もしないで20秒経つと電話が自動的に切れます。**
- **リモート操作で用件を聞いても、留守番電話の用件は消去されません。**

?
- **手順3で『パスワードを入れなおしてください』というメッセージが流れたとき…**[#][パスワード][#]と入れなおしてください。3回間違えると電話が切れます。
- **再生以外の操作をしたいとき…**手順3で[パスワード][#][リモート操作コード]と押してください。

留守設定をしないで外出したときは

電話をかけて呼出音の音色が高くなったら（ファクス／電話自動切替によって回線が接続されたら）、[#][パスワード][#]と押してください。
『留守設定をしました』というメッセージが流れ、留守設定になります。

- ・電話モード設定時は、外出先から留守設定することはできません。
- ・ダイヤルインをご利用の場合は、ファクス用の番号に電話をかけて上記の操作をしてください。

リモート操作コード表

項目	リモート操作コード	本機の動き
巻き戻し	＃1＃	再生中に押すとひとつ前の用件を再生します。 （先頭の用件を再生中の場合は、再生中の用件を再生します。）
用件再生	＃2＃	用件を先頭から再生します。 再生中に押すと高速で再生します。 高速再生中に押すと通常の再生速度になります。
早送り	＃3＃	再生中に押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
用件転送設定	＃61＃	用件転送を設定します。『用件転送を設定しました。転送先は×××です』というメッセージが流れます。転送先が登録されていないときは、『用件転送は使用できません』というメッセージが流れます。
用件転送解除	＃62＃	用件転送を解除します。『用件転送を解除しました』というメッセージが流れます。
留守設定	＃7＃	留守設定をします。『留守設定をしました』というメッセージが流れます。
用件消去	＃8＃	再生中に押すと、再生中の用件が消去されます。その用件を再生終了後、『消去しました』というメッセージが流れます。 用件を再生し、『用件は以上です』というメッセージが流れたあと、「ピッピッピッ‥‥」という音がしている間（約6秒間）に押すと、『再生済みの用件を消去しました』というメッセージが流れ、再生済みの用件がすべて消去されます。
留守設定解除	＃9＃	留守設定を解除します。『留守設定を解除しました』というメッセージが流れます。

- リモート操作コード表を持ち歩きたいときは、P.113の「外線リモート（外出先の電話機）」の表をハンドスキャナでコピーしてご活用ください。

留守番電話が入ったら外出先へ通知する(用件転送)

留守設定中に用件を録音したら、あらかじめ登録した携帯電話やポケベル、外出先の電話機へ通知することができます。

用件転送先の登録

- 用件転送先は1ヵ所だけ登録できます。
- あらかじめリモート操作の設定とリモートパスワードの登録が必要です。(→P.54)
- プッシュ信号(ピッポッパ)が出せる電話機やファクスを用件転送先としてください。
- **お買い上げのとき…**「用件転送しない」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、機能を押します。

2 4(タ GHI)を押します。 表示:トウロク モード

3 電話帳登録/セットを押します。 表示:マイネームボタン トウロク

4 機能を5回押します。 表示:テンソウサキ トウロク ○× (カーソル)

5 <電話帳>の<または>を押してカーソルを移動します。

○×:用件転送する
○×:用件転送しない
- 「用件転送しない」にしたときは手順8へ進みます。

6 電話帳登録/セットを押します。 表示:TEL:_

7 用件転送先の電話番号を入力します。

- 最大40桁までです。
- ポケベルにメッセージを表示させたいときは、「ポケベルにメッセージを表示させるには」(下記)を参照してください。

8 電話帳登録/セットを押します。 表示:カンリョウ

?
- **手順7で番号を間違えたとき…**[<]または[>]でカーソルを移動するか、[保留/クリア]ボタンを押して入力しなおしてください。
- **登録した電話番号を修正したいとき…**同じ手順で登録しなおしてください。

ポケベルにメッセージを表示させるには

ポケベルのディスプレイにメッセージを表示させたいときは、手順7で次のように入力してください。

ポケベル番号 ➡ ポーズ*1 ➡ (＊)*2 メッセージ番号 ＃ ＃(終了記号)

*1. NTTDoCoMoの場合は、[リダイヤル/ポーズ]ボタンを4回～5回、テレメッセージの場合は、[リダイヤル/ポーズ]ボタンを3回押します。
*2. ダイヤル回線をご使用の場合は[＊]を押してください。以後がプッシュ信号に切り替わります。プッシュ回線をご使用の場合は[＊]を押す必要はありません。

●ご注意
- ・ポーズ(待ち時間)は、ポケベルのサービス会社につながった時に流れる音声メッセージが終わるまでの待ち時間を作るために必要です。音声メッセージの長さは、お使いのポケベルのサービス会社へお問い合わせください。なお、[リダイヤル/ポーズ]ボタンを1回押すと約3秒間のポーズが入力できます。
- ・メッセージ番号については、ポケベルの説明書をご覧ください。
- ・登録できる番号は、ポケベル番号、ポーズ、メッセージ番号の合計が40桁までです。なお、ポーズは[リダイヤル/ポーズ]ボタンを1回で1桁に数えます。

用件転送の使いかた

「用件転送先の登録」をすると、留守セット／解除と同時に用件転送がセット／解除されます。

● あらかじめリモート操作の設定とリモートパスワードの登録が必要です。（→P.54）

用件転送のセット

1 留守 を押します。

ルスセッテイ ＆ テンソウ

用件転送を表しています

用件転送の解除

1 留守 を押します。

用件転送先での受けかた

1 ベルが鳴ったら受話器をとります。
- 『用件転送をします。パスワードを入れてください』というメッセージが繰り返し流れます。（メッセージが途中から聞こえることがあります。）
- メッセージが5回流れてもパスワードが入力されないと、自動的に電話が切れます。

2 [#] を押します。
- 『用件転送をします。パスワードを入れてください』というメッセージが流れている間か、メッセージのあと3秒以内に押してください。
- メッセージが止まります。止まらないときは、もう一度[#]を押してください。

3 リモートパスワード（4桁の数字）を入れ、最後に [#] を押します。
- 『パスワードが一致しました。用件は○件です』というメッセージが流れ、用件が再生されます。

4 用件を聞きます。

5 受話器を戻します。

!
- **用件転送先がPHSの場合、電波が届く範囲が狭いために用件転送できないことがあります。**
- **録音した用件が6秒未満のときは、用件転送されません。**
- **おやすみモードになっているときは、用件転送されません。**
- **用件が録音されてから用件転送するまでの間に、停電等で本機の電源が切れた場合は、用件転送されません。**
- **用件転送を受ける際、パスワードを入れる前に電話を切った場合、回線によってはその後も繰り返し用件転送されることがあります。このときは、「用件転送先での受けかた」の手順を最後まで行ってください。**

?
- **手順3で『パスワードを入れなおしてください』というメッセージが流れたとき…**[#][パスワード][#]と入れなおしてください。3回間違えると電話が切れます。
- **再生中に早送りや巻き戻しを行いたいとき…**リモート操作コードを押してください。（→P.55）
- **再生以外の操作をしたいとき…**手順3で[パスワード][#][リモート操作コード]と押してください。（→P.55）
- **用件転送先が話中のときやだれも電話に出なかったとき…**1分間隔で5回、それでもつながらないときは、更に30分間隔で5回まで自動的にかけなおします。10回かけなおしてもつながらなかったときは、用件転送されません。
  また、用件転送先が話中で、自動的にかけなおそうとして待機している間に別の用件を録音したときは、最初に録音した用件の残りの回数分だけかけなおします。

おやすみモード

電話やファクスが入った時のベルを鳴らしたくないときや、ファクスの動作音が気になるときは、おやすみモードをご利用ください。

- おやすみモードにすると、留守設定時の動作になります。なお、ベルは鳴りません。ファクスを受信するとプリントされずにメモリに記憶されます。
- おやすみモードのときは、ベル音、留守電着信時のモニタ音、ファクス受信終了時の「ピー」という音は出ません。
- おやすみモードにする時間帯をあらかじめ設定しておくと、毎日自動的におやすみモードに切り替えることができます。(→P.59)

おやすみモードのセット／解除

おやすみモードにすると

相手から電話やファクスがかかってきます。

↓

着信ベルは鳴らず、［おやすみ］ボタンが点滅します。

- **ナンバー・ディスプレイを利用すると、特定の相手からかかってきたときにだけ着信ベルを鳴らすことができます。(→P.84)**

↓

回線が接続され、相手に留守番電話の応答メッセージが流れます。

相手がファクスのとき

受信内容はプリントされずメモリに記憶されます。

- **受信終了時の「ピー」という音は聞こえません。**
- **おやすみモードを解除すると、受信内容がプリントされます。**

相手が電話のとき

- **このとき、相手側がファクスの送信操作をするとファクスの受信が始まります。**

相手の用件が録音されます。

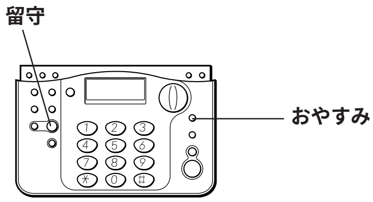
- **留守設定のときと異なり、相手の声はモニタスピーカから聞こえません。**

↓

録音が終わると[留守]ボタンが点滅します。

- **メモリが残り少ないときに、メモリ残量を超える量の文書が送られてくると、受信できないことがあります。**

おやすみモードの設定のしかた



1 おやすみ **を押します。**

ルスセッテイ

- [おやすみ]ボタンと[留守]ボタンが点灯します。

おやすみモードの解除のしかた

用件が録音されているときやファクスの受信文書があるときは、[留守]ボタンが点滅しています。

1 おやすみ **を押します。**

- [おやすみ]ボタンと[留守]ボタンが消灯します。用件が録音されているときは用件が再生されます。ファクスを受信しているときはプリントされます。

?

- **留守設定をしたあとに、おやすみモードにしたとき…**おやすみモードを解除しても、留守設定は解除されません。[留守]ボタンを押すと、おやすみモードと留守設定の両方が解除されます。
- **おやすみモードにしようとして、『用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください』というメッセージが流れたとき…**すでに用件が30件入っているか、残りの録音時間が20秒以内なので、不要な用件を消去してからおやすみモードにしてください。(→P.52)
- **おやすみモードにしようとして、『メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください』というメッセージが流れたとき…**すでに用件が27件～29件入っているか、録音できる時間が21秒～2分なので、不要な用件を消去してからおやすみモードにしてください。(→P.52)

おやすみモードのタイマ切替

おやすみモードにする時間帯を設定しておくと、毎日自動的におやすみモードに切り替えることができます。

● おやすみモード開始時刻と終了時刻は別々に設定します。
・設定した開始時刻と終了時刻になると、自動的におやすみモードを設定／解除します。
・開始時刻だけ設定すると、自動的におやすみモードを設定します。解除は手動で行います。
・終了時刻だけを設定すると、自動的におやすみモードを解除します。設定は手動で行います。

● 留守録の用件がいっぱい（メモリフル）のときはおやすみモードに切り替わりません。不要な用件を消去してください。（→P.52）
● 次の場合は、おやすみモードを自動的に解除した時、留守設定になります。
・留守設定してからおやすみモードにしたとき
・用件が録音されているとき
● **お買い上げのとき…**おやすみモードのタイマ切替は設定されていません。

1 **ダストカバーを開け、機能を押します。**

2 **4タGHIを押します。**

トウロク　モード

3 **電話帳登録/セットを押します。**

マイネームボタン　トウロク

4 **機能を3回押します。**

オヤスミモード　タイマキリカエ

5 **電話帳登録/セットを押します。（または3秒待ちます。）**

オヤスミ　オン　○×（カーソル）

6 **電話帳の＜または＞を押してカーソルを移動します。**

○×：開始時刻を登録する
○×：開始時刻を登録しない
●「開始時刻を登録しない」にしたときは手順9へ進みます。

7 **電話帳登録/セットを押します。**

オヤスミ　オン　＝　00：00

8 **開始時刻を入力します。**

● 24時間制。0〜9は頭に「0」を付けてください。

9 **電話帳登録/セットを押します。**

オヤスミ　オフ　○×（カーソル）

10 **電話帳の＜または＞を押してカーソルを移動します。**

○×：終了時刻を登録する
○×：終了時刻を登録しない
●「終了時刻を登録しない」にしたときは手順13へ進みます。

11 **電話帳登録/セットを押します。**

オヤスミ　オフ　＝　00：00

12 **終了時刻を入力します。**

● 24時間制。0〜9は頭に「0」を付けてください。

13 **電話帳登録/セットを押します。**

カンリョウ

? ● **時刻を間違えて入力したとき…**［保留／クリア］ボタンを押して入力しなおしてください。

トールセイバの設定

トールセイバとは、留守番電話が応答するまでのベルの回数が、用件が録音されているときは2回、録音されていないときは5回になる機能です。トールセイバを利用すると、留守設定時（→P.50）に外出先から用件の有無を簡単に確かめることができます。用件が録音されていないときは、呼出音を3回聞き終わってから電話を切れば、通話料金がかかりません。

- 一度聞いた用件でも残っていると（消去しない限り）、トールセイバが働きます。
- 電話モード（→P.46）でお使いの場合で、留守番機能を使用するときは、「トールセイバする」に設定してください。「トールセイバしない」に設定すると、留守設定しても留守番機能が働きません（留守番電話が応答しません）。
- 用件の有無によって着信ベル回数を変えたくないときは「トールセイバしない」に設定してください。留守番電話が応答するまでのベルの回数は、設定された着信ベル回数（→P.45）と同じになります。
- **お買い上げのとき…**「トールセイバする」に設定されています。

1 **ダストカバーを開け、機能を押します。**

2 **5（ナ JKL）を押します。**

ﾙｽﾃﾞﾝ ｷﾉｳ

3 **電話帳登録/セットを押します。**

ｾﾞﾝﾖｳｹﾝ ｼｮｳｷｮ

4 **機能を3回押します。**

ﾄｰﾙｾｲﾊﾞ　○×

カーソル

5 **電話帳（＜ ＞）の＜または＞を押してカーソルを移動します。**

○×：トールセイバする
○×：トールセイバしない

6 **電話帳登録/セットを押します。**

ｶﾝﾘｮｳ

ハンドスキャナご使用の前に

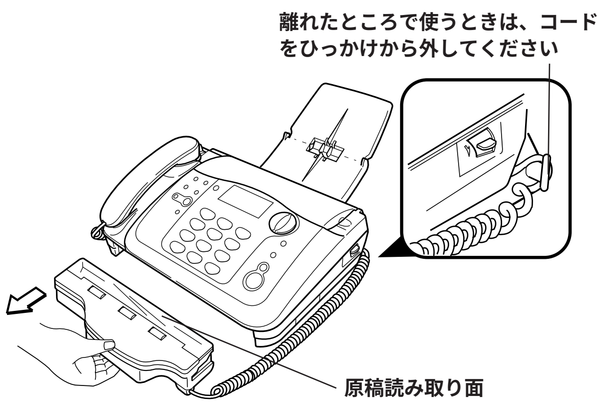
本などの綴じられた原稿や、厚すぎて原稿挿入口にセットできない原稿でも、ハンドスキャナを使ってコピーしたりファクス送信ができます。また、拡大や縮小もすることができます。

ハンドスキャナの取り外しと取り付け

- ハンドスキャナは、本体の原稿読み取り面としても働きます。使用した後は、必ず本体に戻してください。本体に戻すときは、ハンドスキャナのコードをはさまないように注意してください。断線の原因となります。
- ハンドスキャナを落としたり、固いものにぶつけたりしないようにご注意ください。
- 原稿読み取り面は汚さないでください。汚れたら清掃してください。（→P.102）

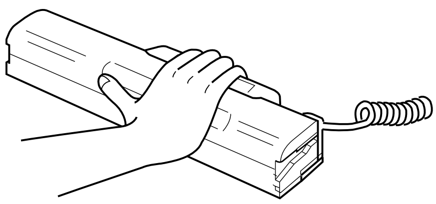
取り外しかた

1　ハンドスキャナを矢印方向に引き抜きます。



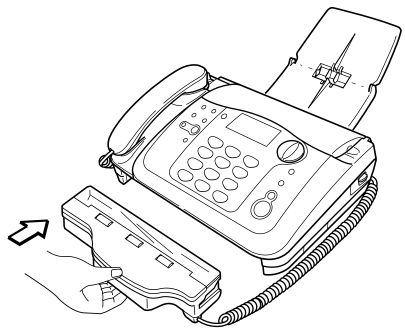
- 原稿読み取り面には手を触れないでください。

2　裏返して原稿読み取り面を下にして、原稿にのせます。



取り付けかた

原稿読み取り面を上に向けて、本体に押し込みます。



ハンドスキャナを使った原稿の読み取りについて

● ハンドスキャナを使って原稿を読み取る時、ハンドスキャナを動かすスピードをあらわすメロディ音が流れます（流さないようにすることもできます）。（→P.65）

● コピーしてはいけないものがあります。P.48をご覧ください。

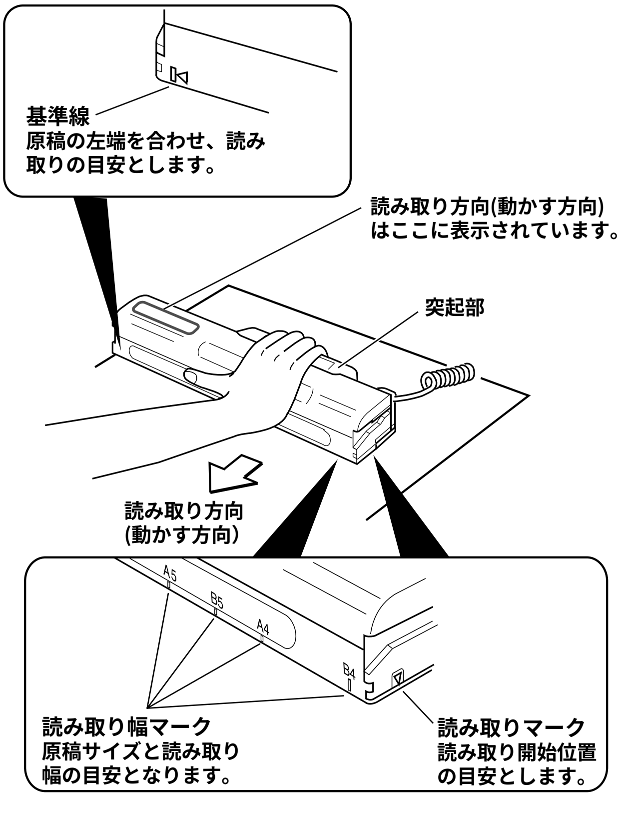
読み取り幅と読み取り長さについて

	コピーするとき	ファクスを送信するとき
最大読み取り幅	250 mm（B4サイズ）	250 mm（B4サイズ）
最大読み取り長さ	無制限（記録紙がなくなるまで）	無制限 * （メモリがいっぱいになるまで）

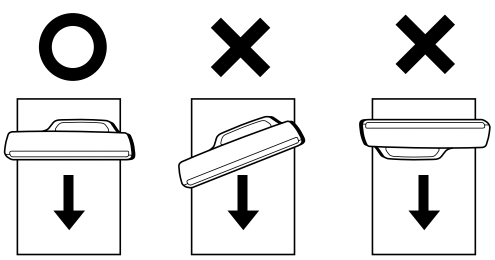
＊原稿の色や文字の量、画質モードの設定によって変わります。

原稿の読み取りかたについて

● 原稿の左端にハンドスキャナの基準線を合わせ、上端に読み取りマークを合わせます。

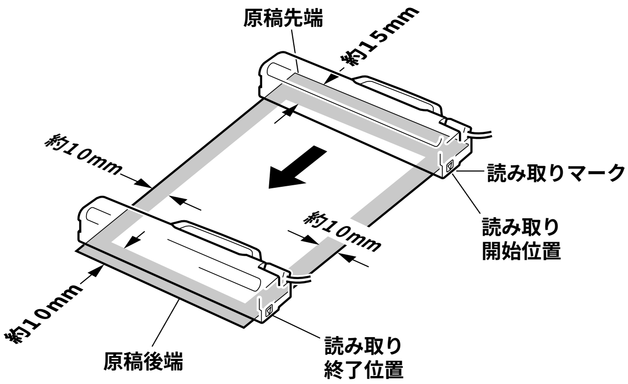


● ハンドスキャナは読み取り方向にまっすぐ動かしてください。斜めや逆に動かすとうまく読み取れません。



原稿の読み取り制限について

● 読み取りマークを原稿の先端に合わせて読み取りをしても、図の　　部分は読み取れないことがあります。
端の部分に読み取りたい文字などがあるときは、その分外側に合わせてください。



● 色がついた原稿や文字がうすい原稿などの場合は、ハンドスキャナを外す前に読み取り濃度を設定してください。（→P.38）

● 次のような原稿には使わないでください。読み取り結果や装置に不具合が発生することがあります。

・表面に凹凸のある原稿

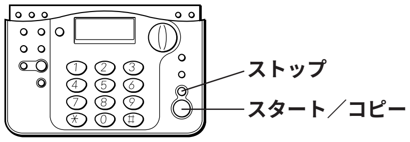
・コーティングなどで表面が滑りやすい原稿

・表面が汚れている原稿

・インクや修正液、ノリなどが乾いていない原稿

● フィルムやトレーシングペーパーのように透明な原稿は、原稿を白い紙の上に置くか、別売のキャリアシート（→P.36、P.108）に入れてから読み取るようにしてください。

ハンドスキャナでコピーする



1 ハンドスキャナを外して裏返します。(→P.61)

`ﾊﾝﾄﾞｽｷｬﾅ B4 ﾁｲｻｲ`

● 拡大／縮小するときは、P.65をご覧ください。

2 読み取る原稿にあわせて画質を切り替えます。(→P.37)

● 「チイサイ」または「シャシン」を選びます。

3 ハンドスキャナを原稿の上に置きます。

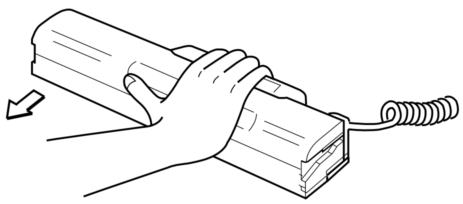
4 [スタート／コピー] を押します。

`ｺﾋﾟｰﾁｭｳ B4 ﾁｲｻｲ`

● ハンドスキャナの原稿読み取り面のランプが点灯します。

5 ハンドスキャナを読み取り方向に動かします。

● 動かすと、メロディ(→本ページ右)が流れます。



6 読み取りが終わったら [ストップ] を押します。

● プリントが終わるまでしばらくお待ちください。ハンドスキャナの原稿読み取り面のランプが消灯したあと、プリントが終わります。

7 ハンドスキャナを戻します。(→P.61)

● 原稿読み取り面を上に向けて本体に押し込みます。

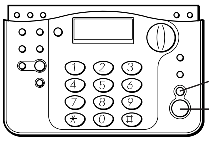
!

- **ブザーが鳴り、「メモリ　フル」と表示された時は読み取りができません。しばらくするとコピーが可能となります。**
- **ハンドスキャナを30秒以上動かさずにいると、読み取りを中断します。**
- **[ストップ]ボタンを押さずにハンドスキャナを戻すと、ハンドスキャナのローラが回り、記録紙の後端に原稿と異なるものをプリントする場合があります。**
- **ハンドスキャナ使用後は必ず本体に戻してください。コピー、送信等の機能が使えなくなります。**

メロディについて

- **ふつうの速さのメロディの時…**正常に読みとれます。もっと速くハンドスキャナを動かせます。
- **速いメロディの時…**正常に読み取れます。これ以上速くハンドスキャナを動かすと、正常に読み取れなくなります。
- **「ピッピッピッ…」という音の時…**正常に読み取れず、画像が欠落したり、線が入ったりすることがあります。
- **メロディを流したくないとき…**P.65の設定をしてください。

ハンドスキャナで送信する



1 **ハンドスキャナを外して裏返します。（→P.61）**

ﾊﾝﾄﾞｽｷｬﾅ B4 ﾁｲｻｲ

2 **読み取る原稿にあわせて画質を切り替えます。（→P.37）**

- 「チイサイ」または「シャシン」を選びます。

3 **相手先の番号をダイヤルします。**

- 受話器を置いたままダイヤルします。
- 電話帳を使って相手先を指定することもできます。

4 **ハンドスキャナを原稿の上に置きます。**

5 **[スタート/コピー] を押します。**

ｺﾋﾟｰﾁｭｳ B4 ﾁｲｻｲ

6 **ハンドスキャナを読み取り方向に動かします。**

- 動かすと、メロディが流れます。（→P.63）
- 読み取った原稿は、メモリに記憶しながら同時にプリントされます。
- 「ピー、ピー、ピー・・・」という音がした時はメモリがいっぱいです。読み取ったところまでプリントされます。

7 **読み取りが終わったら [ストップ] を押します。**

1ｿｳｼﾝ 2ﾄﾘｹｼ

- プリントが終わるまでしばらくお待ちください。

8 **プリント内容を確認します。**

- もう一度読み取りなおしたいときは、[2]（トリケシ）を押し、「ショウキョ　シマシタ」→「ヨミトリマチ　B4 チイサイ」と表示されたら、手順4からやりなおしてください。
- 送信をやめたいときは、[ストップ]ボタンを押してください。

9 **[1ア] を押します。**

- 送信を開始します。

ﾀﾞｲﾔﾙﾁｭｳ

▼▲交互に表示

ｱｲﾃ: 12345678

▼

ﾒﾓﾘｿｳｼﾝﾁｭｳ

▼

ﾒﾓﾘｿｳｼﾝﾁｭｳ　P01

10 **ハンドスキャナを戻します。（→P.61）**

- 原稿読み取り面を上に向けて本体に押し込みます。ハンドスキャナを戻しても送信は中断されません。

!

- **ハンドスキャナを30秒以上動かさずにいると、読み取りを中断します。**
- **送信が終わるとメモリの内容は消去されます。**
- **ハンドスキャナを使う場合、電話で話をしたあと、続けて送ることはできません。**
- **送信中に通信異常のアラームが表示された場合、メモリの内容は消去されます。**
- **相手機がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送るとA4サイズには縮小されません。左寄せでA4サイズ分を切り出して送信されます。**
- **ハンドスキャナ使用後は必ず本体に戻してください。他の機能が使えない場合があります。**

?

- **読み取り中のメロディを流したくないとき…**P.65をご覧ください。
- **相手先が話中のとき…**1分間隔で5回まで自動的にかけなおします（**オートリダイヤル**）。
  5回かけなおしても送信できなかったときは、読み取った原稿が消去され、不達レポートがプリントされます。（→P.41）
- **途中で送信をやめるとき…**[ストップ]ボタンを押してください。

設定を変えて使う

原稿を拡大／縮小する

ハンドスキャナを使って送信やコピーをするときに、読み取り幅とプリント（記録）幅を設定すると、原稿を拡大や縮小して送信やコピーができます。

1 ハンドスキャナを外します。（→P.61）

`ﾊﾝﾄﾞｽｷｬﾅ B4 ﾁｲｻｲ`

2 ダストカバーを開け、機能を押します。

`ﾖﾐﾄﾘｷﾛｸﾊﾊﾞ B4→B4`

3 電話帳の＜または＞を押して倍率を選択します。

B4→B4：等倍
B4→A4：82%縮小
A4→A4：等倍
A4→B4：122%拡大
B5→B5：等倍
B5→A4：115%拡大
B5→B4：141%拡大

4 電話帳登録/セットを押します。

● 設定した倍率で、送信やコピーをすることができます。

記録幅とプリント

プリント結果は、手順3で選んだ記録幅とセットされている記録紙サイズにより、次の表のようになります。

記録幅	本機の記録紙（コピー時）		相手先の記録紙（送信時）	
	A4	B4	A4	B4
A4	A4 幅	A4 幅	A4 幅	A4 幅
B4	A4 幅＊1	B4 幅	A4 幅＊1	A4/B4 幅＊2
B5	B5 幅	B5 幅	B5 幅	B5 幅

＊1 記録幅をB4に設定したとき、A4サイズの記録紙がセットされていると、はみ出す部分（原稿の右側）はプリントできません。
＊2 本機の記録紙がA4のときはA4幅、B4のときはB4幅でプリントされます。記録幅をB4に設定したとき、相手先でのプリントは本機の記録紙サイズと同じです。本機でコピーした内容が相手先にプリントされます。

メロディハンドスキャナの設定

原稿を読み取る時、読み取る速さに合わせてメロディ音が流れます。

● メロディ音が流れている時に［音量］ボタンを押すと、音量の調整ができます。
● メロディの音量はモニタスピーカ音量（→P.33）と同じ設定になります。この音量を「切」にするとメロディ音も鳴らなくなります。
● **お買い上げのとき…**「メロディ音を流す」に設定されています。

1 ハンドスキャナを外します。（→P.61）

`ﾊﾝﾄﾞｽｷｬﾅ B4 ﾁｲｻｲ`

2 ダストカバーを開け、機能を押します。

`ﾖﾐﾄﾘｷﾛｸﾊﾊﾞ B4→B4`

3 機能を押します。

`ﾒﾛﾃﾞｨﾊﾝﾄﾞｽｷｬﾅ ○×`

カーソル

4 電話帳の＜または＞を押してカーソルを移動します。

○×：メロディ音を流す
○×：メロディ音を流さない

5 電話帳登録/セットを押します。

α-ALPHA5（アルファファイブ）について

DDI（第二電電）のα-ALPHA5（アルファファイブ）に加入（無料）すると、DDIが提供するさまざまな機能を利用できるようになります。おトクな市外回線を自動で選ぶDDI市外電話自動選択機能のほかに、料金表示機能、メッセージの送受信、ディスプレイ表示に従っての情報取り出し、おトクな海外ファクスなどの機能を利用できます。

- α-ALPHA5には次のようなサービスが用意されています。
  - **α-NEWS（アルファニュース）…**便利で役立つ情報を簡単な操作で取り出せます。（→P.73）
着信メロディを取り込むこともできます。（→P.74）
  - **α-MAIL（アルファメール）…**文字メッセージを送受信できます。（→P.75、P.76）
  - **α-FAX（アルファファクス）…**インターネットなどを利用して海外へより安く送信できます。（→P.77）
  - **α-DIAL（アルファダイヤル）…**DDIテレホンサービス「Talkin' ダイヤル」の電話番号や、お住まいの地域の「公共施設」の電話番号が本機に自動的に登録されます。（→P.78）

利用申し込みにあたって

- 「α-ALPHA5」の各機能をご利用いただくには、DDI（第二電電株式会社）へのα-ALPHA5機能のご利用申し込みと、DDI市外電話サービスのご利用が必要です。なお、「α-FAX」サービスをご利用いただくには、DDIおよびDDIE（DDIエンジニアリング株式会社）への加入申し込みが必要です。（登録料、基本料はいずれも無料です。）

利用料金の請求および支払いについて

- DDIを利用した通話については、DDIから通話料金が請求されます。
- 窓口振り込み（コンビニ等を含む）か、口座振替が利用できます。
口座振替は手続きが必要となりますので、DDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。
- α-FAXサービスの利用料金の請求は、DDIがDDIエンジニアリングより債権譲渡を受け、DDIから請求されます。
- NTTを利用した通話料は、従来通りNTTから請求されます。

!

- **次のようなときはDDIカスタマサービスセンターにご連絡ください。**
  - **すでにDDIをご利用の場合**
  - **他の電話会社とご契約されている場合**
  - **NTTや他の電話会社の料金割引サービスをご利用されている場合**

利用するときの制限事項

- **本機を構内交換機（PBX）に接続したとき…**α-ALPHA5は利用できません。P.70の手順に従ってα-ALPHA5の利用を「一時中止」に設定してください。
- **他の電話機をブランチ（並列）に接続したとき…**DDIからのデータを受信できない場合があります。
DDIカスタマサービスセンターにご連絡ください。
- **ISDN回線を利用されている場合**
  - ターミナルアダプタの種類によってはDDIからのデータが受けられない場合があります。
  - ターミナルアダプタの設定（桁間タイマ等）によっては電話がかけられない場合があります。
- **外付け電話機およびブランチ接続（並列接続）の場合…**
α-ALPHA5は利用できません。本機から電話をかける場合だけ利用できます。外付け電話機でDDIを利用して市外電話をかける場合は、市外局番の前に「0077」をダイヤルしてください。

申し込みと登録のしかた

申し込みからご利用までの流れ

α-ALPHA5ランプが赤色に点灯しているとき

（本機に電話番号が登録されていないとき：お買い上げ時）

1 アルファスタートします。(→P.68)

2 「α-ALPHA5ご利用申込書」を送付します。

● 「DDI割引サービス」、「α-FAXサービス」に同時にお申し込みいただけます。

3 α-ALPHA5ランプが緑色に点灯後、α-ALPHA5がご利用になれます。

● α-FAXサービスは、DDI側でお申込書の手続き処理が終了後、約24時間後に利用可能となります。

α-ALPHA5ランプが消灯または緑色に点灯しているとき

（移転などで本機に登録されている電話番号が変更になるとき）

1 自宅の電話番号を登録します。(→P.69)

2 DDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。

フリーコール
DDIカスタマサービスセンター
0077－772（無料）
受付時間　9：00～21：00
（土日祝も受付）

アルファスタート、自宅電話番号登録について

α-ALPHA5をご利用いただくためには、下記のどちらかの操作が必要です。

● **アルファスタート(→P.68)**
この操作で、DDIへのα-ALPHA利用の申し込みとなります。操作後すぐにオンライン通信が行われます。（「α-FAX」その他、割引サービスなどへの申し込みは除きます。）

● **自宅の電話番号を登録する(→P.69)**
α-ALPHA5利用のDDIへの利用準備操作です。

この操作後、本機が自動的にDDIに電話をかけます（この時、お客様の電話番号がDDIへ通知されます）。
その後、DDIから本機にお客様がお使いになる地域の料金・地域データなどが送信されます（これを「オンライン通信」といいます。→P.70)。
オンライン通信が正常終了すると、α-ALPHA5ランプが緑色に点灯し、α-ALPHA5機能がご利用開始となります。

※これらの操作は、お客様が本機をお使いになる地域の料金・地域データなどを受け取るために必要な操作であり、他の目的に利用するものではありません。

「α-ALPHA5ご利用申込書」の送付について

本機に添付の「α-ALPHA5ご利用申込書」に必要事項を記入し、DDIにファクスします。

● 店頭でのお申し込み済みの場合、本申込書の送付は不要です。

● この申込書で、「割引サービス」、「α-FAXサービス」も同時にお申し込みいただけます。
（α-FAXは、DDIエンジニアリング株式会社の提供するサービスです。）

ファクス送付先
フリーコール
DDI中央事務センター
0077-2322-9555（無料）
（24時間受付中）

ご利用にあたって

● α-ALPHA5ご利用の際DDIより提供されるサービスは、DDI電話サービス契約約款によります。

● アルファスタートの操作を行うことで、α-ALPHA5利用のDDIへのお申し込みとなります。
ご移転等に伴い本機に登録されている電話番号を変更される際は、アルファスタートはご利用できません。この場合は、ご利用準備として「自宅の電話番号を登録する」操作を行った後、DDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。

● 通話料金の請求のため、必要に応じてお客様の電話番号、住所、氏名等について、DDIはNTTより情報の提供を受けることがあります。

● α-FAXサービスをご利用いただくには、別途DDIおよびDDIエンジニアリング株式会社への申し込みが必要となります。(→P.77)なお、店頭にて申込書をすでにご記入の場合、手続き完了後にα-FAXサービスがご利用可能となります。

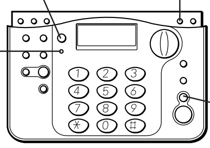
● ピンク電話・共同電話・着信専用電話等はご利用になれません。

● 未成年の方は、親権者の同意を得た上でお申し込みください。

アルファスタートする

α-ALPHA5を利用するための申し込み操作です。

- アルファスタートはα-ALPHA5ランプが赤色に点灯しているときのみ操作可能です。
- この登録操作をされた場合も必ず利用申込書をファクスしてください。
- 申し込みのときの通信料は無料です。
- すでにDDIの電話サービスをご利用の場合は、この登録操作によって、α-ALPHA5のサービス（DDIEが提供するα-FAXも含む）の利用申し込みが登録されます。



1 （α5）を押します。

```
アルファ スタート
1:スル    2:シナイ
```

2 （1ア）を押します。

```
ユウビ゛ンバ゛ンゴ゛ウ
_  _
```

3 7桁の郵便番号を登録します。

- この郵便番号に基づき「公共施設」の電話番号が自動登録されます。
- 郵便番号がご不明などで、この登録操作をしない場合は、お客様が利用申込書に記入されたご住所から郵便番号を判断し、「公共施設」の電話番号を本機に自動登録します。

4 （電話帳登録/セット）を押します。

```
カンリョウ
```

▼約1時間後

```
オンライン ツウシンチュウ
```

- 本機が自動的にDDIに電話をかけ登録を行います。（無料）
- 郵便番号が7桁未満の場合、「ユウビンバンゴウ　エラー」と表示され、手順2に戻ります。
  正しい郵便番号を登録しなおしてください。
- ここで、[ストップ]ボタンを押すと、約1時間後にオンライン通信が始まります。
- α-ALPHA5ランプは次のように変化します。
  - ・本登録を行う前 ……………………「赤点灯」
  - ・本登録が終わり後日データ送信が行われるまで ……………………「消灯」
  - ・本機へのデータ送信正常終了後 ……………「緑点灯」

!

- **アルファスタートを行うと、本機が自動的にDDIに電話をかけます。この際、NTTのナンバー・ディスプレイによりお客様の電話番号がDDIへ通知されます。この場合、「通常非通知（回線ごと非通知）」でNTTとご契約されているお客様の電話番号も「186」が付加されDDIへ通知されますので、ご了承ください。（その後オンライン通信が行われます。）**
- **ダイヤルイン追加番号に本機を設置した場合は、アルファスタートできません。手順2で[2]を押し、電話番号を登録してください。（→P.69）また、DDIカスタマサービスセンター（→P.67）にご連絡ください。契約者回線番号とダイヤルイン追加番号については、NTTにお問い合わせください。（→P.89）**
- **登録後、DDIから利用準備または確認の連絡が入ることがあります。**

郵便番号について

- 郵便番号をご登録いただく場合は必ず7桁にて入力してください。
- 大口事業所の個別郵便番号は入力できません。

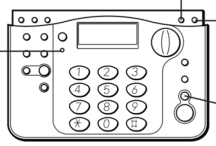
※ 郵便番号がご不明等で入力されない場合、「公共施設」の電話番号は自動登録されません。
ただし、お申込書をご提出いただいている場合は、お客様のお申し込み住所の郵便番号に基づき「公共施設」の電話番号を本機に登録いたします。

自宅の電話番号を登録する

本機にすでに登録されている電話番号を変更する場合、またはダイヤルイン子番号に本機を設置した場合には、下記の方法で利用準備操作をしてください。

- α-ALPHA5ランプが消灯または緑点灯のときに操作できます。
- 「アルファスタートする」(→P.68)の手順2で[2]を押すと、下記の手順4と同じ表示となります。
- 電話番号、郵便番号が変更になった場合は、最初から登録をやり直してください。登録済みの内容が自動的に書き換えられます。
- 自宅の電話番号登録後、DDIカスタマサービスセンターへ連絡してください。

フリーコール **DDIカスタマサービスセンター**
0077−772（無料）
受付時間　9：00〜21：00
（土日祝も受付）



1 [機能]を押します。

`キノウセンタク シテクダ゛サイ`

2 [7]を押します。

`アルファ セッテイ`

3 [電話帳登録/セット]を押します。

`1：トウロク`
`2：セッテイ`

4 [1]を押します。

`デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ`
`TEL=_`

5 本機の電話番号を登録します。

- 電話番号は市外局番から登録してください。
- [＊]や[＃]は使えません。
- 携帯電話、PHSの電話番号は登録しないでください。
- 電話番号のみ登録し、郵便番号を登録せずにここで、[ストップ]ボタンを押すと、約1時間後にオンライン通信が始まります。

6 [電話帳登録/セット]を押します。

`ユウビ゛ンバ゛ンゴ゛ウ`
`_　－`

- 電話番号が違っていると、「デンワバンゴウエラー」と表示され、手順5に戻ります。正しい電話番号を登録しなおしてください。

7 7桁の郵便番号を登録します。

- この郵便番号に基づき「公共施設」の電話番号が自動登録されます。
- 郵便番号がご不明などで、この登録操作をしない場合は、お客様が利用申込書に記入されたご住所から郵便番号を判断し、「公共施設」の電話番号を本機に自動登録します。

8 [電話帳登録/セット]を押します。

`カンリョウ`

▼約1時間後

`オンライン ツウシンチュウ`

- 本機が自動的にDDIに電話をかけ登録を行います。（無料）
- 郵便番号が7桁未満の場合、「ユウビンバンゴウ　エラー」と表示され、手順6に戻ります。正しい郵便番号を登録しなおしてください。
- α-ALPHA5ランプは次のように変化します。
  - 本登録を行う前 ……「赤点灯」
  - 本登録が終わり後日データ送信が行われるまで ……「消灯」
  - 本機へのデータ送信正常終了後 ……「緑点灯」

!

- **移転等により本機にすでに登録されている電話番号を変更する際に上記操作を行っていただけない場合、α-ALPHA5機能が正しく作動しない場合があります。**
- **移転等に伴い、電話番号の変更が生じる場合は、この操作を行った後、DDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。**
- **自宅の電話登録後、オンライン通信が行われるまで、約2〜3日かかる場合があります。**
- **登録後、DDIから利用準備または確認の連絡が入ることがあります。**
- **α-ALPHA5ランプが緑色に点灯しない場合は、DDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。**

オンライン通信について

オンライン通信とは、お客様がご利用いただくための料金・地域データ等がDDIから電話回線を通じて本機に送られてくることをいいます。（通信料無料）

- ●やりとりされるデータには次のようなものがあります。
- ・α-ALPHA5の機能をご利用いただくときの料金データ
- ・公共施設の電話番号情報を得るための地域データ（郵便番号の登録を行った場合）（→P.68、P.69）
- ●α-ALPHA5ランプ緑点灯時に停電が36時間以上続いた場合などで時計情報が初期状態に戻ったときは、電源が復旧した後約1分後に本機が自動的にDDIに電話をかけ、その後データ送信が行われます。
- ●自動的にオンライン通信をするために、ファクス／電話自動切替での着信ベルの回数を10回以下に設定してください。（→P.45）

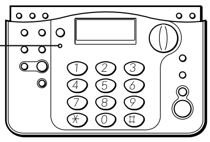
アルファスタート操作の約2〜3週間後、DDIから電話回線を通じてデータが送られてきます。（オンライン通信）

- ● オンライン通信は自動的に行われます。
  α-ALPHA5ランプが消灯し、次のような表示になります。

オンライン ツウシンチュウ

- ● **受話器をとったとき…**「ピポピポ…」という音のあとに『こちらはDDIです。ただいまからデータを送信します。ありがとうございました』とメッセージが聞こえます。受話器を戻して「オンライン通信中」の表示が消えるまでお待ちください（約4分間）。

α-ALPHA5ランプが消灯から緑点灯に変わり、α-ALPHA5が利用できるようになります。



●次のようなときは、オンライン通信の電話を受けられません（「ピポピポ・・・」という音が数回聞こえ電話が切れます）。このようなときは、DDIカスタマサービスセンターより確認の連絡が入ることがあります。
  - **・本機と同じ電話回線に並列に接続した他の電話機で電話をとったとき**
  - **・登録中やコピー中などに電話をとったとき**

●本機の時刻を合わせていなくても、オンライン通信が終了すると、自動的にDDIの標準時刻が登録されます。

●受話器周辺に雑音等があると、オンライン通信できないことがあります。

●オンライン通信中は電話をかけられません。

α-ALPHA5の利用を一時中止する

α-ALPHA5の利用を中止すると、α-ALPHA5ランプが消灯します。料金も表示されません。

1 ダストカバーを開け、(機能)を押します。

2 (7 マ PQRS)を押します。

アルファ セッテイ

3 (電話帳登録/セット)を押します。

1：トウロク 2：セッテイ

4 (2 カ ABC)を押します。

1：アルファ SW 2：リョウキン ヒョウジ

5 (1 ア)を押します。

アルファ ○X

カーソル

6 (電話帳)の<または>を押してカーソルを「×」の下に移動します。

7 (電話帳登録/セット)を押します。

カンリョウ

● 緑点灯していたα-ALPHA5ランプが消灯します。

α-ALPHA5の利用を再開する

1 上記手順の1〜5を操作したのち、手順6でカーソルを「○」の下に移動します。

2 (電話帳登録/セット)を押します。

● 消灯していたα-ALPHA5ランプが緑点灯し、α-ALPHA5が利用できることを知らせます。

おトクな市外回線を利用する（DDI市外電話自動選択機能）

α-ALPHA5を利用すると、曜日、時間帯、かけた先の場所を自動判定し、DDIとNTTの通常通話料金を比較しておトクな市外回線を自動的に選び、通話料金を節約することができます。

1　市外へ電話やファクスをします。

2　DDIが選ばれるとα-ALPHA5ランプが約5秒間点滅します。

3　回線が接続されている間、通話料金を確認できます。

10'35"　　250円

- 通話料金を表示させない設定にすることもできます。（→次ページ）
- ファクス送信のときは、送信終了後に約5秒間料金が表示されます。

4　受話器を戻すと回線が切れます。

- ワイワイトークのときは[ワイワイトーク]ボタンを押します。

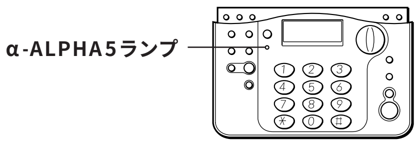
!

- **DDIの通話料とNTTの通話料が同額の場合、α-ALPHA5はDDIを選択します。**
- **緑点灯していたα-ALPHA5ランプが赤点灯に変わったときは、DDIカスタマサービスセンターにご連絡ください。**
- **本機に間違った日付・時刻を登録したときや、登録した日付・時刻に誤差が生じた場合は、α-ALPHA5が正しく働かないことがあります。正しい時刻を登録してください。また、月に一回程度は時刻を確認してください。**
- **ブランチ接続や外付け電話を利用している場合、本機から電話をかけたときのみα-ALPHA5機能が働きます。**
- **NTTや他電話会社の料金割引サービス等を利用する場合は、DDIカスタマサービスセンター（→P.67）へご連絡ください。**

?

- **α-ALPHA5を一時的に働かせたくないとき…**市外のNTT回線で市外電話をかけるときは、相手先の番号の前に「0000」をダイヤルしてください。なお、市内に電話をかけるときは必要ありません。
- **本機以外からDDIを利用したいとき…**市外局番の前に「0077」をダイヤルしてご利用ください。（この場合料金は表示されません。）

α-ALPHA5ランプの見かた



赤点灯　α-ALPHA5は利用できません。
- α-ALPHA5の登録（電話番号の登録）がされていないとき
- データが正常に入っていないとき

緑点灯　α-ALPHA5を利用できます。

緑点滅　DDIを選択しました（約5秒間点滅します）。

消灯
- オンライン通信中
- α-ALPHA5登録から利用できるようになるまでの期間中
- α-ALPHA5を利用しないに設定しているとき

料金表示を設定する

本機にておトクな市外回線を自動で選んで電話やファクスをしたとき、また国際電話(DDI)を利用したときの通話料金をディスプレイに表示させることができます。

● **お買い上げのとき…**「料金表示をしない」に設定されています。ただしα-ALPHA5が利用できるようになった時点で、自動的に「料金表示をする」に設定が変更されます。料金を表示したくない場合はこの設定をしてください。

● 表示される通話料金は、おおよその目安です。各電話会社からの請求金額との差異等、表示内容に係わる異議が生じた場合、当社ではその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

● DDIの国際電話サービスについての詳細は、DDIカスタマサービスセンター(→P.67)へご連絡ください。

1 **ダストカバーを開け、機能を押します。**

2 **7を押します。**

アルファ セッテイ

3 **電話帳登録/セットを押します。**

1:トウロク
2:セッテイ

4 **2を押します。**

1:アルファ SW
2:リョウキン ヒョウジ

5 **2を押します。**

リョウキン ヒョウジ ○×

カーソル

6 **電話帳の<または>を押してカーソルを移動します。**

○×:料金表示をする
○×:料金表示をしない

7 **電話帳登録/セットを押します。**

カンリョウ

●料金が50,000円以上になると、「***円」と表示されます。**
●外付け電話機で通話したときは、通話料金は表示されません。
●ISDN回線を利用している場合は、お使いのターミナルアダプタによっては料金表示できないことがあります。
●料金表示をしているときにキャッチホンを受けた場合、はじめに話していた相手が電話を切っても料金表示はそのまま継続します。

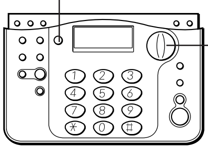
次のときは通話料金が表示されません

● 通常の加入者局番(市内、市外)以外への通話料金(以下は例)
- フリーダイヤル(0120)、携帯電話/PHS(090、070)、ダイヤルQ2(0990)、伝言ダイヤル、ナビダイヤル(0570)
- 117、177、104、110などの1から始まる3桁番号
- かかってきた電話
- α-NEWS利用料
- α-FAX利用料
- Talkin 'ダイヤル
- その他、エンジェルノート(0190)などの特殊電話サービス

各種サービスを利用する

メニューを表示する

本機で利用できるα-ALPHA5のサービスメニューを確認できます。



1 **を押します。**

```
1:アルファファクス
2:アルファニュース ▼
```

2 **の▼または▲を押してメニューを確認します。**

```
3:アルファメール ▲
```

● メニューが表示される順番や内容は変わることがあります。

● 手順1で「アルファキノウ　シヨウフカ」と表示されたときは、利用を再開する設定をしてください（→P.70）。

α-NEWSの情報を利用する

便利で生活に役立つ情報をファクスや表示を使って知ることができます。

● メニュー内容は予告なく変更される場合があります。
● ご利用には東京国分寺（042）までのDDI通話料がかかります。

1 **を押します。**

```
1:アルファファクス
2:アルファニュース ▼
```

2 **「アルファニュース」のメニュー番号を押します。**

```
アルファニュース
1.エランデ゛メロデ゛ィ ▼
```

● この例では［2］を押します。
● しばらくの間DDIとの通信状態が表示されます（「セツゾクチュウ」など）。
● ここから通話料がかかります。

3 **の▼または▲を押してメニューを確認します。**

```
2.テンキヨホウ ▲
3.トラベ゛ル ▼
```

● メニューが表示される順番や内容は変わることがあります。

4 **希望する項目のメニュー番号を押します。**

5 **ディスプレイ表示に従って操作します。**

● 情報がファクスで送られてきたり、ディスプレイに表示されたりします。

情報をファクスで取り出すとき

手順4で選んだメニューの情報をファクスで取り出すときは次のメニューが表示され、ファクス受信後の本機の動作を選択することができます。

```
FAXジ゛ュシンコ゛
1.メインメニュー
2.ケイソ゛ク
3.シュウリョウ
```

● ［1］を押すとファクス受信後「アルファニュース」のメニューに戻ります。
● ［2］を押すとファクス受信後同じメニューを継続します。
● ［0］を押すとファクス受信後α-NEWSを終了します。

● 途中で操作を中断するとき…［ストップ］ボタンを押します。この場合、メニュー内容によっては通話料金がかかることがあります。（記録紙がない場合の受信中（メモリ受信中）に［ストップ］ボタンを押しても受信は中断されません。）

着信メロディを取り込む(エランデメロディ)

α-NEWSサービスから着信メロディを取り込みます。(エランデメロディ)

● 取り込んだメロディは、「ベルの音色／メロディを変える」(→P.34)、「着信鳴り分けの設定」(→P.83)で着信メロディとして使用することができます。着信メロディの選択時に、「6.(エランデメロディで取り込んだ曲)」が選択可能となり、これを選択すると、着信メロディとして利用できるようになります。

1 [α5ボタン]を押します。

1:アルファファクス
2:アルファニュース ▼

2 「アルファニュース」のメニュー番号を押します。

アルファニュース
1.エランデ゛メロデ゛ィ ▼

● この例では[2]を押します。
● しばらくの間DDIとの通信状態が表示されます(「セツゾクチュウ」など)。
● ここから通話料がかかります。

3 [電話帳]の▲または▼を押してメニューを確認します。

2.テンキヨホウ ▲
3.トラベ゛ル ▼

● メニューが表示される順番や内容は変わることがあります。

4 「エランデメロディ」のメニュー番号を押します。

5 ディスプレイ表示に従って操作します。

● 選択したメロディが本機に取り込まれます。

!
● 曲の内容等は予告なく変更される場合があります。
● ご利用には東京国分寺(042)までのDDI通話料がかかります。

α-MAILを送信する

トーン信号を送出できる電話機(一般電話、公衆電話、携帯電話、PHS)から本機へ、アルファベット、数字、カタカナによる文字メッセージを最大60文字まで送ることができます。

- 文字メッセージを送信すると、利用した時間に相当する通話料がかかります。
- α-MAILは回線状況によって正しく送受信できないことがあります。
- α-MAILはトーン信号が送出できる電話機(一般電話、公衆電話、携帯電話、PHS)から本機に送信できます。
- 本機からα-ALPHA5対応機器に文字メッセージを送ることができます。その場合の送信方法は各機器の取扱説明書を参照してください。

1 本機へ電話をかけます。

2 本機応答後10秒以内に、トーン信号送出の状態で[＊][＃][＊][＃]を押します。

- ダイヤル回線のときトーン信号に切り替えてください。(→P.26)
- ファクス専用のダイヤルイン番号にかけた場合、または本機がファクス専用モードの場合、応答後20秒以内に、最初の信号音の後の本機が無音状態の時に操作します。
- 留守設定時、応答メッセージ再生中に、ファクス／電話自動切替が働いて回線が接続された時は、呼出音の音色が高くなった時に操作します。この時は最初の[＊]入力で、応答メッセージや呼出音が止ります。止まらない時はもう一度[＊]を押してください。

3 「ピポ」と聞こえたら、10秒以内にメッセージの入力を開始します。

- 右表を参考にしてメッセージを入力します。
- 1ケタ入力してから10秒以内に次の1ケタを入力しないと電話が切れます。

4 メッセージの入力が終わったら[＃]を2回押します。

- この操作がメッセージ終了の合図になります。

5 「ピポ」と聞こえたら電話を切ります。

!
- **次の場合α-MAILを送信することはできません。**
  - **本機がコピー等の動作中のとき**
  - **外付け電話機が応答したとき**
  - **番号リクエストまたは着信拒否が設定されているとき(→P.84、P.85)**

?
- **入力を間違えたとき…**[＊]を2回押し、「ピポ」と聞こえた後入力を最初からやりなおします。

■ 定型文リスト

コード番号	メッセージ
＃０１	ＴＥＬシテクダサイ
＃０２	ＦＡＸシテクダサイ
＃０３	ケイタイニＴＥＬシテクダサイ
＃０４	サキニイキマス
＃０５	サキニイッテテクダサイ
＃０６	スグニイキマス
＃０７	オクレマス
＃０８	アリガトウ！
＃０９	チュウシニナリマシタ
＃１０	リョウカイシマシタ

■ 文字コードリスト

・表中の各文字の下にあるコード番号をダイヤルボタンで入力します。
(例)「ユ」を入力するときは[8]、[3]と押す

・表中の太枠で囲まれた文字を本機から送信しても、相手の電話機では表示されなかったり別の文字が表示されることがあります。

	1 ア	2 カ ABC	3 サ DEF	4 タ GHI	5 ナ JKL	6 ハ MNO	7 マ PQRS	8 ヤ TUV	9 ラ WXYZ	0 ワ 記号
1	ア 11	イ 12	ウ 13	エ 14	オ 15	A 16	B 17	C 18	D 19	E 10
2	カ 21	キ 22	ク 23	ケ 24	コ 25	F 26	G 27	H 28	I 29	J 20
3	サ 31	シ 32	ス 33	セ 34	ソ 35	K 36	L 37	M 38	N 39	O 30
4	タ 41	チ 42	ツ 43	テ 44	ト 45	P 46	Q 47	R 48	S 49	T 40
5	ナ 51	ニ 52	ヌ 53	ネ 54	ノ 55	U 56	V 57	W 58	X 59	Y 50
6	ハ 61	ヒ 62	フ 63	ヘ 64	ホ 65	Z 66	? 67	! 68	— 69	／ 60
7	マ 71	ミ 72	ム 73	メ 74	モ 75	空白 76	& 77	空白 78	空白 79	空白 70
8	ヤ 81	(82	ユ 83	) 84	ヨ 85	＊ 86	＃ 87	空白 88	空白 89	空白 80
9	ラ 91	リ 92	ル 93	レ 94	ロ 95	1 96	2 97	3 98	4 99	5 90
0	ワ 01	ヲ 02	ン 03	゛ 04	゜ 05	6 06	7 07	8 08	9 09	0 00

入力例

- **「アリガトウ！　キクオ」　と入力する場合**
  [＃][０][８][８][８][２][２][２][３][１][５]
  [＃][０][８]：定型文「アリガトウ！」
  [８][８]：空白
  [２][２][２][３][１][５]：キクオ

受信したα-MAILを見る

本機が受信した文字メッセージはメモリに記憶され、表示させたりプリントしたりできます。

- α-ALPHA5に対応した機種、PHS、公衆電話などトーン信号が出せる機器からのメッセージを受信できます。
- 文字メッセージは60文字×5件まで記憶されます。5件記憶されている状態では受信できませんので、確認後は消去してください。

表示する

α-MAILを受信すると、次のように点滅表示されます。

ｱﾙﾌｧﾒｰﾙ 2ｹﾝ

件数

1 待機状態のとき [α5] を押します。

1:ｱﾙﾌｧﾌｧｸｽ
2:ｱﾙﾌｧﾆｭｰｽ ▼

2 [電話帳] の▼または▲を押してメニューを確認します。

3:ｱﾙﾌｧﾒｰﾙ ▲

- メニューが表示される順番や内容は変わることがあります。

3 「アルファメール」のメニュー番号を押します。

メッセージ番号

1) 10/ 1 13:30
ﾚﾝﾗｸｸﾀﾞｻｲ ▼

- この例では[3]を押すと、メッセージが表示されます。
- メッセージがないときは「メッセージハ　アリマセン」と表示され手順1の表示に戻ります。

4 [電話帳] の▼または▲を押して、別のメッセージを確認します。

2) 10/ 1 15:00 ▲
0123456ﾆTEL ▼

▼

ｼﾃｸﾀﾞｻｲ ▲

- 1件のメッセージを一度に表示できない場合は、続く行のメッセージが表示されます。

5 待機状態に戻るときは [ストップ] を押します。

プリントする

記憶されているメッセージを記録紙へプリントすることができます。

1 「表示する」の手順1～3に従ってメッセージを表示させます。

1) 10/ 1 13:30
ﾚﾝﾗｸｸﾀﾞｻｲ ▼

2 [スタート/コピー] を押します。

ｱﾙﾌｧﾒｰﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄﾁｭｳ

- 受信されたすべてのメッセージがプリントされます。
- 正常にプリントされたメッセージは自動的に消去されます。

消去する

不要になったメッセージを消去することができます。

1 「表示する」の手順1～3に従って消去したいメッセージを表示させます。

1) 10/ 1 13:30
ﾚﾝﾗｸｸﾀﾞｻｲ ▼

2 [保留/クリア] を押します。

ﾒｯｾｰｼﾞ ｼｮｳｷｮｼﾏｼﾀ

▼ 2秒後

1:ｱﾙﾌｧﾌｧｸｽ
2:ｱﾙﾌｧﾆｭｰｽ ▼

- 表示されているメッセージが消去されます。

3 待機状態に戻るときは [ストップ] を押します。

α-FAXを利用する

α-FAXを利用すると、海外へファクスするときに通常よりおトクな料金で送ることができます。

● α-FAXサービスのお申し込みについて

- α-FAXはDDIエンジニアリング株式会社(以下DDIE)が提供するサービスです。ご利用にはDDIおよびDDIEへのお申し込みが必要です。(登録料、基本料は無料です。)
- すでにDDIの電話サービスをご利用されているお客様は、「α-ALPHA5ご利用申込書」、「アルファスタートする」または「自宅の電話番号を登録する」の操作で、α-FAXサービス契約がDDIおよびDDIEに登録されます。
- α-FAXの契約は同梱されている「α-FAXサービス契約約款」によります。ただし、契約約款の内容は予告なく変更することがあります。

●ご利用料金について

- α-FAXのご利用料金はDDIがDDIEから債権を譲り受けて請求します。
- ご利用料金請求書とDDI通話明細書は別送になることがあります。
- α-FAXのご利用料金はDDI電話サービスの利用代金と合算して請求されます。ただし、お支払い方法などによっては合算請求にならない場合もあります。
- 毎月の料金計算の締め切り日は、DDI電話サービスと異なることがあります。
- 利用料金の内容は、同梱の料金表を参照してください。

●ご利用のときの注意

- 「アルファスタートする」の操作を行っただけではα-FAXはご利用いただけません。必ず「α-ALPHA5ご利用申込書」をファクスしてください。(店頭での申し込みがお済みの場合は申込書は不要です)α-FAXサービスは、DDI側での申し込み手続き処理が終了後、約24時間後に利用可能となります。
- 料金、利用可能国地域は変更されることがあります。詳しくはDDIカスタマサービスセンターへお問い合わせいただくか、α-NEWSの「DDIトピックス」内の料金表を参照してください。
- 料金表示を「する」に設定していても料金は表示されません。
- 通話明細書は発行されません。

●ご利用を中止するときの注意

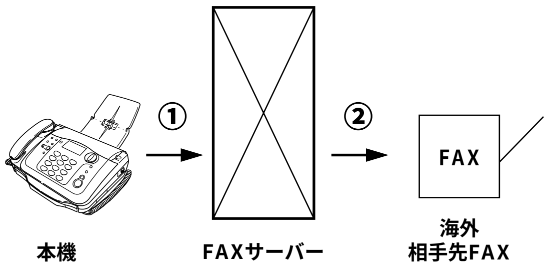
次のときは必ずDDIカスタマサービスセンターにご連絡ください。

- 本機を譲渡、貸与、処分するとき
- 本機を移転などにより取り外すとき
- 本機を紛失、または盗難にあったとき

(DDIにてご登録のデータを消去または変更する必要があります。ご連絡のない場合、本機を他の回線に接続して利用した料金が、ご登録されているお客様に請求されることがあります。)

ファクス送信のしくみ

α-FAXではFAXサーバーを経由して相手先にファクス送信をします。



●何らかの理由でFAX送信できないとき

- 図中①の区間で送信できなかったときは、本機が1分間隔で5回までかけなおします。**(オートリダイヤル)**
- 図中②の区間で送信できなかったときは、FAXサーバーが間隔をおいて4回までかけなおします。4回かけなおしてもファクス送信できないときは、約60分後に本機に不達通知が送られます。詳しくは、DDIカスタマサービスセンターまでお問い合わせください。
- 相手先までファクス送信できなかったときは、通話料金はかかりません。

α-FAXで海外へファクスを送る

原稿をセットしたのち、メニューから「アルファファクス」を選んで送信します。

1 原稿をセットします。(→P.36)

フツウ

画質モード

2 [α5 ALPHA]を押します。

● メニューが表示される順番や内容は変わることがあります。

1:アルファファクス 2:アルファニュース ▼

3 「アルファファクス」のメニュー番号を押します。

● この例では[1]を押します。

クニ+デンワバンゴウ _

4 相手先の電話番号を国番号からダイヤルします。

● 例:アメリカの場合

1 (国番号) 2121234567 (電話番号)

クニ+デンワバンゴウ 12121234567_

5 [スタート コピー]を押します。

● ファクスの送信が始まります。
● 送信が終わると待機状態に戻ります。

セツゾクチュウ

▼

ソウシンチュウ

?

● **番号を間違えたとき…**[保留/クリア]ボタンを押して最初からダイヤルしなおしてください。
● **途中で送信をやめるとき…**[ストップ]ボタンを押してください。もう一度押すと原稿が排出されます。排出されないときは、もう一度押してください。

α-DIALを利用する

DDIに登録すると、本機の電話帳とは別にDDIのテレホンサービス「Talkin 'ダイヤル」などや地域の公共施設の電話番号が自動的に登録されます（各10件ずつ）。登録された電話番号は、電話帳と同じように利用できます。

● Talkin 'ダイヤル
- 通話料だけで利用できるDDIのテレホンサービスです。音楽ダイヤル、占いダイヤルなどがあり、一部のダイヤルではファクスによる取り出しもできます。
- 通話料は東京（03）までのDDI料金がかかります。
- このサービスは24時間利用できます。
- ダイヤル内容は予告なく変更、または終了する場合があります。

●公共施設の電話番号
- アルファスタート（→P.68）または自宅の電話番号を登録する（→P.69）ときに、郵便番号の登録が必要です。
- 登録された7桁の郵便番号に基づき、その地域の都道府県庁、水道局、電気の窓口などの公共施設の電話番号が自動登録されます。
- 自動登録されるダイヤル内容は予告なく変更されることがあります。

Talkin 'ダイヤルを利用する

1 （電話帳）の▼または▲を押して「Talkin 'ダイヤル」を表示させます。

`Talkin' ダ゛イヤル`

2 電話帳登録/セット を押します。

`アイテ: ホシウラナイ`
`TEL：007737700`

3 （電話帳）の▼または▲を押して利用したいサービスを表示させます。
- ●表示される内容や順番は変わることがあります。

`アイテ: ココロノコエ`
`TEL：007737708`

4 受話器を取ります。
- ●ダイヤルが始まります。

`ダ゛イヤルチュウ`

5 音声ガイドに従って操作します。
- ●ダイヤル回線のときは[＊]を押してトーン信号に切り替えます。

6 サービスが終了したら受話器を戻します。

「公共施設」にダイヤルする

1 （電話帳）の▼または▲を押して「公共施設」を表示させます。

`コウキョウシセツ`

2 電話帳登録/セット を押します。

`アイテ: シヤクショ`
`TEL：0000111122`

3 （電話帳）の▼または▲を押して利用したい公共施設を表示させます。
- ●表示される内容や順番は変わることがあります。

`アイテ: ホケンジ゛ョ`
`TEL：0000111133`

4 受話器を取ります。
- ●ダイヤルが始まります。

`ダ゛イヤルチュウ`

5 話が終わったら受話器を戻します。

!
- **●公共施設の電話番号が予告なく変更された場合、登録された電話番号をダイヤルしてもつながらないことがあります。DDIカスタマサービスセンター（→P.67）へ連絡してください。**
- **●Talkin'ダイヤルおよび公共施設のダイヤル内容をお客様が変更／消去することはできません。**

iD ナンバー・ディスプレイについて

NTTとナンバー・ディスプレイを契約（有料）することによって、相手の電話番号を電話に出る前にディスプレイに表示させることができます。さらに本機では、かけてきた相手を電話帳に登録したり、かけてきた相手によって応答のしかたを変えたりといった使いかたができます。

- NTTとの契約が必要です。（有料）
  次の契約とは重複して契約できません。
  転送でんわ（ボイスワープを除く）、ダイヤルQ2（情報提供側）、テレドーム（情報提供側）、ノーリンギング通信サービス（センター回線）
- ナンバー・ディスプレイを契約しても次の場合は相手の電話番号は表示されません。
  - 国際通話
  - オペレーター扱いの通話（100番、106番）
  - 相手が番号非通知にしたとき
  - 相手が公衆電話からかけてきたとき
  - 電話回線の雑音などでデータを正常に受信できなかったとき
- **ISDN回線をご利用のとき…**接続されているターミナルアダプタの機種によっては、ナンバー・ディスプレイを利用できないことがあります。ナンバー・ディスプレイ対応のアナログポートがあるターミナルアダプタなどを接続してください。
- **お買い上げのとき…**ナンバー・ディスプレイは「利用する」に設定されています。「利用しない」に設定するとナンバー・ディスプレイを利用できません。設定方法についてはP.19をご覧ください。

お問い合わせ先

●NTT　ナンバー・ディスプレイ　カスタマーセンター

フリーダイヤル：0120－848521

受付時間：9:00～17:00（月曜～土曜）

ナンバー・ディスプレイでできること

ナンバー・ディスプレイを利用すると相手番号を表示する以外にも、次のようなことができます。

- **相手の名前も知りたい…**電話帳に登録されている相手のときは、番号とともに相手の名前も表示します。
- **キャッチホンの相手も表示したい…**キャッチホンとキャッチホン・ナンバー・ディスプレイ（仮称、有料）に加入し、キャッチホン・ナンバー・ディスプレイの設定（→P.85）を「利用する」にすれば、通話中に入ったキャッチホンの相手の電話番号も表示します。
- **着信データを利用する…**本機はかけてきた相手の番号（着信データ）を記憶しています。簡単な操作でその番号へ電話をかけることができます。（→P.81）
- **相手によってベルの音を変えたい…**着信鳴り分けを設定します。電話帳に登録してある相手に限りベルやメロディを鳴り分けることができます。（→P.83）
- **おやすみ中も特定の人からのベルを鳴らしたい…**とくていコールを「する」にします。電話帳に登録されている相手のときはおやすみモードのときでもベルを鳴らします。（→P.84）
- **非通知の相手からのときは出たくない…**番号リクエストを「する」にします。相手が非通知のときはメッセージを流してから電話が切れます。（→P.84）
- **特定の人には自作応答メッセージを流したい…**応答メッセージ選択を「する」にします。電話帳に登録されている相手のときは自作応答メッセージを流し、登録されていない相手には固定応答メッセージを流します。（→P.85）
- **特定の相手のときは出たくない…**着信拒否を「する」にします。着信拒否に登録されている相手に限り、メッセージを流してから電話を切ります（→P.85）。

キャッチホン・ナンバー・ディスプレイ（仮称）について

NTTのキャッチホンサービスをご利用の場合、キャッチホン・ナンバー・ディスプレイ（仮称）を契約すると、通話中に着信したキャッチホンの相手の電話番号もディスプレイに表示させることができます。

- このサービスは、NTTのナンバー・ディスプレイとは別契約の有料サービスです。
- このサービスを契約した場合、本機のナンバー・ディスプレイ設定メニューにある「キャッチホン」を「○（利用する）」に設定する必要があります。（→P.85）

※99年5月現在、このサービスの正式名称および開始時期は未定です。詳しくは「NTTナンバー・ディスプレイ　カスタマーサービスセンター」へお問い合わせください。

!

- **NTTの「キャッチホン・ナンバー・ディスプレイ」（仮称）は、NTTのサービス開始後にご利用になれます。ただし、本機はNTT発行の調査用資料「電話網における情報通信系サービスのインタフェース」（1997年8月）に準拠していますが、NTT側でインタフェース方式が変更された場合にはご利用になれないことがあります。**
- **ダイヤルインサービスを同時に使用する場合は、それまでのダイヤルインサービスをモデムダイヤルインサービスに変更する必要があります。上記NTTの「ナンバー・ディスプレイ　カスタマーセンター」または最寄りのNTT窓口にご相談ください。**
- **次のときは本機のナンバー・ディスプレイ機能を利用できません。**
  - **構内交換機（PBX）と接続している場合**
  - **ホームテレホンと接続している場合**
  - **ブランチ接続をしている場合**
- **本機を構内交換機（PBX）と接続する場合はナンバー・ディスプレイの設定を「利用する」にしていると電話を受けられないことがあります。そのときはナンバー・ディスプレイを「利用しない」に設定してください。（→P.19）**
- **本機に接続した外付け電話機は、ナンバー・ディスプレイ対応機種であってもナンバー・ディスプレイ機能を使えません。**
- **NTTの「転送でんわ」を契約している方は、必ずナンバー・ディスプレイを「利用しない」に設定してください。「利用する」のままご利用になると本機はベルを鳴らさずに回線を切ってしまいます。**

ナンバー・ディスプレイ表示の見かた

ナンバー・ディスプレイを利用すると、電話に出る前に相手を確認できます。

1 電話やファクスがかかってきます。

2 相手の電話番号が表示されます。

アイテ:0312345678

・電話帳に登録してある相手からのときは相手の名前が表示されます。

アイテ:ニッポンデンキ
TEL:0312345678

・相手が非通知のときは「ヒツウチ」と表示されます。

ヒツウチ

・相手が公衆電話のときは「コウシュウデンワと表示されます。

コウシュウデンワ

・一時的な電話回線の雑音などによりデータが正常に受信できなかったときや、ドアホン通話中に電話がかかってきたときは「ジュシンエラー」と表示されます。

ジュシンエラー

・海外からの通信など、相手がサービス地域以外からかけてきたときは「ヒョウジケンガイ」と表示されます。

ヒョウジケンガイ

着信データをプリントする

● 本機に記憶された着信データは、記録紙にプリントできます。(→P.98)

キャッチホン・ナンバー・ディスプレイ(仮称)をご利用のとき

通話中にキャッチホン(→P.87)の着信があると、キャッチホンの相手の電話番号が約30秒間表示されます。

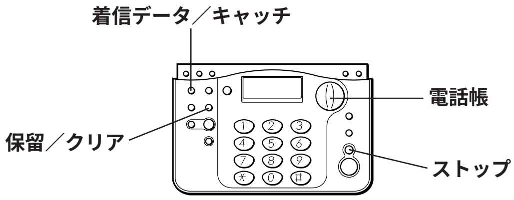
● 表示のしかたは、左のナンバー・ディスプレイ表示と同じです。
● 電話帳に登録してある相手の場合は、相手の名前が表示されます。
● 着信拒否リストに登録されている電話番号の場合でも、キャッチホン着信してその番号が表示されます。
● 番号リクエストの設定が「する」に設定されていても、非通知の相手もキャッチホン着信して「ヒツウチ」が表示されます。

!

● キャッチホンの相手の表示は、約30秒間表示されます。
● キャッチホンに応答する前に相手が電話を切っても、約30秒間表示されます。
● キャッチホンに応答したとき、または応答しなくても約30秒経過したときは通話時間表示に戻ります。
● キャッチホンが着信すると、キャッチホン着信音「プルルー・プップッ」の後に「ピポ」という音が聞こえ、相手の電話番号を受信する間(約1秒間)通話が途切れます。
● 次の場合、キャッチホンが着信しても相手の番号が表示されないことがあります。
・通話録音中または通話再生中
・コピー中、登録操作中
・大声で通話したとき
・NTTの交換機とお客様宅との距離が遠いとき

着信データを見る／消す

電話にかかってきた日時と相手の情報は、着信データとして自動的に記憶されます。着信データは20件まで記憶され、これらの件数を超えると古いものから消されていきます。待機状態であれば着信データを見たり消したりできます。



1 着信データ/キャッチ **を押します。**
- 最新の着信データが表示されます。
- 着信データがないときは「チャクシンデータ　アリマセン」と表示されます。

着信した順番（新しい順）　着信した日時

```
01)  10/ 1 21:44
ｱｲﾃ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
```

2 電話帳 **の▼または▲を押して着信データを見ます。**
- 相手先を早送りしたい場合は、[▼]または[▲]を押し続けてください。
- 着信データを消去しない場合は、手順5へ進みます。

```
02)   9/30 21:24
ｱｲﾃ:031245678
```

・
・
・

```
20)   9/28 20:14
ｺｳｼｭｳﾃﾞﾝﾜ
```

3 保留/クリア **を押します。**
- 消去を取りやめる場合は[2]を押します。（手順2に戻ります。）

```
ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽｶ?
1:ｼｮｳｷｮ 2:ﾄﾘｹｼ
```

4 1ア **を押します。**
- 3秒後に次の着信データが表示されます。

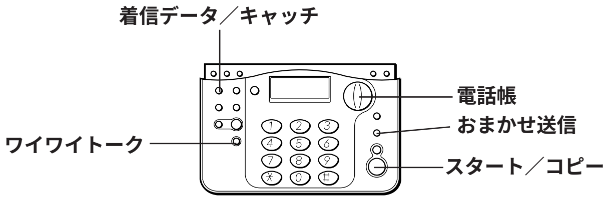
```
ｼｮｳｷｮ ｼﾏｼﾀ
```

5 ストップ **を押します。**

! ● **電話やファクスを使用しているときは着信データを見ることはできません。**

着信データの相手へ電話をかける（コールバック）

着信データに電話番号が含まれている場合、その相手に電話をかけることができます。



1 着信データ/キャッチ **を押します。**
- 最新の着信データが表示されます。
- 着信データがないときは「チャクシンデータ　アリマセン」と表示されます。

```
01)  10/ 1 21:44
ｱｲﾃ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
```

2 電話帳 **の▼または▲を押して、かけたい相手先を選びます。**
- 相手先を早送りしたいときは、[▼]または[▲]を押し続けてください。

3 **かけたい相手先が表示されている時に受話器をとります。（または、ワイワイトーク を押します。）**

```
ｱｲﾃ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
TEL:0312345678
```

▼▲交互に表示

```
ﾀﾞｲﾔﾙﾁｭｳ
```

4 **話が終わったら受話器を戻します。（または、ワイワイトーク を押します。）**

ファクスを送信するときは

- **おまかせ送信…**手順3のとき、［おまかせ送信］ボタンを押します。あらかじめ原稿はセットしておく必要があります。
- **自動送信…**手順3のとき、受話器をとる代わりに[スタート／コピー]ボタンを押します。あらかじめ原稿はセットしておく必要があります。

iD 着信データを登録する（かんたん登録）

電話番号が含まれている着信データは、電話帳や着信拒否に登録できます。

着信データを電話帳に登録する

1 着信データ/キャッチ を押します。

```
01) 10/ 1 21:44
ｱｲﾃ: 0312345678
```

- 最新の着信データが表示されます。
- 着信データがないときは「チャクシンデータ　アリマセン」と表示されます。

2 電話帳 の▼または▲を押して登録する相手先を表示します。

- 相手先を早送りしたいときは、[▼]または[▲]を押し続けてください。

3 ダストカバーを開け、電話帳登録/セット を押します。

```
1 :ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾄｳﾛｸ
2 :ﾁｬｸｼﾝｷｮﾋ ﾄｳﾛｸ
```

4 1ア を押します。

5 相手先の名前を入力します。（→P.27）

6 電話帳登録/セット を押します。

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾆ
 ﾄｳﾛｸ ｼﾏｼﾀ
```

▼ 約3秒後

```
01) 10/ 1 21:44
ｱｲﾃ: 0312345678
```

7 ストップ を押します。

着信拒否に登録する

手順4で[2]を押すと、手順2で選択した相手の電話番号は着信拒否に登録されます。
着信拒否に登録する場合は、相手の名前は入力できません。
着信拒否に登録した相手から電話がかかってきた場合、ベルを鳴らさずにメッセージだけを流して電話を切ることができます。（→P.85）

?
- **「デンワチョウ　フル」が表示されたとき…**電話帳から不要な電話番号を消去してください。（→P.28）
- **「チャクシンキョヒ　リスト　フル」が表示されたとき…**着信拒否から不要な電話番号を削除してください。（→P.86）

iD 留守録着信データを確認する

留守設定中に電話がかかってきたときは留守録着信データが記憶されます。留守録着信データにより、用件を再生するときに相手番号を確認できます。

- いったん回線がつながった相手であれば、たとえ応答メッセージが流れている間に相手が電話を切っても留守録着信データは記憶されます。
- 留守録着信データには次のような制限があります。
  - ・用件が消去されると留守録着信データも同時に失われます。
  - ・留守録着信データを使って電話をかけたりファクスを送ることはできません。
  - ・電話帳や着信拒否に登録できません。

[留守]または[再生]ボタンを押して録音されている用件を再生すると、ディスプレイに留守録着信データが表示されます。

- **電話帳に登録されている相手からのときは登録されている名前が表示されます。**

```
ｱｲﾃ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
ｻｲｾｲﾁｭｳ     1/ 5
```

- **電話帳に登録されていない相手からのときは電話番号が表示されます。**

```
ｱｲﾃ: 01234567
ｻｲｾｲﾁｭｳ     1/ 5
```

!
- **留守設定時にかかってきた電話の着信データは通常と同様に本機に記憶されます。電話帳や着信拒否への登録および、かけてきた相手に電話をかける際には着信データを使用してください。（→左記、P.81）**
- **留守録の用件を消去すると留守録着信データは消去されますが、着信データは残ります。（→P.81）**
- **外線リモート（→P.54）で用件を聞いたときは電話番号を音声で流します。**

iD 設定による使い分け

着信鳴り分けの設定

電話をかけてきた相手が電話帳に登録してあるときは、ベルの音色／メロディを変えることができます(着信鳴り分け)。

● **お買い上げのとき…**着信鳴り分けは「ベル(ヒョウジュン)」に設定されています。

1 **ダストカバーを開け、機能を押します。**

2 **6 MNO ハ を押します。**

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｾｯﾄ

3 **電話帳登録/セット を押します。**

● このとき「○」の下にカーソルがあること確認してください。

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ○×

カーソル

4 **電話帳登録/セット を押します。**

ﾄｸﾃｲ ｺｰﾙ ○×

5 **機能を押します。**

ﾁｬｸｼﾝﾅﾘﾜｹ ｼﾃｲ

6 **電話帳登録/セット を押します。**

● 電話帳に何も登録されていないと「デンワバンゴウミトウロク」と表示されます。

ｱｲﾃ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
TEL:0120200940

7 **電話帳の▼ または▲を押してベルを鳴り分けたい相手を電話帳の中から選びます。**

8 **電話帳登録/セット を押します。**

ﾁｬｸｼﾝﾅﾘﾜｹ ｼﾃｲ
-> ﾍﾞﾙ(ﾋｮｳｼﾞｭﾝ)

9 **電話帳の＜または＞を押してベルの音色／メロディの種類を選びます。**

1. ベル(ヒョウジュン)：通常の音色
2. ベル(ナリワケ)：「ヒョウジュン」とは違う音色
3. メロディ(A)：アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク
4. メロディ(B)：春
5. メロディ(C)：トルコ行進曲
6. (エランデメロディで取り込んだ曲)(→P.74)

● α-ALPHA5サービスにより着信メロディを取り込んでいないときは、6.(エランデメロディで取り込んだ曲)は表示されません。

10 **電話帳登録/セット を押します。**

● 設定を続ける場合は、[2]を押して手順7へ戻ります。

ｾｯﾃｲｼﾏｼﾀ

▼

1:ﾍﾝｺｳ ｼｭｳﾘｮｳ
2:ﾍﾝｺｳ ｦ ﾂﾂﾞｹﾙ

11 **1 ア を押します。**

ｶﾝﾘｮｳ

とくていコールの設定

おやすみモードにしたときは電話がかかってきてもベルが鳴りません。（→P.58）これを、電話帳に登録してある相手からかかってきたときはベルを鳴らすように設定できます。

● 電話帳に登録してある人からの電話だけ受けたい、知らない人からの電話には出たくない、などというときにご利用ください。
● **お買い上げのとき…**とくていコールは「する」に設定されています。

1 **ダストカバーを開け、（機能）を押します。**

2 **（6 MNO ハ）を押します。**

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｾｯﾄ

3 **（電話帳登録/セット）を押します。**

● このとき「○」の下にカーソルがあること確認してください。

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ○×

カーソル

4 **（電話帳登録/セット）を押します。**

ﾄｸﾃｲ ｺｰﾙ ○×

カーソル

5 **（電話帳）の＜または＞を押してカーソルを移動します。**

○×：とくていコールをする
○×：とくていコールをしない

6 **（電話帳登録/セット）を押します。**

ｶﾝﾘｮｳ

番号リクエストの設定

非通知の相手からかかってきたときに、ベルを鳴らさずに「おかけなおしください」という内容のメッセージを流してから自動的に電話を切ることができます。

● **非通知の相手に流すメッセージ…**『番号を通知しておかけなおしください。また、回線ごと非通知の方は番号の前に186をダイヤルしておかけなおしください』（固定）
● **お買い上げのとき…**番号リクエストは「しない」に設定されています。

1 **ダストカバーを開け、（機能）を押します。**

2 **（6 MNO ハ）を押します。**

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｾｯﾄ

3 **（電話帳登録/セット）を押します。**

● このとき「○」の下にカーソルがあること確認してください。

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ○×

カーソル

4 **（電話帳登録/セット）を押します。**

ﾄｸﾃｲ ｺｰﾙ ○×

5 **（機能）を2回押します。**

ﾊﾞﾝｺﾞｳﾘｸｴｽﾄ ○×

カーソル

6 **（電話帳）の＜または＞を押してカーソルを移動します。**

○×：番号リクエストをする
○×：番号リクエストをしない

7 **（電話帳登録/セット）を押します。**

ｶﾝﾘｮｳ

! ● **番号リクエストを「する」に設定すると、留守設定時には非通知の相手からの電話は留守録音もファクス受信もできません。**

応答メッセージの選択設定

留守設定時、電話帳に登録してある相手にだけ自作応答メッセージを流し、それ以外は固定応答メッセージを流すようにできます。
知っている人には自分の声で、知らない人には機械の声で応答メッセージが流れます。

- **相手に流す自作応答メッセージ**…留守設定のときと同じメッセージです。(→P.53)
- **お買い上げのとき**…「すべての相手に自作応答メッセージを流す」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、機能を押します。

2 6 MNO を押します。　ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｾｯﾄ

3 電話帳登録/セット を押します。　ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ○× カーソル
- このとき「○」の下にカーソルがあること確認してください。

4 電話帳登録/セット を押します。　ﾄｸﾃｲ ｺｰﾙ ○×

5 機能 を4回押します。　ｵｳﾄｳﾒｯｾｰｼﾞ ｾﾝﾀｸ ○× カーソル

6 電話帳 の＜または＞を押してカーソルを移動します。
○×：電話帳登録者にのみ自作応答メッセージを流す
○×：すべての相手に自作応答メッセージを流す

7 電話帳登録/セット を押します。　ｶﾝﾘｮｳ

- **自作応答メッセージを録音していない場合は、留守設定のとき流れるのは固定応答メッセージになります。**

キャッチホン・ナンバー・ディスプレイの設定

NTTのキャッチホン・ナンバー・ディスプレイ(仮称)を契約したときに設定します。キャッチホンの相手の電話番号も表示できるようになります。

- **お買い上げのとき**…「キャッチホン・ナンバー・ディスプレイを利用しない」に設定されています。
- 「キャッチホン・ナンバー・ディスプレイを利用する」と設定する場合は必ず「ナンバー・ディスプレイを利用する」(→P.19)に設定します。
(後で「ナンバー・ディスプレイを利用しない」に設定しても本設定は変更されません。)

1 ダストカバーを開け、機能を押します。

2 6 MNO を押します。　ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｾｯﾄ

3 電話帳登録/セット を押します。　ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ○× カーソル
- このとき「○」の下にカーソルがあること確認してください。

4 電話帳登録/セット を押します。　ﾄｸﾃｲ ｺｰﾙ ○×

5 機能 を5回押します。　ｷｬｯﾁﾎﾝ ○× カーソル

6 電話帳 の＜または＞を押してカーソルを移動します。
○×：キャッチホン・ナンバー・ディスプレイを利用する
○×：キャッチホン・ナンバー・ディスプレイを利用しない

7 電話帳登録/セット を押します。　ｶﾝﾘｮｳ

- **周囲の雑音が大きいとき、または話をしている状態によっては相手の電話番号を表示できない場合があります。**

着信拒否の設定

着信拒否に登録してある電話の相手からかかってきたときに、ベルを鳴らさずにメッセージだけを流して電話を切ることができます。

- **着信拒否の相手に流すメッセージ**…『申し訳ありませんがお取り次ぎできません』(固定)
- **着信拒否に登録するには**…P.82またはP.86を参照してください。
- **お買い上げのとき**…着信拒否は「する」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、機能を押します。

2 6 MNO を押します。　ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｾｯﾄ

3 電話帳登録/セット を押します。　ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ○× カーソル
- このとき「○」の下にカーソルがあること確認してください。

4 電話帳登録/セット を押します。　ﾄｸﾃｲ ｺｰﾙ ○×

5 機能 を3回押します。　ﾁｬｸｼﾝｷｮﾋ ○× カーソル

6 電話帳 の＜または＞を押してカーソルを移動します。
○×：着信拒否をする
○×：着信拒否をしない

7 電話帳登録/セット を押します。　ｶﾝﾘｮｳ

- **着信拒否を「する」に設定すると、留守設定時は着信拒否に登録されている相手からの電話は、留守録音もファクス受信もできません。**

着信拒否の登録／確認／削除

着信拒否したい相手の電話番号は、相手からかかってくる前に着信拒否へ登録しておくことができます（10件まで）。また、着信拒否に登録されている電話番号は修正および消去できます。

● **かかってきた相手を着信拒否に登録するには…**P.82を参照してください。

● **着信拒否を利用するには…**前ページの手順により「着信拒否をする」に設定してください。

1 **ダストカバーを開け、（機能）を押します。**

2 **（6 ハ MNO）を押します。**

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｾｯﾄ

3 **（電話帳登録/セット）を押します。**

● このとき「○」の下にカーソルがあること確認してください。

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ○×

カーソル

4 **（電話帳登録/セット）を押します。**

ﾄｸﾃｲ ｺｰﾙ ○×

5 **（機能）を6回押します。**

ﾁｬｸｼﾝｷｮﾋ ﾘｽﾄ
ﾍﾝｼｭｳ

6 **（電話帳登録/セット）を押します。**

ﾁｬｸｼﾝｷｮﾋ ﾘｽﾄ
1:ﾄｳﾛｸ 2:ｶｸﾆﾝ

登録する

7 **（1 ア）を押します。**

● すでに着信拒否に10件登録されているときは、「チャクシンキョヒ　リスト　フル」と表示されたあと、上記手順6の表示になります。

すでに2件登録済みの場合の表示
03)は10件登録できる中での通し番号です。

03)
TEL:_

8 **相手の電話番号を入力します。**

● 市外局番から入力してください。

9 **（電話帳登録/セット）を押します。**

ﾁｬｸｼﾝｷｮﾋ ﾘｽﾄ ﾆ
ﾄｳﾛｸ ｼﾏｼﾀ

確認／削除する

7 **（2 カ ABC）を押します。**

● 着信拒否リストに1件も登録されていないときは、「チャクシンキョヒ　リスト　ミトウロク」と表示されたあと、手順6の表示に戻ります。

01)
TEL:0312345678

8 **（< 電話帳 >）の▼または▲を押し確認します。**

● 早送りしたい場合は[▼]または[▲]を押し続けてください。

● 確認のみを行う場合は手順10へ進みます。

9 **（保留/クリア）を押すと表示されている電話番号が削除されます。**

● 削除はこの操作で完了です。

ﾁｬｸｼﾝｷｮﾋ ﾘｽﾄ ｶﾗ
ｻｸｼﾞｮ ｼﾏｼﾀ

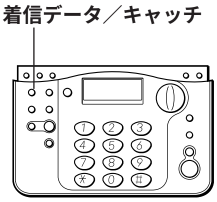
10 **確認を終了する場合は（ストップ）を押します。**

! ● **着信拒否に登録する場合、既に登録されているリストの番号の次の番号に登録されます。**

キャッチホンを利用する

キャッチホンサービス（通話中着信サービス）はNTTのサービスです。通話中に別の人から電話があると、音で通知され、その電話に出ることができます。

● キャッチホンを利用するにはNTTとの契約が必要です（有料）。



1 **通話中です。**

2 **キャッチホンの着信音「プルルー・プッ プッ」が聞こえます。**

3 **着信データ/キャッチ を押します。**

● あとからかけてきた人と話ができます。はじめに話していた人との電話は保留になります。

もう一度はじめの人と話をする

4 **着信データ/キャッチ を押します。**

● はじめに話していた人と話ができます。あとからかけてきた人との電話は保留になります。

両方の話が終わったら

5 **受話器を戻します。**

!

● **ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、送信や受信が中断されることがあります。**

● **キャッチホンが入っていないときに[着信データ／キャッチ]ボタンを押すと電話が切れてしまいます。**

?

● **キャッチホン・ナンバー・ディスプレイ（仮称）を利用している場合…**キャッチホンが着信すると、ディスプレイに相手の電話番号が表示されます。（→P.80）

● **通話中にキャッチホンサービスにより割り込まれた相手がファクスの場合…**そのファクスを受けられません。[着信データ／キャッチ]ボタンを押して通話していた方とお話ください。なお、この場合はファクスを送ってきた相手側は通信エラーとなります。続けてファクスが送られてくると考えられますので、早めに通話を終えられることをおすすめします。

Fネットを利用する（ファクシミリ通信網）

Fネットは NTTのファクシミリ通信網のことです。遠くの相手とひんぱんに通信をする場合に経済的です。
Fネットを利用する場合は、NTTとの契約が必要です。
契約したあと以下の手順で本機の設定が必要です。

- Fネットには次のようなサービスがあります。詳しくは、お近くのNTT支店、営業所にお問い合わせください。
  - ・一斉同報通信
  - ・自動再送信
  - ・無鳴動自動受信
  - ・発信者電話番号などの自動記載
  - ・再コール
  - ・送達通知
  - ・不達通知
  - ・ファクシミリ案内サービス
  - ・ファクシミリボックス
  - ・短縮ダイヤル
  - ・親展通信
  - ・閉域接続
  - ・着信課金
- 契約の際は、「G3サービス」、「1300Hz」、「無鳴動受信」と指定してください。
- Fネットに加入してファクス送信すると、相手機にIDが表示されます。ID表示は自分の電話番号の前に「81」が付いたものになります。
  例： 電話番号が 03－1234－5678のとき
  　　表示 「81　31234　5678」
- **お買い上げのとき…**「Fネットを利用しない」に設定されています。

1 **ダストカバーを開け、〔機能〕を押します。**

2 **〔3 サ DEF〕を押します。**　　セッテイ モード

3 **〔電話帳登録/セット〕を押します。**　　ヨミトリ ノウド ■■■

4 **〔機能〕を6回押します。**　　Fネット　○×
カーソル

5 **〔< 電話帳 >〕の<または>を押してカーソルを移動します。**
○×：Ｆネットを利用する
○×：Ｆネットを利用しない

6 **〔電話帳登録/セット〕を押します。**　　カンリョウ

ダイヤルインサービスを利用する

ダイヤルインサービスについて

NTTとダイヤルインサービスを契約(有料)することによって、1つの回線で2つ以上の電話番号を使うことができます。増えた電話番号は、登録設定によって電話専用、ファクス専用などに使い分けて利用できます。

● **NTTとの契約が必要です。(有料)**
ダイヤルインサービスが始まっていないときにダイヤルインの登録操作をすると、電話が使えなくなります。

● **お買い上げのとき…**「ダイヤルインを利用しない」に設定されています。

ダイヤルインサービスを契約するとき

契約時に次の内容をNTTへ連絡してください。　NTT窓口：116(無料)

● 電話番号は下4桁と指定
「電話番号(送出番号)は下4桁」とご指定ください。下4桁を指定しないと現在お使いの電話番号が変わることがあります。また、サービスの開始日時も確認してください。

● 契約番号の指定
電話専用番号は、必ず電話を取り付けたときNTTと契約した番号(契約番号)を指定してください。契約番号の指定が適切でないと、Fネットサービスやα-ALPHA5などの機能が働きません。

ダイヤルインを契約すると

● 今までお使いの電話番号が変わることがあります。また、一部の地域ではダイヤルインサービスを利用できない場合があります。詳しくは、NTT窓口等へお問い合わせください。

● ダイヤルインサービスを契約すると、次のNTTサービスは利用できません。
・キャッチホン、トリオホン、転送電話、電話会議、トーキー案内

ナンバーディスプレイを同時に利用するときは

● ナンバー・ディスプレイを契約したときは**必ずナンバー・ディスプレイを「利用する」に設定し**(→P.19)、ダイヤルインはモデム方式を利用したモデムダイヤルインサービスをご契約ください。

ダイヤルイン利用時の注意事項

● **モデムダイヤルインではないとき…**必ず「ナンバー・ディスプレイを利用しない」に設定してください。(→P.19)お買い上げ時は「ナンバー・ディスプレイを利用する」に設定されています。

● **モデムダイヤルインのみを契約したとき…**必ず「ナンバーディスプレイを利用する」に設定してください。

● **複数の電話番号は同時に使えません…**使用する電話回線は1本です。同時に2つ以上の電話番号にかけることはできません。

● **ブランチ接続では使えません…**ダイヤルインが正しく動作しません。

● **電話用の番号にファクスが送られたとき(「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえた時)…**[スタート／コピー]ボタンを押してください。

● **ファクス用の番号に電話がかかってきたとき…**自動的に受信動作を開始しますので通話できません。着信ベルも鳴りません。

● **停電のとき…**電話もファクスも使用できません。

● **外付け電話機があるとき…**番号を割り当てることができません。したがって、電話がかかってきても外付け電話機のベルは鳴りません。ナンバー・ディスプレイを利用する場合(モデムダイヤルインの場合)はベルが鳴ります。

● **ISDN回線を利用しているとき…**ターミナルアダプタの取扱説明書に従って設定してください。ターミナルアダプタの機種または設定によっては本機でのダイヤルインが使用できない場合があります。(→P.100)その場合は本機を「ダイヤルインを利用しない」と設定してください。(→P.91)

留守設定時の注意事項

● **電話用の番号にかかってきたとき…**留守番動作をします(用件録音、ファクス受信とも可)。(→P.50)

● **ファクス用の番号にかかってきたとき…**ベルを鳴らさずに自動的に受信します(用件録音は不可)。

ダイヤルインの利用例

ダイヤルインサービス契約と本機の登録設定の組み合わせによって、いろいろな使い分けができます。ここでは、2つの番号を利用する際の使用方法を説明します。

電話とファクスを別々の番号にしたい。

1 NTTとダイヤルインサービスの契約をします。

契約例

XXX-aaaa　契約者回線番号
（これを電話番号とします）

XXX-bbbb　ダイヤルイン追加番号1
（これをファクス番号とします）

2 サービスが始まってから、本機の登録設定をします。（→P.91）

登録例

ダイヤルイン＝○**（利用する）**
ファクス＝**bbbb**
TEL＝**aaaa**

3 ダイヤルイン番号で電話やファクスを受けます。

●上記契約と登録を行った結果、下記の番号になります。

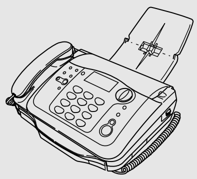
電話番号　**XXX-aaaa**
ファクス番号　**XXX-bbbb**

相手は目的に合わせてダイヤルイン番号を使い分けます。

ケース1
ファクスを送る
XXX-bbbb をダイヤル
※ファクスの場合は必ずこの番号へ送ってもらいます。
→ ベルは鳴りません。自動的にファクスを受信します。

ケース2
電話をかける
XXX-aaaa をダイヤル
→ ベルが鳴ります。

本機



ダイヤルインの登録

ダイヤルインサービスが開始されたことを確認した後、ファクス用の電話番号と電話用の電話番号の登録をします。

- サービス開始前に登録を行うと(「ダイヤルインを利用する」に設定すると)、電話がつながらなくなります。
- α-ALPHA5をご利用の場合は、ファクス用の電話番号は契約番号を登録されることをおすすめします。オンライン通信ができます(→P.70)。契約番号については、NTTにお問い合わせください。

1 ダストカバーを開け、機能を押します。

2 4(タ GHI)を押します。

トウロク モード

3 電話帳登録/セットを押します。

マイネームボタン トウロク

4 機能を6回押します。

ダイヤルイン ○×

カーソル

5 電話帳の<または>を押してカーソルを移動します。

○×:ダイヤルインを利用する
○×:ダイヤルインを利用しない
●「利用しない」にしたときは手順10へ進んでください。

6 電話帳登録/セットを押します。

ファクス = _

7 ファクス用の電話番号(局番なしの下4桁)を入力します。

8 電話帳登録/セットを押します。

TEL = _

9 電話用の電話番号(局番なしの下4桁)を入力します。

● ご契約時の電話番号を入力してください。

10 電話帳登録/セットを押します。

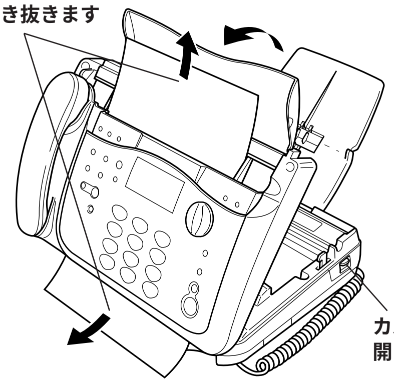
カンリョウ

? ● **電話番号を変更したいとき…**同じ手順で登録しなおしてください。

? 原稿がつまったとき

コピーやファクス送信中に原稿がつまったら、「ゲンコウ　カクニン」の表示が出ます。

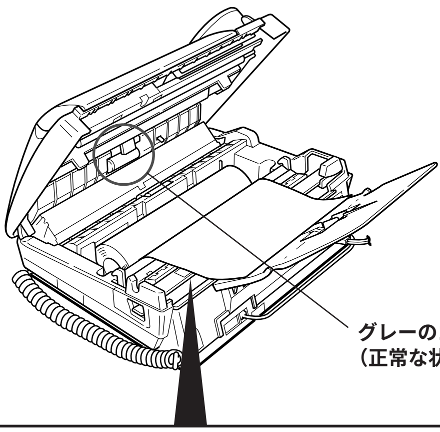
1 カバー開レバーを下に押してカバーを開けます。



2 原稿を取り除きます。

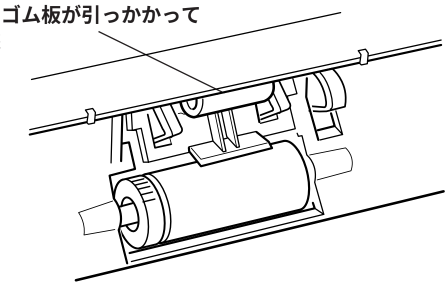
3 原稿を、セットする側から取り除いたときは、内部のグレーのゴム板の状態を確認します。

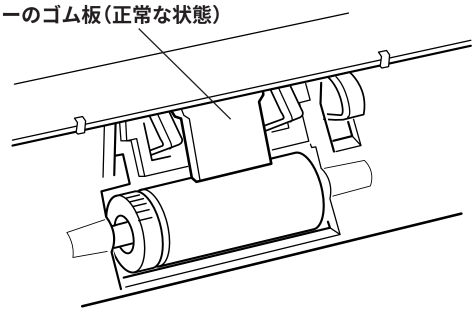
● 原稿を排出する側から抜いたときは手順4へ進んでください。



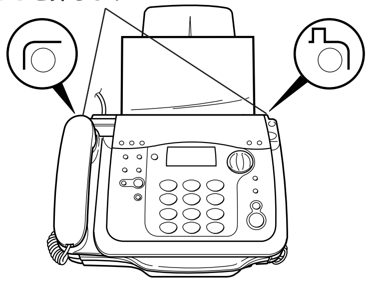
> **⚠注意**
> ● 手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。
> ● サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。

● 図のように引っかかっていたら、グレーのゴム板に指を引っかけて戻してください。



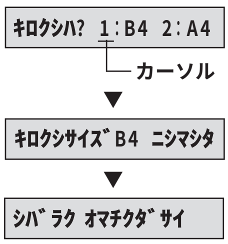


4 記録紙の先端を10cmくらい引き出し、はさむようにしてカバーを閉めます。



5 [1 ア] または [2 カ ABC] を押して記録紙のサイズを選びます。

● 1～2秒後、自動的に記録紙がカットされます。

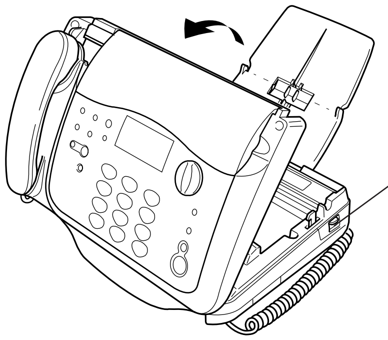


? ●「ゲンコウ　カクニン」と「ローラヲ　セイソウシテクダサイ」が交互に表示されたとき…P.102を参照の上、ローラを清掃してください。

? 記録紙がつまったとき

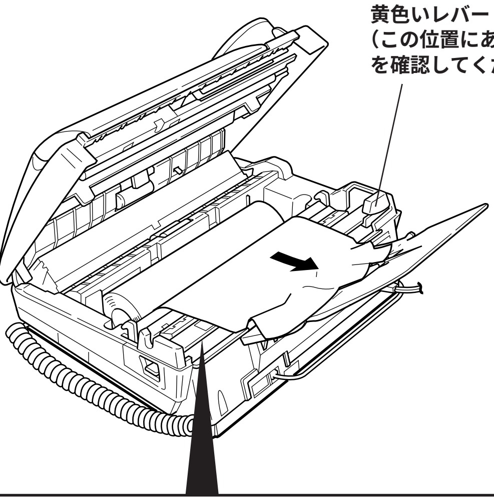
コピーやファクス送信中に記録紙がつまったら、「カバー／キロクシ　カクニン」の表示が出ます。

1 カバー開レバーを下に押してカバーを開けます。



2 記録紙を引き出します。

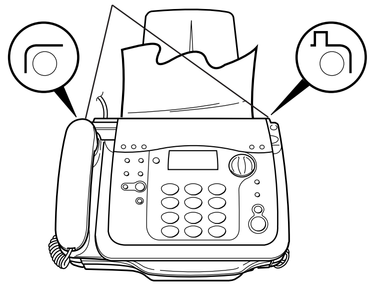
- 記録紙のしわになった部分から、10cmくらい長く引き出します。
- 黄色いレバーが図の位置にないときは、手で押して図の位置に戻してください。レバーが正しい位置にない状態でカバーを閉めると、記録紙づまりの原因となります。



⚠注意

- **手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。**
- **サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。**

3 記録紙をはさむようにしてカバーを閉めます。



4 1ｱ または 2ｶABC を押して記録紙のサイズを選びます。

- 1～2秒後、自動的に記録紙がカットされます。

ｷﾛｸｼﾊ? 1:B4 2:A4 （カーソル）

▼

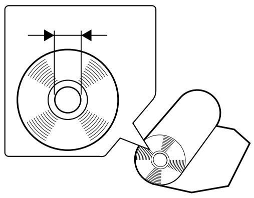
ｷﾛｸｼｻｲｽﾞ B4 ﾆｼﾏｼﾀ

▼

ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ

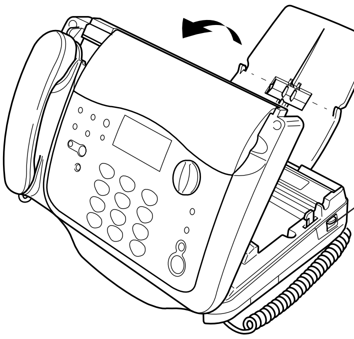
? 記録紙を交換するとき

記録紙は巻き芯内径が1インチ(25.4mm)のものを使用してください。



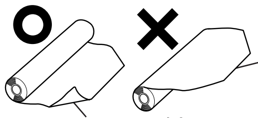
記録紙が無くなると「カバー／キロクシ　カクニン」の表示が出ます。

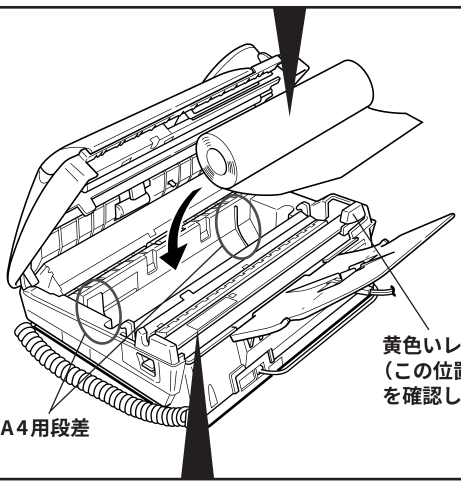
1 カバー開レバーを下に押してカバーを開けます。



2 古い記録紙の芯を取り出してから、新しい記録紙を入れます。

● A4サイズのときは段差の中に入れてください。



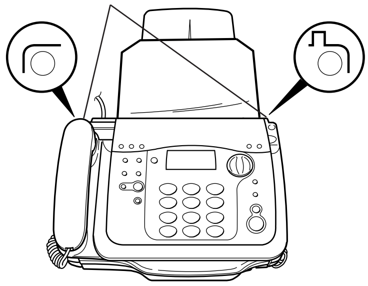


⚠注意

● 手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。

● サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。

3 記録紙の先端を10cmくらい引き出し、はさむようにしてカバーを閉めます。



4 1ア または 2カABC を押して記録紙のサイズを選びます。

● 1～2秒後、自動的に記録紙がカットされます。

キロクシハ? 1:B4 2:A4
カーソル
▼
キロクシサイズ゛B4 ニシマシタ
▼
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ

! ● セットした記録紙サイズと設定値によって、受信した原稿は次のようにプリントされます。

記録紙サイズ	設定値	受信した原稿	
		A4	B4
A4	A4	A4幅	A4に縮小
	B4	A4幅*	A4幅原寸*
B4	A4	A4幅	A4に縮小
	B4	A4幅	B4幅原寸

＊はみ出した部分はプリントされません。

● 記録紙の購入については、P.108をご覧ください。

? メモリ受信したファクスがプリントされないとき

記録紙がないときなどにファクスが送られてくるとメモリ代行受信になり、受信文書はメモリに記憶されます。メモリ内にB4サイズの受信文書が記憶されているときに、A4の記録紙をセットしてもその文書はプリントされません。

- **そのような場合はB4の記録紙をセットしてください。**
- **B4の記録紙がない場合は、以下の手順でプリントできます。（この場合、記録紙からはみ出した部分はプリントされません。）**

「B4キロクシヲイレテクダサイ」の表示が出ます。

1 カバーを一旦開けて、閉めます。

● カバーを開けて記録紙を引き出してからカバーを閉めます。

2 （1ア）を押して記録紙のサイズB4を選びます。

● 1〜2秒後、自動的に記録紙がカットされたあと、メモリ内の文書がプリントされます。

ｷﾛｸｼﾊ? 1:B4 2:A4

└カーソル

▼

ｷﾛｸｼｻｲｽﾞ B4 ﾆｼﾏｼﾀ

▼

ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ

▼

ﾒﾓﾘ ﾌﾟﾘﾝﾄﾁｭｳ

!

● メモリ内の受信文書をプリントしたら、もう一度カバーを開け、記録紙を引き出してからカバーを閉め、記録紙サイズを「A4」に設定しなおしてください。

● メモリ内の受信文書は消すことができません。必ずプリントしてください。プリントすると、メモリから消去されます。

? 停電したとき

停電したときや電源プラグをコンセントから抜いたときは、次のようになります。
- **本機は使用できません。**
- **本機に接続した外付け電話機で電話をかける／受けることができます（停電対応できる電話機<コードレスタイプでないなど>の場合）。ただし、ダイヤルインサービスをご利用の場合は使用できません。**

停電時、消えてしまう情報と消えない情報があります。

消えてしまう情報	・おまかせ送信時のメモリに記憶されている文書（→P.41） ・ハンドスキャナ送信時のメモリに記憶されている文書（→P.64） ・リダイヤルに記憶されている電話番号（→P.26） ・時計のデータ（停電が36時間以上続いたとき）（→P.17、P.20） ・ナンバー・ディスプレイ利用時の着信データ（→P.81）
消えない情報	・メモリ代行受信文書（→P.44） ・メモリ受信文書（おやすみモード設定時に受信した文書）（→P.58） ・留守番電話に録音した応答メッセージ（→P.53） ・留守番電話に録音された用件（→P.52） ・通話録音した内容（→P.32） ・登録した電話番号や各種の設定値 ・α-MAILの受信文書（→P.76）

停電が復旧すると

- ●停電が復旧すると、本機は自動的に使用できる状態に戻ります。消えてしまった情報があるときは、停電が復旧した時にメモリクリアレポートが自動的に出力されます。
- ●停電が36時間以上続いたときは、時計が初期化されます（1999年1月1日0時0分になります）。この場合は、時刻セット（→P.20）を行ってください。
- ●α-ALPHA5ランプ（→P.71）緑点灯時に停電が36時間以上続いたときは、電源復旧後1分後に本機が自動的にDDIに電話をかけ、その後データ送信が行われ使用可能となります。

メモリクリアレポートのプリント例

メモリクリア　　レポ゜ート

NEC

イカノ　ナイヨウカ゛　、テイテ゛ンニヨリ　クリア　サレマシタ。

メモリ　ソウシン　フ゛ンショ

ｳｹﾂｹ ﾆﾁｼﾞ	ﾂｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ	ｱ ｲ ﾃ ｻ ｷ	ﾓｰﾄﾞ	ﾏｲｽｳ	ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ
10. 1 14:04	0' 00"	0120200940	ECM	1	ﾃｲﾃﾞﾝ

? エラーコードが表示されたとき

ファクスの送信中や受信中に異常があると、ディスプレイに「ツウシン　イジョウ　××」と表示されたり、不達レポートに「××」とプリントされます。「××」はエラーコードで、その内容と対処方法を示します。

エラーコード	内容と対処方法	参照ページ
00	原稿が正しくセットされていないため、送信できませんでした。原稿を正しくセットして、もう一度送りなおしてください。	P.36
40	記録紙がなくなりました。記録紙を入れてください。	P.94
41	記録紙がつまりました。取り除いてください。	P.93
46	原稿がつまりました。セットしなおしてください。	P.92
47	カバーが開いています。カバーを閉めてください。	P.92
71	相手先から応答がないため、送信できませんでした。相手先に確認してください。	–
74, 75	電話回線に雑音が多くて送信できませんでした。もう一度送りなおしてください。	–
77	送信の途中で相手先が受信を終了してしまいました。相手機の記録紙がなくなった、もしくは、記録紙がつまった可能性があります。相手先に確認してください。	–
92, 97, 98	受信の途中で相手先が送信を終了してしまいました。相手先で原稿がつまった可能性があります。相手先に確認してください。	–

● 70番以降のコードは、電話回線または相手機種関係の異常の場合です。再度送信してみてください。
● 上記以外のエラーコードについては、NECサービスステーションにお問い合わせください。(→P.109)

? 設定・登録内容を確認するとき

電話帳の登録内容（電話番号リスト）、着信データ（着信データリスト）、本機の設定状態（システムリスト）をプリントして確認することができます。

● 電話番号リストをプリントするとき

- 登録されている相手先名が、空白＋文字→数字→カナ（50音順）→アルファベット→記号→名前を登録していない電話番号の順にプリントされます。
- 電話番号リストは1ページに50件までプリントされます。51件以降は2ページ目以降にプリントされます。
- α-DIAL（→P.78）によってTalkin'ダイヤルと公共施設の電話番号を登録した場合、それもプリントされます。

● 着信データをプリントするとき

- ナンバー・ディスプレイサービスを利用していないときは、着信データは記憶されません。

1 ダストカバーを開け、［機能］を押します。

2 ［1ア］を押します。　　ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ

3 ［電話帳登録/セット］を押します。　　ﾃﾞﾝﾜ ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ

電話番号リストをプリントするとき

4 ［電話帳登録/セット］を押します。　　ﾚﾎﾟｰﾄ ｼｭﾂﾘｮｸﾁｭｳ

● または3秒待ちます。
● プリントが開始されます。

着信データをプリントするとき

4 ［機能］を押します。　　ﾁｬｸｼﾝﾃﾞｰﾀ ﾌﾟﾘﾝﾄ

5 ［電話帳登録/セット］を押します。　　ﾚﾎﾟｰﾄ ｼｭﾂﾘｮｸﾁｭｳ

● または3秒待ちます。
● プリントが開始されます。

システムリストをプリントするとき

4 ［機能］を2回押します。　　ｼｽﾃﾑ ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ

5 ［電話帳登録/セット］を押します。　　ﾚﾎﾟｰﾄ ｼｭﾂﾘｮｸﾁｭｳ

● または3秒待ちます。
● プリントが開始されます。

?
● **電話帳に登録されていない場合…**ディスプレイに「デンワバンゴウミトウロク」と表示され、プリントされません。
● **着信データが記憶されていない場合…**ディスプレイに「チャクシンデータ　アリマセン」と表示され、プリントされません。
● **途中でプリントをやめるとき…**［ストップ］ボタンを押してください。

リストプリント例

●電話番号リスト

(注) 本リストはナンバー・ディスプレイ契約時の一例です。

デ゛ンワ バ゛ンゴ゛ウ リスト (1)
1999. 10. 1 12:10
ニチデ゛ン タロウ

アイテサキ	デ゛ンワ バ゛ンゴ゛ウ	チャクシン ナリワケ
イトウ	0312345678	ベ゛ル(ヒョウジ゛ュン)
カトウ	0112223333	ベ゛ル(ナリワケ)
キクオ	0537990000	ベ゛ル(ヒョウジ゛ュン)
サトウ	0633334444	メロデ゛ィ(A)
タナカ	0322225555	メロデ゛ィ(B)
≈	≈	≈
ヤマモト	0451112222	ベ゛ル(ヒョウジ゛ュン)
ワダ゛	0523337777	メロデ゛ィ(C)

●着信データリスト

チャクシンデータ リスト
1999. 10. 1 17:30
ニチデ゛ン タロウ

No.	チャクシンジコク	チャクシンデータ	アイテサキ
1	9.30 21:00	0312345678	ニッポンデンキ
2	9.30 13:15	ヒツウチ	
3	9.29 16:20	コウシュウデンワ	
4	9.28 11:32	ヒョウジケンガイ	
≈	≈	≈	≈
20	9.15 12:36	ジュシンエラー	

●システムリスト

システム リスト
1999. 10. 1 12:10
NEC

コ ウ モ ク	ナ イ ヨ ウ
キロクシ サイズ゛	B4
ムメイド゛ウ チャクシン	シナイ
オンセイ メッセージ゛	ナガ゛サナイ
チャクシンベ゛ル カイスウ	6 カイ
ヨビ゛ダ゛シベ゛ル カイスウ	10 カイ
ファクス センヨウ	シナイ
ベ゛ルオン・メロデ゛ィ	ベ゛ル(ヒョウジ゛ュン)
ヨミトリ ノウド゛	フツウ
ハッシンモト キロク	スル
カイガ゛イツウシン	シナイ
カンタン ジ゛ュシン	スル
ホリュウ メロデ゛ィ	メロデ゛ィ 1
カイセン シュベ゛ツ	DP20
Fネット	スル
テンソウ ジ゛ュシン	スル ダ゛イヤル セッテイ ＝ 3(＊)
ショウ エネルギ゛ー	スル
マイネーム デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ アイテサキ マイネーム	 0398765432 カレ ワタシ
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ	0120200940
ハッシンモト	NEC
オヤスミ オン ジ゛コク オヤスミ オフ ジ゛コク	23:00 7:00
リモート ソウサ	スル リモート パ゜スワード゛ ＝ 0000
ヨウケン テンソウ テンソウサキ	シナイ 0312345678
ダ゛イヤルイン	スル ナイセン シテイ バ゛ンゴ゛ウ(FAX)＝ 1234 ナイセン シテイ バ゛ンゴ゛ウ(TEL)＝ 5678
トールセイバ゛	スル
ナンバ゛ーデ゛ィスプ゜レイ トクテイコール バ゛ンゴ゛ウリクエスト チャクシンキョヒ オウトウメッセージ゛ センタク キャッチホン	スル スル シナイ スル シナイ シナイ
アルファ セッテイ デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ ユウビ゛ンバ゛ンゴ゛ウ アルファ キノウ リョウキン ヒョウジ゛	アリ 0345678901 108−8001 スル シナイ
ハンド゛スキャナ ヨミトリキロクハバ゛ メロデ゛ィハンド゛スキャナ	 B4 −− B4 スル

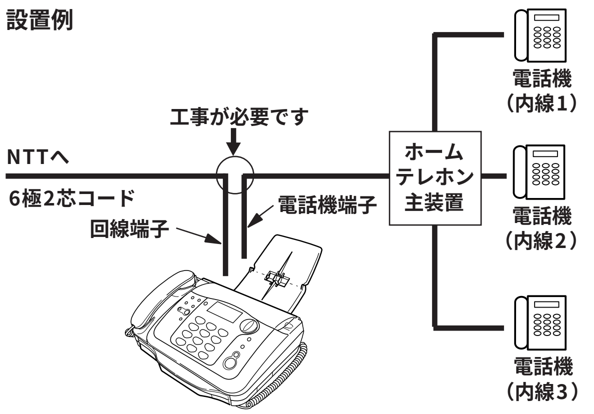
いろいろな機器を接続するとき

ホームテレホン／ビジネスホンとの接続

交換機などの付加装置をご利用の場合は、接続工事が必要になることがあります。接続については、ホームテレホンやビジネスホンをお買い求めになったお店かホームテレホンなどのメーカー、またはNECサービスステーション(→P.109)にご相談ください。

⚠注意
- ホームテレホンまたはビジネスホンは本機に正しく接続してください。誤った接続をすると、火災の原因となることがあります。

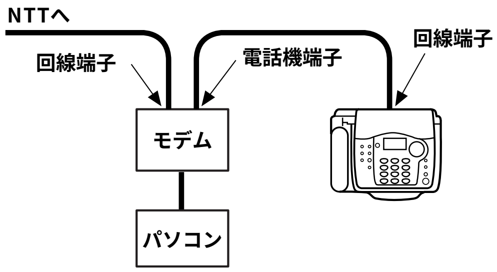
設置例



- 本機を使用中は、ホームテレホン／ビジネスホンは使用できません。
- ファクス／電話自動切替(→P.43)をしたあとは、ホームテレホンやビジネスホンのベルが鳴らなくなります。着信ベル回数を多くしたり、電話モードを利用すればベルが鳴り続けますが、着信ベル回数が10回以上の場合と、電話モードの場合、相手が自動送信のファクスのときは、自動的に受信できません。

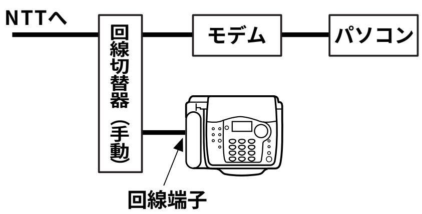
パソコンやモデムとの接続

モデムやモデム内蔵のパソコンで電話を受けるようにするときは、モデムの電話機端子に本機を接続します。このときモデムやモデム内蔵のパソコン側の設定を、ファクス／電話自動切替する(自動的に回線を接続する)前に着信するようにしてください。
モデムやモデム内蔵のパソコンの接続方法や設定方法の詳細については各々の説明書を参照してください。



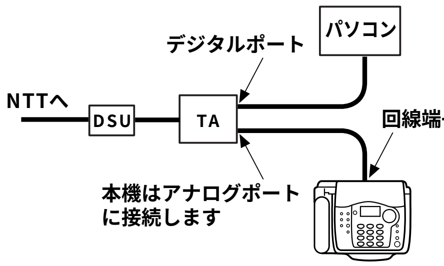
- モデムやモデム内蔵のパソコンと接続した場合、NTT回線種別は手動で設定してください。(→P.20)
- モデムやモデム内蔵のパソコンで通信中は、本機を使用できません。
- 通話中やファクスの通信中にモデムやモデム内蔵のパソコンを操作すると、通話やファクスがただちに切断されます。本機が使用中でないことを確認してから、モデムなどを操作してください。

<参考：回線切替器を利用する場合>



ISDNターミナルアダプタ(TA)との接続

インターネットやパソコン通信にNTTのISDN回線(INSネット64)を利用する場合は、ISDNターミナルアダプタ(以下TA)を用いて本機とパソコンの両方を接続することができます。
ISDN回線を利用するには、NTTへ申し込みが必要です。



- ナンバー・ディスプレイを利用するときは、ナンバー・ディスプレイ対応のTAを使用してください。
- TAとISDN回線間の接続には、デジタルサービスユニット(DSU)が必要です。あらかじめご用意ください。なお、TAによっては、DSUが内蔵されている機種もあります。詳しくはTAの説明書をご覧ください。
- 本機の回線種別はプッシュ回線(PB)に設定してください。(→P.20)
- 電話番号の前に0077などの番号を付けてかける場合、ターミナルアダプタの設定(桁間タイマ等)によっては電話がかけられない場合があります。
- ダイヤルインサービスをご利用の場合、TAの取扱説明書に従って設定してください。TAの機種または設定によっては本機でのダイヤルインが使用できない場合があります。その時は本機を「ダイヤルインを利用しない」と設定してください。(→P.91)

? 省エネルギーモードで使うとき

待機時(使用していない状態)の消費電力を少なくすることができます。

● 省エネルギーモードにすると、待機時の消費電力を約80%節約できます。(→P.111)

● **お買い上げのとき…**「省エネルギーモードにする」に設定されています。

1 **ダストカバーを開け、機能 を押します。**

2 **3 サ DEF を押します。**

セッテイ モード

3 **電話帳登録/セット を押します。**

ヨミトリ ノウド ■■■

4 **機能 を8回押します。**

ショウエネルギー 〇×

カーソル

5 **電話帳 の<または>を押してカーソルを移動します。**

〇×：省エネルギーモードにする
〇×：省エネルギーモードにしない

6 **電話帳登録/セット を押します。**

カンリョウ

!
- **「Fネットを利用する」に設定した場合は、「省エネルギーモードにする」に設定しても省エネルギー機能は働きません。(→P.88)**
- **「省エネルギーモードにする」にし、次の機能を利用する場合、外付け電話機(→P.35)の機種によっては、電話がかかってきたときにわずかに呼出音が鳴ることがあります。**
  - **無鳴動着信(→P.45)**
  - **おやすみモード(→P.58)**
  - **ナンバー・ディスプレイ(→P.19)**
  - **ダイヤルインサービス(→P.89)**

? お手入れのしかた

本体の清掃

装置表面の汚れは、薄めた台所用中性洗剤にひたした布を固く絞って拭き取り、最後に乾いた柔らかい布で拭いてください。
水拭きをする場合は布を固く絞ってから拭いてください。

! ●ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは、絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となります。

ハンドスキャナの清掃

原稿を読み取る部分のガラス面が汚れると、コピーや相手の記録画に汚れが出てしまいます。原稿読み取り面は、定期的に(月に1回程度)清掃し、いつもきれいにしておいてください。

1 ハンドスキャナを外します。

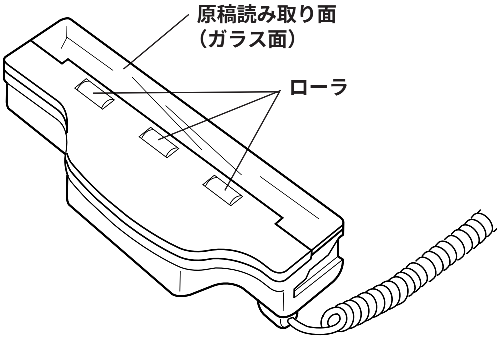
● 矢印の方向に引き抜きます。



2 ガラス面を柔らかい布で拭きます。

3 ローラを拭きます。

● 水にひたした布を固く絞って拭いてください。



4 ハンドスキャナを戻します。

● 原稿読み取り面を上に向けて本体に押し込みます。

ローラの清掃

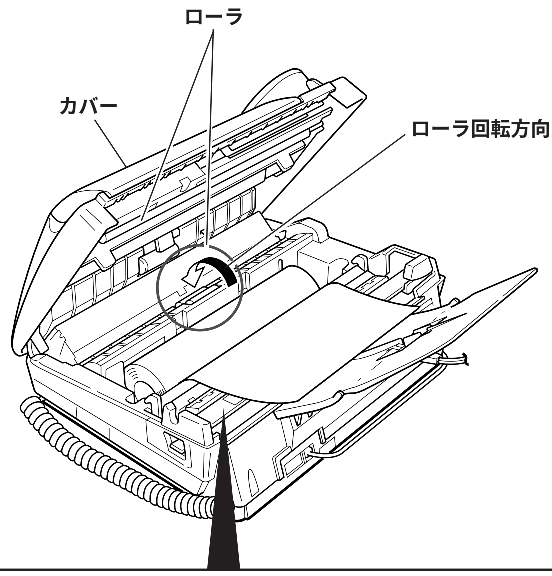
ローラが汚れると原稿づまりや記録異常の原因となります。ハンドスキャナの清掃といっしょにローラも清掃してください。

1 電源プラグを抜きます。

2 カバー開レバーを下に押してカバーを開けます。(→P.92)

3 ローラを拭きます。

● 水にひたした布を固く絞り、ローラを手で回しながら、ローラの表面全体を拭いてください。



⚠注意

● 手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。



● サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。



4 電源プラグを差し込みます。

5 記録紙の先端を10cmくらい引き出し、はさむようにしてカバーを閉めます。(→P.92)

6 [1ア] または [2ABCカ] を押して記録紙のサイズを選びます。

● 1～2秒後、自動的に記録紙がカットされます。

ｷﾛｸｼﾊ? 1:B4 2:A4

カーソル

▼

ｷﾛｸｼｻｲｽﾞ B4 ﾆｼﾏｼﾀ

▼

ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ

? 困ったときは（Q＆A）

	こんなときは	内　容	参照ページ
待機中	ディスプレイに何も表示されない	・電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？	P.16
	「カバー／キロクシ　カクニン」と表示が出た	・カバーが開いています。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。	 P.93,94
電話	受話器から何も聞こえない	・電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？ ・電話回線が接続されていますか？ ・受話器のコードは接続されていますか？	P.16 P.18 P.16
	電話を受けられるが、かけることができない	・回線種別の設定が合っていますか？ ・ターミナルアダプタを使用していませんか？	P.20 P.100
	電話をかけることはできるが、受けることができない	・ナンバー・ディスプレイの設定を「利用しない」にしてください。 ・ターミナルアダプタを使用していて、ターミナルアダプタ側でダイヤルインの設定をしている場合は、ダイヤルインの設定を「しない」にしてください。	P.19 P.91
	ベルが鳴らない	・ベルの音量調整が「切」になっていませんか？ ・おやすみモードになっていませんか？	P.33 P.58
	ベルの音が小さい（大きい）	・ベルの音量を調整してください。	P.33
	ベルが鳴り、電話をとったが何も聞こえない	・相手がファクスかもしれません。［スタート／コピー］ボタンを押してみてください。	P.24
	相手の声が聞き取りにくい	・音量調整をしてください。	P.33
	ワイワイトークで相手の声が聞き取りにくい	・音量調整をしてください。 ・装置の左側面のスピーカがふさがっていませんか？	P.33 P.11
	ワイワイトーク中に「ピー」、「キー」等の異常音（ハウリング音）が聞こえた	・P.30をご覧ください。	–
	［おやすみ］ボタンが点滅する	・電話がかかってくると、［おやすみ］ボタンは点滅します。故障ではありません。	P.25
	トーン（プッシュ）信号の送出のしかたは？	・P.26をご覧ください。	–
	着信ベル／呼出ベルの意味がわからない	・P.24をご覧ください。	–
	公衆電話で電話をかけた相手から、応答もしないのに通話料金がかかると言われた また、呼出音が少しおかしいと言われた	・P.24をご覧ください。	–
	電話をかけた時、相手に自分の電話番号が表示されるのか？	・相手がNTTのナンバー・ディスプレイを契約している場合、自分の電話番号を通知したときに表示されます。 ・ファクス送信のときは、お客様が自分の電話番号を登録していたら、その番号が相手機に表示されます。	P.14 P.21
	海外に電話をかけるとき、ダイヤルボタンを押してダイヤルした時はつながるが、電話帳ではつながらない	・P.27をご覧ください。	–
	α-ALPHA5付き電話機を、外付け電話機として使用しているが、本機のα-ALPHA5はどうすればよいのか？	・本機からα-ALPHA5を登録してご利用ください。 外付け電話機ではα-ALPHA5は使用できません。	P.68
ファクス（コピー）	コピーが白紙になる	・コピーする面を下に向けて原稿をセットしましたか？ ・記録紙の向き（表裏）は正しくセットされていますか？	P.48 P.94
	コピー中に「ピー」という音が鳴り続けた	・［ストップ］ボタンを押すと、「ピー」という音が止まります。 ・原稿がつまっています。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。	 P.92 P.93,94
	コピーがかすれた コピーがうすい	・原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度コピーをとってください。	P.38
	コピーが鮮明でない	・原稿読み取り面を清掃してください。 ・当社推奨の記録紙を使用してください。	P.102 P.108
ファクス（送信）	原稿をセットしたのに「ゲンコウ　ガ　アリマセン」の表示が出た 原稿が送り込まれていかない	・原稿が自動的に引き込まれるまで軽く差し込んでください。 ・原稿が厚すぎます。（ハンドスキャナを使って送信してください。） ・原稿が薄すぎます。（ハンドスキャナを使って送信してください。） ・原稿が小さすぎます。（ハンドスキャナを使って送信してください。） ・装置カバーの内側にあるグレーのゴム板が原稿セット台に引っかかっていないか確認してください。引っかかっていたら戻してください。 ・ローラを清掃してください。	P.36 P.64 P.92 P.102
	原稿が斜めに入った	・原稿を取り除き、もう一度やりなおしてください。 ・原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。 ・ローラを清掃してください。	P.36 P.102

	こんなときは	内　容	参照ページ
ファクス（送信）	原稿の読み取り中に「ピー」という音がして止まってしまい、「ゲンコウ　カクニン」と「ローラヲ　セイソウシテクダサイ」という表示が交互に出た	・原稿を取り除き、もう一度やりなおしてください。 ・ローラを清掃してください。	P.36 P.102
	原稿が送られず、「アイテサキ　ムオウトウ」と表示が出た	・相手先の電話番号を確認してください。 ・相手先が電話に出ません。しばらくしてから、もう一度かけなおしてください。 ・相手先のファクスが受信できない状態になっています。相手先に確認して、もう一度送りなおしてください。	–
	原稿が送られず、「アイテサキ　ハナシチュウ」と表示が出た	・相手先が話中です。しばらくしてから、かけなおしてください。 ・回線が混み合っています。しばらくしてから、かけなおしてください。	–
	何回送信しても「サイハッコ　マチ」になる	・相手が話中です。 ・電話がかけられるかを確認してください。 ・手動で送信してみてください。（手動とは、電話をかけて話をして、その後に双方がファクスを送る／受ける操作をする方法です。）	P.41 P.25 P.40
	通話もファクスの送信／受信もできない	・電話回線を背面の「電話機」端子に接続していませんか？ このときは、装置の内部よりカチカチと異常音が発生します。	P.18
	送信中に「ピーピーピーピー」という音が鳴り出した	・相手のファクスに記録紙切れ等が起きたため、送信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送りなおしてください。	–
	「ツウシン　イジョウ　××」と表示が出た（××は2桁の英数字）	・エラーコード表を参照して対処してください。	P.97
	送信に時間がかかる	・画質モードの設定が「コマカイ」、「シャシン」のときは、「フツウ」や「チイサイ」のときに比べ、送信に時間がかかります。 ・原稿に黒い部分が多いときや原稿の裏に印刷があるときは、送信に時間がかかります。 ・回線の状態が悪い場合は、送信に時間がかかることがあります。	P.37
	海外への送信ができない	・海外へ送信する時は、国内と違い接続に時間がかかります。手動で送信するのが確実です。（手動とは、受信信号「ピーヒョロヒョロ」と聞こえてから送る方法です。） ・電話帳を使う場合、例えば001の後にポーズを入れて交換機の待ち時間を作ってください。 ・海外通信の設定をすると、エコーキャンセルや、ファクス信号を長く送出するため、海外との通信がしやすくなります。	P.40 P.27 P.38
	送ったファクスが縮小された	・相手機（受信側）がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送ると自動的にA4サイズに縮小して送信されます。 ・A4の原稿のとき、原稿セットガイドをB4の位置のままで、原稿をガイドの左側に合わせて送信すると縮小して送信されます。	P.36
	送受信でサイズが違う	・ファクスの場合は、送受信で若干の差がでます。原稿／記録紙の送り誤差（原稿読み取りおよび受信画の伸び縮み）があります。 ・1つ上の項目も参照してください。	–
	送信した原稿が相手先で白紙になる	・原稿を表裏逆にセットしませんでしたか？ 送る面を下に向けてセットして、もう一度送りなおしてください。 ・相手先の記録紙の向き（表裏）が正しくないかもしれません。相手先に確認してもう一度送りなおしてください。	P.36
	相手先で受信した記録がかすれた 相手先で受信した記録がうすい	・原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度送りなおしてください。	P.38
	相手先で受信した記録の状態が鮮明でない	・本機でコピーをとってください。コピーが鮮明でないときは、原稿読み取り部を清掃してください。コピーが鮮明なときは、回線または相手側に原因があると思われます。もう一度送りなおしてください。 ・通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送りなおしてください。 ・画質モードを変えて送ってみてください。	P.48 P.102 P.87 P.37
	相手先で受信した記録に黒いすじが入る	・本機でコピーをとってください。コピーにも黒いすじが入るときは、原稿読み取り面を清掃してください。コピーが正常なときは、相手側に原因があると思われます。もう一度送りなおしてください。	P.48 P.102

	こんなときは	内　容	参照ページ
ファクス(受信)	「シバラク　オマチクダサイ」と表示が出たままになった	・電源プラグを入れたまま、しばらく使用を控えてください。	–
	「ツウシン　イジョウ　××」と表示が出た(××は2桁の英数字)	・エラーコード表を参照して対処してください。	P.97
	「カバー／キロクシ　カクニン」と表示が出た	・カバーが開いています。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。	P.93,94
	ベルが鳴り続けて、自動的に受信できない	・コピー中や登録中のときは、[ストップ]ボタンを押して、コピーや登録をやめてください。 ・相手先がファクス信号を出さないタイプのときは自動受信できません。 ・着信ベル回数が10回以上に設定されている場合、相手が自動送信のファクスのときは受信できません。 ・電話モードに設定しているときは自動受信できません。	P.45 P.46
	受信中に「ピーピーピーピー」という音が鳴り出した	・相手のファクスに原稿づまり等が起きたため、受信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送りなおしてもらってください。	–
	受信中に「ピー」という音が鳴り続けた	・[ストップ]ボタンを押すと、「ピー」という音が止まります。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。	P.93,94
	通話もファクスの送信／受信もできない	・電話回線を背面の「電話機」端子に接続していませんか？ このときは、装置の内部よりカチカチと異常音が発生します。	P.18
	受信した記録紙が白紙になる	・記録紙の向き(表裏)が正しくセットされていますか？ ・相手先が原稿を表裏逆にセットしたかもしれません。相手先に確認してください。	P.94
	受信した画像が鮮明でない	・通話中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送りなおしてもらってください。 ・本機でコピーをとってください。コピーが鮮明なときは、回線または送信側の異常です。相手先に連絡して、もう一度送りなおしてもらってください。	P.87 P.48
	受信した記録紙に黒いすじが入る	・本機でコピーをとってください。コピーに黒いすじが入らないときは、回線または相手側に原因があると思われます。相手先に連絡してもう一度送りなおしてもらってください。 ・コピーに黒いすじが入るときは、NECサービスステーションにご連絡ください。	P.48 P.109
	記録紙がひんぱんにつまる	・当社推奨の記録紙を使用してください。	P.108
	ファクスの送信はできるが、受信ができない	・おやすみモードになっていて、メモリに受信していませんか？ ・同じ回線にモデムが接続されていませんか？モデムの電源をOFFにしてテストしてください。 ・メモリがいっぱいのときは受信できません。	P.58 P.100 P.44
	相手先から正常にファクスを送ったと言われたが、受信していない	・おやすみモードでメモリに受信していませんか？	P.58
	海外からの受信ができない	・国によってはかなり回線状態が悪い場合があり、受信できないことがあります。 ・ファクス信号を出さない装置からの場合、留守設定にしてください。無音検出機能で受信できます。 ・コールバックサービスをご利用の時は、送受信の手順等が違う場合があります。サービス提供会社等にお問い合わせください。	–
	海外からファクスを受けるときは、常に「海外通信する」に設定しておく方がよいのか？	・海外通信の設定は、ファクスを送るときの機能です。ファクスを受けるときは関係ありません。	–
	コンビニエンスストアからのファクス受信ができない	・P.25をご覧ください。	–
	ファクスかんたん受信ができない	・「ファクスかんたん受信をする」に設定されていますか？ ・受話器から『ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください』というメッセージを聞いてから、受話器を戻してください。メッセージが流れる前に受話器を戻すと回線が切断されます。 ・周囲に騒音などがありませんか？ ・相手がファクス信号を出さない機種の場合は、ファクスかんたん受信はできません。[スタート／コピー]ボタンを押してください。	P.47
	A4の原稿を受信しているが、縮小されてしまう	・相手先(送信側)で原稿の大きさにきちんと原稿セットガイドを合わせて送ったか確認してみてください。	–
	記録紙がなくなったときはどうなるのか？	・次の受信からメモリ代行受信します。	P.44

	こんなときは	内　容	参照ページ
ファクス（受信）	受信でもコピーでも左端が欠ける	・記録紙は、正しくA4サイズの位置に合わせてセットしてください。 ・A4の記録紙を使用していて、記録紙サイズをB4に設定していませんか？ ・A4の原稿のとき、原稿セットガイドをB4の位置のままで、原稿をガイドの右側に合わせて送信／コピーをすると左側約2～3cmが欠けます。原稿セットガイドは必ず合わせてください。	P.36
	時々、10cm位白紙が切られることがある	・本機の近くに1300Hzに近いノイズを出す製品（環境による）があることが考えられます。ファクシミリ通信網による受信と判断して、ファクス受信状態となるために起こります。Fネットを利用しない場合は、「Fネットを利用しない」に設定してください。「Fネットを利用しない」に設定してもよくならない場合は、NECサービスステーションにご相談ください。	P.88
	ファクス専用モードにならない	・電話モードに設定されているとファクス専用モードの設定は無効になります。電話モードの設定を解除してください（着信ベル回数の設定を1～19回にしてください）。	P.46
	ファクス情報サービスの取り出しかたは？	・P.49をご覧ください。	–
留守番電話	留守設定ができない	・用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。	P.52
	『メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください』と聞こえた	・用件がすぐいっぱいになります。不要な用件を消去してください。	P.52
	留守設定しているのに留守番電話が応答しない	・「電話モード」でお使いの場合、「トールセイバしない」に設定すると、留守番電話が応答しません。「トールセイバする」に設定してください。	P.60
	留守設定にしているが、ベル回数を常に一定にしたい	・「トールセイバしない」に設定すると、設定した回数だけ着信ベルが鳴ります。	P.60 P.45
	留守番電話の内容が聞こえなくなってしまった（用件件数は表示されている）	・モニタスピーカ音量が「切」になっています。	P.33
	留守設定時にも転送受信（外付け電話機でのファクス受信）と、ファクスかんたん受信はできるか？	・転送受信もファクスかんたん受信もできます。	–
	留守設定時に自動送信で送られたファクスを受信できない	・着信ベル回数を10回以下に設定してください。	P.45
	留守設定にしているとファクスがメモリに入ってしまう	・記録紙がなくなっていませんか？ ・おやすみモードになっていませんか？	P.44 P.58
	外出先から操作（リモート操作）できない	・留守設定にしてありますか？ ・パスワードは登録しましたか？ ・プッシュ信号の出せる電話機で操作していますか？ ・「リモート操作する」に設定してありますか？	P.55 P.54 P.54
	用件転送は6秒以上メッセージが録音されないと転送されないのか？	・転送されません。内容のない用件が転送されるのを防止しています。	P.57
	おやすみモードがタイマ切替で解除されても、留守設定の状態となる	・おやすみモードの間に用件を録音したときは、このことをお知らせするために[留守]ボタンを点滅させています。 ・留守設定にしてからおやすみモードにしていませんか？	P.59
	おやすみモードのタイマ切替を使用したときに入ったメモリの内容と用件はいつプリントまたは再生されるのか？	・メモリされた受信文書は、おやすみモードを解除した時にプリントされます。録音された用件は、[再生]ボタンを押した時、または留守設定を解除した時に再生されます。	P.51 P.52 P.58
ハンドスキャナ	「ハンドスキャナ　カクニン」と表示が出た	・ハンドスキャナを取り外し、もう一度セットしてください。	P.61
	ハンドスキャナでコピーできない	・普通に原稿をセットしてコピーできますか？ ・凹凸のある原稿を読み取っていませんか？	P.48 P.62
	読み取り中に「ピッピッピッ」という音がした	・読み取りが速すぎます。ゆっくり動かしてください。	P.63
	記録位置がズレる	・原稿を基準線と読み取りマークに合わせてください。	P.62
	ハンドスキャナで読みとると、拡大または縮小コピーになる	・拡大／縮小の設定を確認してください。	P.65
外付け電話機	電話がかけられない	・回線種別の設定が合っていますか？外付け電話機の説明書をご覧ください。	–
	転送受信できない（ファクス受信）	・転送受信をするように設定されていますか？ ・こちらから電話をかけたときは、転送受信できません。本機の[スタート／コピー]ボタンを押して受信してください。	P.47
	電話がかかってきた時に、本機のベルは鳴っているのに外付け電話機のベルは途中で鳴りやむ	・ファクス／電話自動切替したあとは、外付け電話機のベルは鳴りません。	P.43
	ファクスを使用中に、外付け電話機の受話器を上げてしまったら、通信異常になった	・外付け電話機がブランチ接続（並列接続）になっていませんか？	P.15

	こんなときは	内　　容	参照ページ
外付け電話機	電話に出たら、「トゥルルル」という音が聞こえ、その後、『ファクシミリの方は…』というメッセージが流れ、話ができない	・ブランチ接続になっています。 ・ベルが鳴っている時に受話器をとってください。スピークスだけ鳴っている時は、スピークス側で出てください。	P.15
	「ファクスかんたん受信をする」に設定しているが、外付け電話機ではできない	・外付け電話機ではメッセージは流れません。「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたあと無音になります。それから受話器を戻してください。	P.35
	構内交換機（PBX）に接続したときに、転送受信できない	・外付け電話機は、背面の「電話機」端子に接続されていますか？ ・ダイヤル回線の場合、外付け電話機で電話を受けた時、相手がファクスのとき（「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたとき）は、次の操作を行ってください。 ① ［3］を押す ② 5秒ほど待ってから受話器を戻す トーン信号（プッシュ信号）送出機能があるとき ① トーンボタン（またはPB）を押す ② ［3］［＊］を押す	P.18 P.35
	受話器から「ブーン」等の音が聞こえる	・故障ではありません。本機がファクス通信中や通話中に受話器をとると、そのような音が聞こえることがあります。	P.35
いろいろなサービス	ポケベル呼び出しができない	・用件転送がセットされていますか？	P.57
	キャッチホンの操作は？ キャッチホンサービスを受けた場合のファクスの使用上の問題点は？	・P.87をご覧ください。	–
	停電時にダイヤルイン機能は使用できるか？	・使えません。	P.89
	停電時に外付け電話機は使用できるか？	・停電対応可能な電話機を接続すれば使用できます。	P.18,96
	ダイヤルインで使用時、外付け電話機のベルが鳴らなくても、電話を受けたりかけたりできるか？	・外付け電話機のベルが鳴らなくても、本機のベルが鳴っている間に取れば、電話で話せます。また、こちらから電話をかけることもできます。	–
	ダイヤルインサービスを利用しているが、用件転送はできるか？	・用件転送はできます。	–
	NTTのボイスワープ（転送サービス）に加入したが、電話への転送ができるか？	・無鳴動着信に設定していると転送できません。着信ベル回数は、ボイスワープ（転送）するまでに鳴らすベル回数より多い回数に設定してください。つまり、本機が自動的に回線を接続する前にボイスワープ（転送）するようにしなければなりません。 ・ボイスワープに加入すると、相手が電話の場合もファクスの場合も転送されるので、ファクスの自動受信はできません。	P.45
接続方法	ホームテレホンまたはビジネスホンにファクスを接続する方法は？	・P.100をご覧ください。	–
	ホームテレホンまたはビジネスホンに接続してファクスのベルが鳴るが、ホームテレホンまたはビジネスホンの電話機のベルが鳴らない	・P.100をご覧ください。	–
	パソコンと接続しているが、ファクスの受信ができない	・P.100をご覧ください。	–
	パソコンと接続しているが、時々ファクスが動作し、パソコン通信ができない	・パソコン、モデムの雑音電波で、ファクスが誤動作しています。装置を離して置いてみてください。 ・パソコン通信にファクスの転送受信番号（3と＊）が含まれているため、ファクスが転送受信状態になっています。転送受信を「しない」に設定し、テストしてみてください。（3＊以外に2＊、5＊、7＊に設定できます） ・パソコン通信の信号の影響でファクスが誤動作しています。切替器により装置を分離してください。	P.100 P.47 P.100
その他	回線種別の設定のしかたは？	・P.20をご覧ください。	–
	発信元登録のしかたは？	・P.22をご覧ください。	–
	音量調整のしかたは？	・P.33をご覧ください。	–
	「ゲンコウ　カクニン」と表示されるが、原稿が取れない	・カバーを開け、原稿をゆっくりと引き抜いてください。	P.92
	発信元登録で電話番号を入れたが、登録されない	・数字は文字表に従って入力してください。ダイヤルボタンの数字ではありません。	P.23
	スピークスのどのボタンを押しても何も反応しない	・電源プラグを電源コンセントからいったん抜いて、再度差し込んでください。	P.16

アフターサービス・オプション品・消耗品のご案内

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

お客様ご相談窓口のご案内

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

? 仕　様

ファクシミリ

原稿サイズ	最大：257(幅)×1000(長さ) mm 最小：128(幅)×128(長さ) mm
記録紙サイズ	感熱記録紙：257 mm×30 mまたは210 mm×30 m (ロール紙：外径62 mm以下、巻き芯内径1インチ)
有効読取幅	250 mm (B4)　204 mm (A4)
有効記録幅	250 mm (B4)　203 mm (A4)
走査方法	送信：CCDによる原稿移動型平面走査またはハンドスキャナ移動による平面走査 受信：感熱記録ヘッドによる平面走査
走査線密度	主走査：8ドット/mm 副走査：15.4 line/mm (細かい) 7.7 line/mm (小さい) 3.85 line/mm (普通)
通信モード	G3/ECM
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400 bps
電送時間 *	G3 約15秒、ECM 約6秒
記録方式	感熱記録
適用回線	一般電話回線 ファクシミリ通信網 (1300 Hz)(G3サービス) ダイヤルイン回線 NCC回線
自動受信	有 (ファクス/電話自動切替機能内蔵)
電　源	AC 100±10 V　50/60 Hz
消費電力	待機時：省エネルギーモードON時　約1.0 W 省エネルギーモードOFF時　約4.8 W 送信時：約14 W (標準的原稿) 受信時：約20 W (標準的原稿) コピー時：約24 W (標準的原稿) 最大時：約130 W
直流抵抗	92 Ω (20 mA)
外形寸法	約330(横幅)×270(奥行き)×123(高さ) mm (突起部を除く)
質　量	約3.9 kg (記録紙を除く)
使用環境	温度：5〜35 ℃ 湿度：35〜85 %

留守番電話

録音方式	DSP方式
最大録音時間	1件につき3分
合計録音時間	約15分 (標準音声)
最大録音件数	30件
応答メッセージ	自作：2　固定：1

* 電送時間は、A4判700字程度の原稿を標準的画質(8×3.85 line/mm)で高速モード(14400 bps)で送ったときの速さです。
これは画像情報のみの電送速度で通信の制御時間は含まれておりません。
なお、実際の通信時間は、原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。

● 本機を設置する場所がNTTの支店・営業所(交換機)から遠距離の場合、お使いになれないことがありますのでNECサービスステーションにご相談ください。
● 外観、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

操作早わかりガイド

■本　機

：受話器をとる　：受話器を戻す　：ボタンを押す

電話	電話をかける	→ 相手先の番号 → 通話 → [ワイワイトーク] → 相手先の番号 → → 通話 →
	電話を受ける	着信音 → → 通話 →
	リダイヤルする	→ [リダイヤル/ポーズ] → 通話 →
	トーン(プッシュ)信号送出	電話をかける → ⊛（以後のダイヤルはトーン信号が送出される）
	電話帳を使って電話をかける	▲／▼ 相手先を選ぶ →
	ワイワイトーク（ハンズフリー通話）	[ワイワイトーク] → 相手先の番号 → 通話 → [ワイワイトーク]
	保留する	通話中 → [保留/クリア]
	〈もう一度話す〉	保留中 → [保留/クリア]（または ）→ 通話
	通話録音（通話中の会話を録音する）	受話器で通話中 → [留守] → 録音 → [ストップ]
	通話録音した内容を聞く	[▶再生] → 再生 → [ストップ]
	留守番電話に録音された用件や通話録音した内容を相手に聞かせる	受話器で通話中 → [▶再生] → 再生 → [ストップ]
	音量調整　ベル音量	待機中 → [音量]　切 → 小 → 中 → 大
	音量調整　受話音量	受話器で通話中 → [音量]　小 → 中 → 大
	音量調整　ワイワイトーク音量	ワイワイトーク中 → [音量]　1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6
	音量調整　モニタスピーカ音量・留守番電話の再生音量	用件再生中 → [音量]　切 → 小 → 中 → 大
	キャッチホンの利用	通話中 → 「プルルー・プップッ」 → [着信データ/キャッチ] → あとの人と通話 → [着信データ/キャッチ] → はじめの人と通話
ファクス	画質モード	[画質]　フツウ → チイサイ → コマカイ → シャシン
	自動送信	原稿セット → 相手先の番号 → [スタート/コピー]
	電話帳で送信	原稿セット → ▲／▼ 相手先を選ぶ → [スタート/コピー]
	手動送信	原稿セット → → 相手先の番号 → 通話 → 相手が受信操作 → [スタート/コピー] →
	おまかせ送信	原稿セット → 相手先の番号 → [おまかせ送信]
	マイネームボタンで送る	原稿セット → [マイネーム] → [スタート/コピー]
	ファクスを手動で受ける	→ 「ポー・ポー・ポー…」 → 『ファクシミリを受信します…』 → → 「ポー・ポー・ポー…」 → [スタート/コピー] → 通話中 → 相手が送信操作 → [スタート/コピー] →
コピー	シングルコピー	原稿セット → [スタート/コピー] → [スタート/コピー]
	マルチコピー	原稿セット → [スタート/コピー] → コピー部数入力 → [スタート/コピー]

ハンドスキャナでコピーしてご活用ください

留守番	留守セット／解除	留守
	用件の再生	▶再生 ➡ 再生
	特定の用件だけを消去する	消去したい用件を再生中 ➡ 消去 ➡ ストップ
	用件を聞いてから一度に消去する	用件を再生 ➡『用件は以上です』➡「＊＊＊…」➡ 消去
	おやすみモードのセット／解除	おやすみ
ハンドスキャナ	ハンドスキャナでコピーする	ハンドスキャナを外す ➡ 画質選択 ➡ 原稿の上に置く ➡ ◇スタート/コピー ➡ 原稿を読み取る ➡ ストップ ➡ ハンドスキャナを戻す
	ハンドスキャナで送信する	ハンドスキャナを外す ➡ 画質選択 ➡ 相手先の番号 ➡ 原稿の上に置く ➡ ◇スタート/コピー ➡ 原稿を読み取る ➡ ストップ ➡ 1ア ➡ ハンドスキャナを戻す

（注）ファクス自動受信→P.43、原稿／記録紙がつまったとき→P.92, P.93、記録紙の交換→P.94

■ 外付け電話機

ファクスの受けかた		➡「ポー・ポー・ポー…」の時 ➡ 無音 ➡（ファクスかんたん受信の場合） ➡［3］➡ 5秒待つ ➡（ダイヤル回線の場合） ➡［3］［⁎］（初期値）➡（プッシュ回線の場合）
転送	外付け電話機から本機へ	通話中（外付け電話機）➡ ワイワイトーク（本機）➡（外付け電話機） ➡ 本機のワイワイトークで（または受話器を取って）通話
	本機から外付け電話機へ	通話中（本機）➡（外付け電話機）➡（本機） ➡ 外付け電話機で通話

■ 外線リモート（外出先の電話機）

電話をかける ➡ # パスワード # ➡ 操作コード
（プッシュ信号）

巻き戻し	＃１＃
用件再生	＃２＃
早送り	＃３＃
用件転送設定	＃６１＃
用件転送解除	＃６２＃

留守設定	＃７＃
用件消去	＃８＃
留守設定解除	＃９＃

機能設定／登録早見表

●設定／登録の手順

機能 → ダイヤルボタン（または 機能 ）でメインメニューから選択 → 電話帳登録/セット → 機能 で各メニューから選択 → 設定／登録の操作

●メニューと設定／登録内容

設定／登録内容（□は、お買い上げ時の状態です）

メインメニュー	サブメニュー	項目	設定／登録内容	参照
① リスト プリント	リストプリントメニュー	デンワ リスト プリント	電話帳のプリント	→ P.98
		チャクシンデータ プリント	着信データのプリント	→ P.98
		システム リスト プリント	各種設定内容のプリント	→ P.98
② ジュシン セッテイ	受信設定メニュー	ムメイドウ チャクシン	○（する）、×（しない）	→ P.45
		オンセイ メッセージ	○（流す）、×（流さない）	→ P.46
		チャクシン ベル	1～19回、＊＊（無制限）、6回	→ P.45
		ヨビダシ ベル	1～19回、10回	→ P.45
		ファクス センヨウ	○（する）、×（しない）	→ P.46
		ベルオン・メロディ	1.ベル(ヒョウジュン)、2.ベル（ナリワケ）、メロディ(A～C)、エランデメロディで取り込んだ曲	→ P.34
③ セッテイ モード	設定モードメニュー	ヨミトリ ノウド	■□□□□（薄く）～■■■■■（濃く）	→ P.38
		ハッシンモトキロク	○（させる）、×（させない）	→ P.22
		カイガイ ツウシン	○（する）、×（しない）	→ P.38
		カンタン ジュシン	○（する）、×（しない）	→ P.47
		ホリュウ メロディ	ホリュウ メロディ1、ホリュウ メロディ2	→ P.34
		カイセンシュベツ	20P、10P、PB	→ P.20
		Fネット	○（する）、×（しない）	→ P.88
		テンソウジュシン	しない、2＊、3＊、5＊、7＊	→ P.47
		ショウエネルギー	○（する）、×（しない）	→ P.101
④ トウロク モード	登録モードメニュー	マイネームボタン トウロク	相手先名、相手先電話番号、マイネーム	→ P.42
		デンワバンゴウ トウロク	自分の電話番号	→ P.21
		ハッシンモト トウロク	自分の名前	→ P.22
		オヤスミモード タイマキリカエ	おやすみモードの開始／終了時刻	→ P.59
		リモート ソウサ	○（する）、×（しない）、リモートパスワード	→ P.54
		テンソウサキ トウロク	○（する）、×（しない）、用件転送先電話番号	→ P.56
		ダイヤルイン	○（する）、×（しない）、ファクシミリと電話の番号	→ P.91
		ジコク セット	年月日、時刻	→ P.20
⑤ ルスデン キノウ	留守電機能メニュー	ゼンヨウケン ショウキョ	全ての用件を消去する	→ P.52
		オウトウメッセージ ロクオン	応答メッセージの録音（応答メッセージ1、応答メッセージ2）	→ P.53
		オウトウメッセージ ショウキョ	応答メッセージの消去（応答メッセージ1、応答メッセージ2）	→ P.53
		トールセイバ	○（する）、×（しない）	→ P.60
⑥ ナンバーディスプレイセット	ナンバーディスプレイメニュー	ナンバーディスプレイ	○（する）、×（しない）	→ P.19
	ナンバーディスプレイ「する」の場合	トクテイ コール	○（する）、×（しない）	→ P.84
		チャクシンナリワケ シテイ	相手先指定、着信鳴り分け指定(ベル(ヒョウジュン)、ベル(ナリワケ)、メロディ(A～C)、エランデメロディで取り込んだ曲)	→ P.83
		バンゴウリクエスト	○（する）、×（しない）	→ P.84
		チャクシンキョヒ	○（する）、×（しない）	→ P.85
		オウトウメッセージ センタク	○（する）、×（しない）	→ P.85
		キャッチホン	○（する）、×（しない）	→ P.85
		チャクシンキョヒリスト ヘンシュウ	着信拒否リストの登録／確認／削除	→ P.86
⑦ アルファ セッテイ	アルファ設定メニュー	1:トウロク	自回線電話番号、郵便番号、α-ALPHA5の登録	→ P.69
		2:セッテイ　1:アルファSW	○（する）、×（しない）	→ P.70
		2:セッテイ　2:リョウキン ヒョウジ	○（する）、×（しない）	→ P.72
⓪ ファクス サービス			ファクス情報サービスの利用（ポーリング受信）	→ P.49
ハンドスキャナを外したとき		ヨミトリキロクハバ	B4→B4、B4→A4、A4→A4、A4→B4、B5→B5、B5→A4、B5→B4	→ P.65
		メロディハンドスキャナ	○（流す）、×（流さない）	→ P.65

＊α-ALPHA5ご利用の登録前は「アルファスタート」と表示されます。

ハンドスキャナでコピーしてご活用ください

索　引

マ

ヤ

ラ

ワ

技術基準適合認定品

NEC

NEC パーソナルファクシミリ

スピークス

speax 45TA

取扱説明書



ご使用の前に

設置

電話

ファクス／コピー

留守番

ハンドスキャナ

α・ALPHA5

ナンバー・ディスプレイ

キャッチホン／Fネット／ダイヤルイン

こんなときは

注意
●製品をご使用前に必ず本書をお読みください。
●本書はいつでも活用できるように大切に保管してください。

はじめに

このたびは留守番電話付きファクシミリ「speax(スピークス)45TA」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

●製品を安全に正しくお使いいただくための表示について
本書では製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を表示や図記号で示しています。表示や図記号の意味は次のとおりです。

⚠警告：	**人が死亡するまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意：	**人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

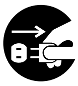
絵表示の例



△記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は高温注意)が描かれています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

● 本製品の故障・誤動作、停電あるいは天災等によって本製品が使用できなくなった場合、それに付随して生じる損害(通信・録音等上に生じる機会損失等)に対しては、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 本製品を改造しないでください。改造・回路変更等を行った場合、当社は一切責任を負いません。

● この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

● ご使用にあたってのお願い
本品をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116番(無料)へお問い合わせください。

本製品には米国の輸出管理法の規制を受ける製品が含まれており、輸出する場合、輸出先によっては米国政府の許可が必要です。

This equipment contains the components regulated under "U.S.A. Export Administration Regulations". Therefore, U.S.Government approval is required when exported to stipulated areas.

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

This equipment (including the softwares) has the specifications to be used only in Japan.
Also our maintenance service and technical supports are not available overseas.

eco NEC

このマークはNECの定める環境基準を満たした製品に表示されるものです。お買い上げいただいた本製品はこの基準に適合した環境配慮型の製品です。この基準の詳細はNECのホームページをご覧ください。
http://www.nec.co.jp/japanese/profile/kan/

故障のときはP.109のNECサービスステーションにご連絡ください。

●品番	speax 45 TA	年　月　日
●お買い上げ店	TEL　(　)	

NG-086085-0B01
ND-22251（J）
1999年6月 第1版

日本電気株式会社
〒108-8001 東京都港区芝五丁目7番1号

ちきゅうにやさしい 古紙の利用

この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。